

**平成 28 年度**  
**指標達成度調査**  
**(事業の効果に関する市民意識調査)**  
**報告書**

札幌市

# 目 次

1	調査実施の概要	
(1)	調査の目的	1
(2)	内容	1
(3)	設計	1
(4)	回収結果	1
(5)	回答者の特性	2
(6)	本調査結果利用上の注意	3
2	調査結果の詳細	
(1)	「暮らし・コミュニティ」について	
	子どもを生み育てやすい環境	4
	仕事と家庭との調和	6
	子どもの権利の保護	8
	相談相手や情報収集手段の有無	10
	相談等により不安や負担を軽くすることができる環境	12
	保育サービスの利用	14
	ひとり親家庭の生活に対する不安	16
	障がい者の暮らしやすさ	20
	生活や健康福祉の相談先	24
	孤立死の心配	27
	自転車のルールやマナーの遵守	29
	自転車のルールやマナーの意識向上	31
	雪置き場の利用と参加	33
	継続的に行っているまちづくり活動	35
	市民参加の機会	38
	市政への関心や参加	48
	市政への参加しやすさに必要な事柄	50
	海外交流への関心	52
	趣味などで行った文化芸術活動	54
	スポーツの直接観戦	57
	行ったスポーツ（運動）	60
	スポーツを行った日数	66
	札幌の水道	68
	水道に関する取り組み	74

(2) 「産業・活力」について	
自然・社会・文化体験をしやすい環境-----	76
「さっぽろ雪まつり」の貢献度-----	78
「さっぽろ雪まつり」が力をいれるべきこと-----	80
(3) 「低炭素社会・エネルギー転換」について	
生ごみ減量・リサイクルの取り組み-----	82
「生物多様性」の認知度-----	84
環境配慮活動について-----	86
(4) 「戦略を支える都市空間」	
都市部の「にぎわい」について-----	92
住環境の満足度-----	94
公共交通の満足度-----	96
調査票-----	98

## 調査実施の概要

# 1. 調査実施の概要

## (1) 目的

この調査は、「事業の効果に関する市民意識」をテーマに設問を構成している。各事業に対する市民意見を採取し、当該事業の効果及び成果を効率的に把握し、市民にも分かりやすい評価の資料とするものである。

## (2) 内容

- ① 「暮らし・コミュニティ」について
- ② 「産業・活力」について
- ③ 「低炭素社会・エネルギー転換」について
- ④ 「戦略を支える都市空間」について

## (3) 設計

この調査は、次のとおり設計した。

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満 18 歳以上の男女個人
- ③ 標本数 4,000 人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 平成 29 年 2 月 1 日(水)～2 月 24 日(金)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」  
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

## (4) 回収結果

発送数	4,000
回収数 (率)	1,600 (40.0%)

(5) 回答者の特性

		回答者数	男性	女性	無回答	計
全体		1,600	39.6	59.0	1.4	100.0
性別	男性	633	100.0	-	-	100.0
	女性	944	-	100.0	-	100.0
	無回答	23	-	-	100.0	100.0
年代別	18～19歳	19	36.8	63.2	-	100.0
	20～29歳	110	39.1	60.9	-	100.0
	30～39歳	222	38.3	61.7	-	100.0
	40～49歳	285	34.0	64.9	1.1	100.0
	50～59歳	240	32.5	67.1	0.4	100.0
	60～64歳	169	43.2	56.2	0.6	100.0
	65～69歳	205	42.4	56.1	1.5	100.0
	70歳以上	341	47.8	49.9	2.3	100.0
	無回答	9	-	22.2	77.8	100.0
居住区別	中央区	183	36.6	61.7	1.6	100.0
	北区	247	39.7	59.1	1.2	100.0
	東区	215	38.1	59.5	2.3	100.0
	白石区	150	42.0	58.0	-	100.0
	厚別区	111	34.2	64.9	0.9	100.0
	豊平区	183	38.8	60.7	0.5	100.0
	清田区	93	43.0	55.9	1.1	100.0
	南区	125	40.0	58.4	1.6	100.0
	西区	168	42.3	57.7	-	100.0
	手稲区	112	46.4	53.6	-	100.0
	無回答	13	7.7	38.5	53.8	100.0

**(6) 本調査結果利用上の注意**

- ①Nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- ②各回答の比率は、回答者数の分母とした百分率であり、小数第2位を四捨五入して表している。
- ③1人の対象者につき2つ以上の複数回答を認めた質問の場合は、回答者数を分母としているため、個々の比率の合計は、100.0%を超えることがある。

## 調査結果の詳細



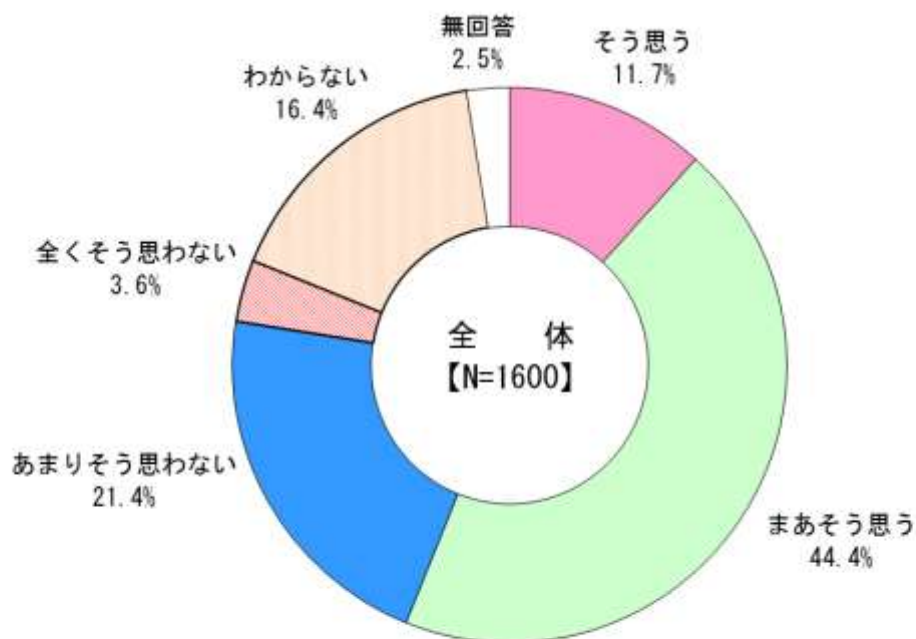
## 2. 調査結果の詳細

### (1) 「暮らし・コミュニティ」について

#### 子どもを生き育てやすい環境

【問1】 札幌市は、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもを生き育てやすい環境にあるかについては、「そう思う」(11.7%)と「まあそう思う」(44.4%)を合わせた割合(56.1%)が全体の約6割を占めている。



#### 【対象者全体】

子どもを生き育てやすい環境にあるかについては、「まあそう思う」が 44.4%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 21.4%、「わからない」が 16.4%、「そう思う」が 11.7%、「全くそう思わない」が 3.6%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性で 43.1%、女性で 44.9%となっている。「そう思う」は男性が 14.2%と女性の 10.2%と比較し、高くなっている。

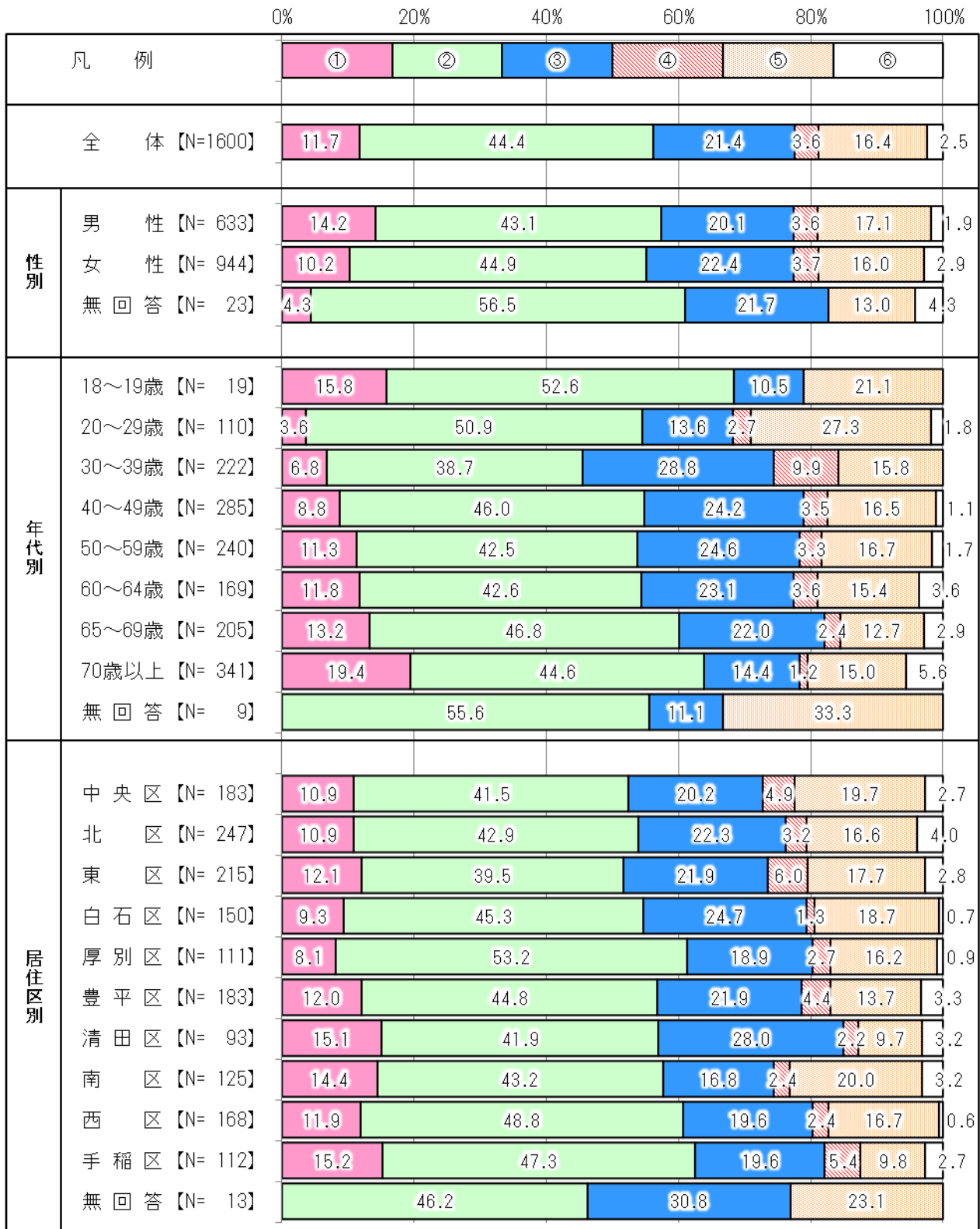
#### 【年代別】

全ての年代で「まあそう思う」が最も高く、特に 18～19 歳では 52.6%、20 歳代では 50.9%となっている。「そう思う」は 70 歳代が 19.4%と最も高く、年代が上がるにつれ上昇していく傾向となっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、特に厚別区では、53.2%となっている。「そう思う」は手稲区が 15.2%、清田区が 15.1%、南区が 14.4%と他の居住区と比較すると高い。

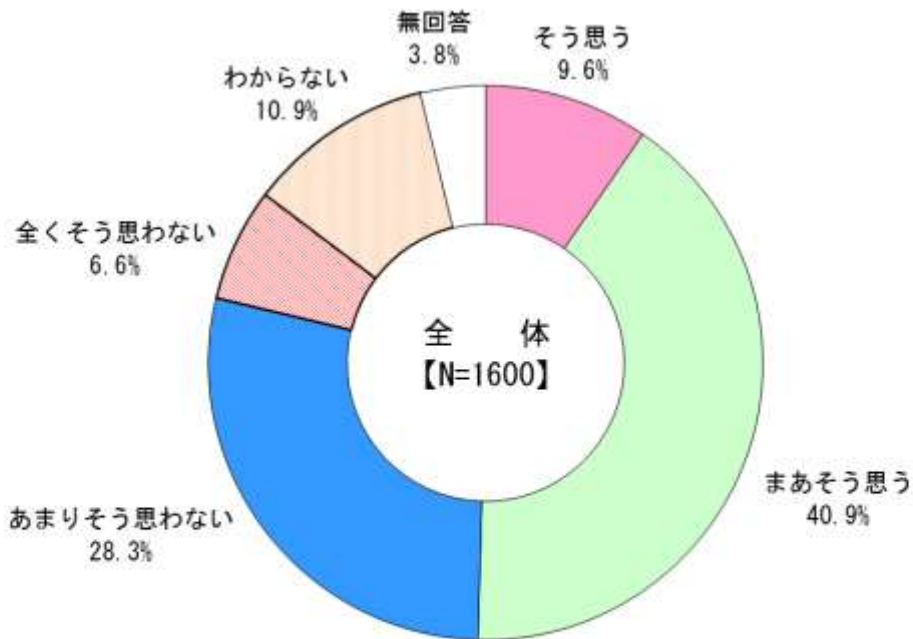
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 仕事と家庭との調和

【問2】 あなたは、「仕事」と「家事(育児)、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。  
あてはまるもの一つに○をつけてください。

仕事と家庭との調和については、「まあそう思う」が40.9%で最も高く、次いで「あまりそう思わない」が28.3%となっている。



### 【対象者全体】

仕事と家庭との調和については、「まあそう思う」が40.9%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が28.3%、「わからない」が10.9%、「そう思う」が9.6%、「全くそう思わない」が6.6%となっている。

### 【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が40.8%、女性が40.5%となっている。「そう思う」は男性が10.6%で、女性の9.0%と比較し若干高い。

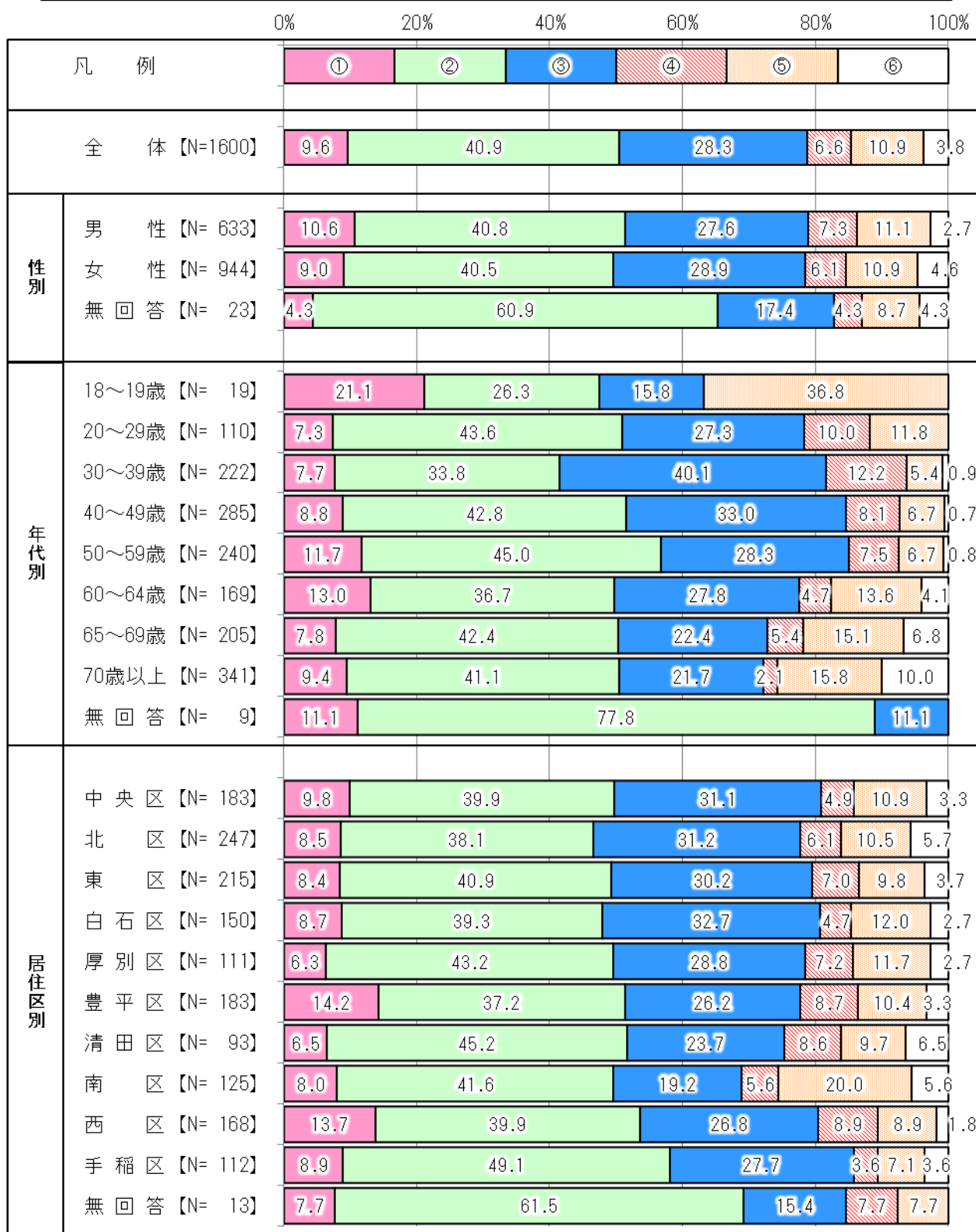
### 【年代別】

18～19歳、30歳代を除く全ての年代で「まあそう思う」が最も高く、50歳代では、45.0%となっている。一方で「あまりそう思わない」という回答も18～19歳を除く全ての年代で20%を超え、特に30歳代では40.1%と4割を超えている。

### 【居住区別】

全ての居住区で「まあそう思う」が最も高く、手稲区では49.1%と約半数の方々が「まあそう思う」と回答している。「そう思う」は豊平区が14.2%、西区が13.7%と他の居住区と比較し高い。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

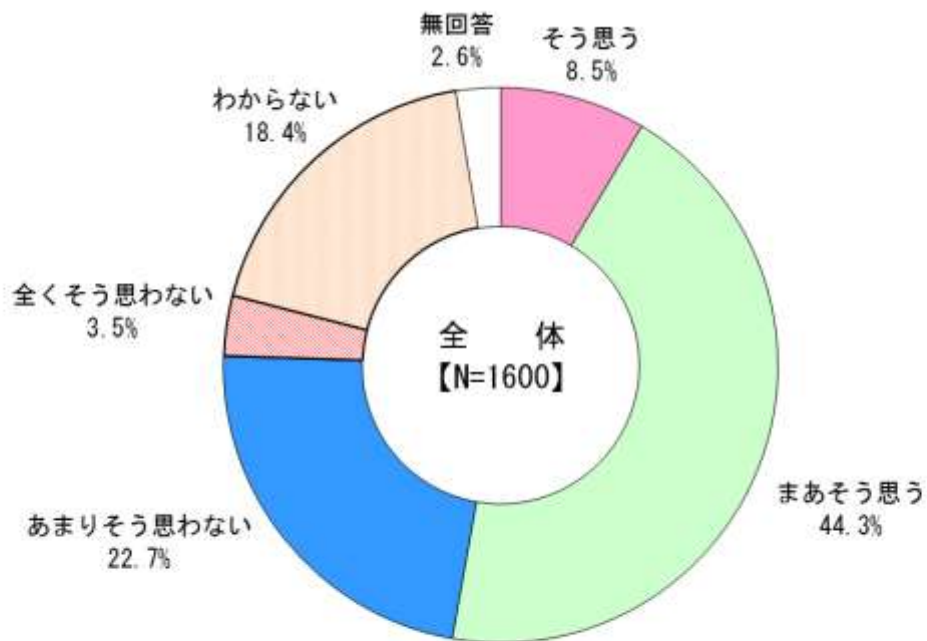


## 子どもの権利の保護

【問3】 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

子どもの権利が守られているかについては、「そう思う」(8.5%)と「まあそう思う」(44.3%)を合わせた割合(52.8%)が全体の5割強となっている。



### 【対象者全体】

子どもの権利が守られているかについては、「まあそう思う」が44.3%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が22.7%、「わからない」が18.4%、「そう思う」が8.5%、「全くそう思わない」が3.5%となっている。

### 【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性で42.5%、女性で45.8%となっている。「そう思う」は男性が11.2%と女性の6.7%と比較し高くなっている。

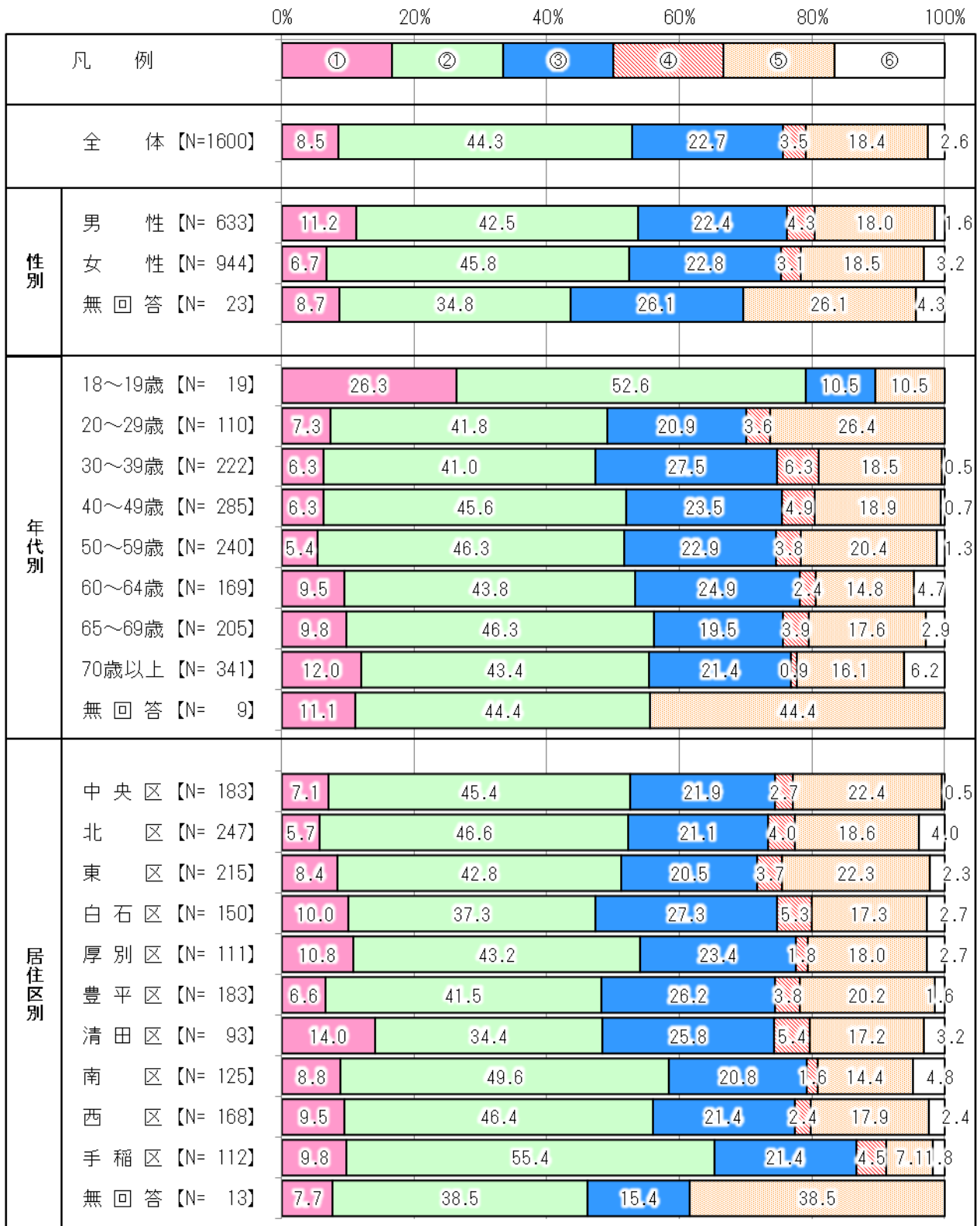
### 【年代別】

全ての年代で「まあそう思う」が最も高い。「あまりそう思わない」はほとんどの年代で20%を超えており、特に30歳代では、27.5%と他の年代より高くなっている。

### 【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、手稲区では55.4%と半数以上となっている。「そう思う」は清田区が14.0%と他の居住区と比較し高くなっている。

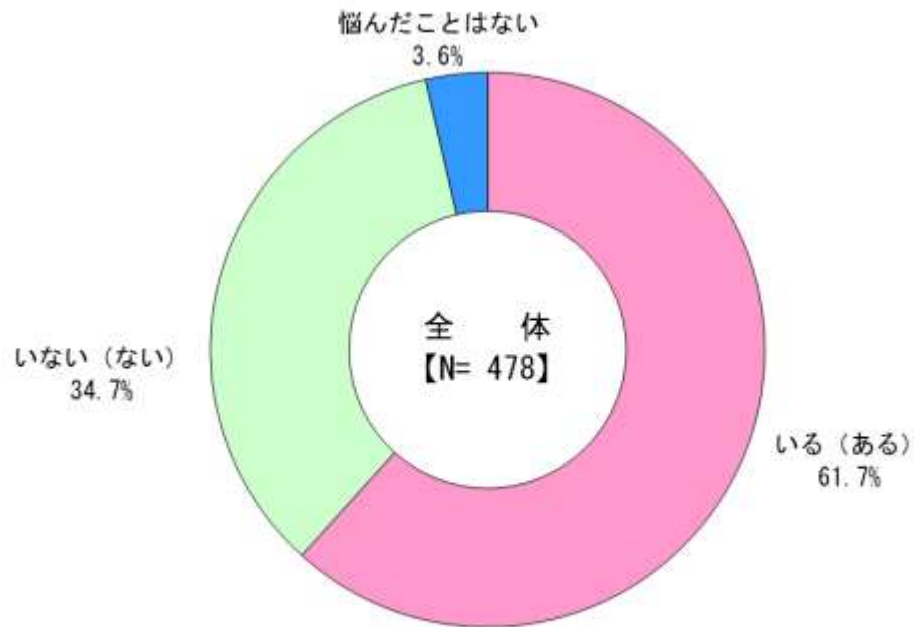
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 相談相手や情報収集手段の有無

【問 4】 この設問は 18 歳以下のお子さんがある方のみお聞きします。妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談相手や情報収集手段の有無については、「いる(ある)」が 61.7%と全体の 6 割を占めている。



### 【対象者全体】

相談相手や情報収集手段の有無については、「いる(ある)」が 61.7%と最も高く、次いで「いない(ない)」が 34.7%、「悩んだことはない」が 3.6%となっている。

### 【性別】

男女ともに「いる(ある)」が最も高く、女性が 69.6%と男性の 49.2%と比較して高い。「いない(ない)」は男性が 43.5%と女性の 29.1%と比較し高い。「悩んだことはない」は男性が 7.3%と女性の 1.4%と比較し高い。

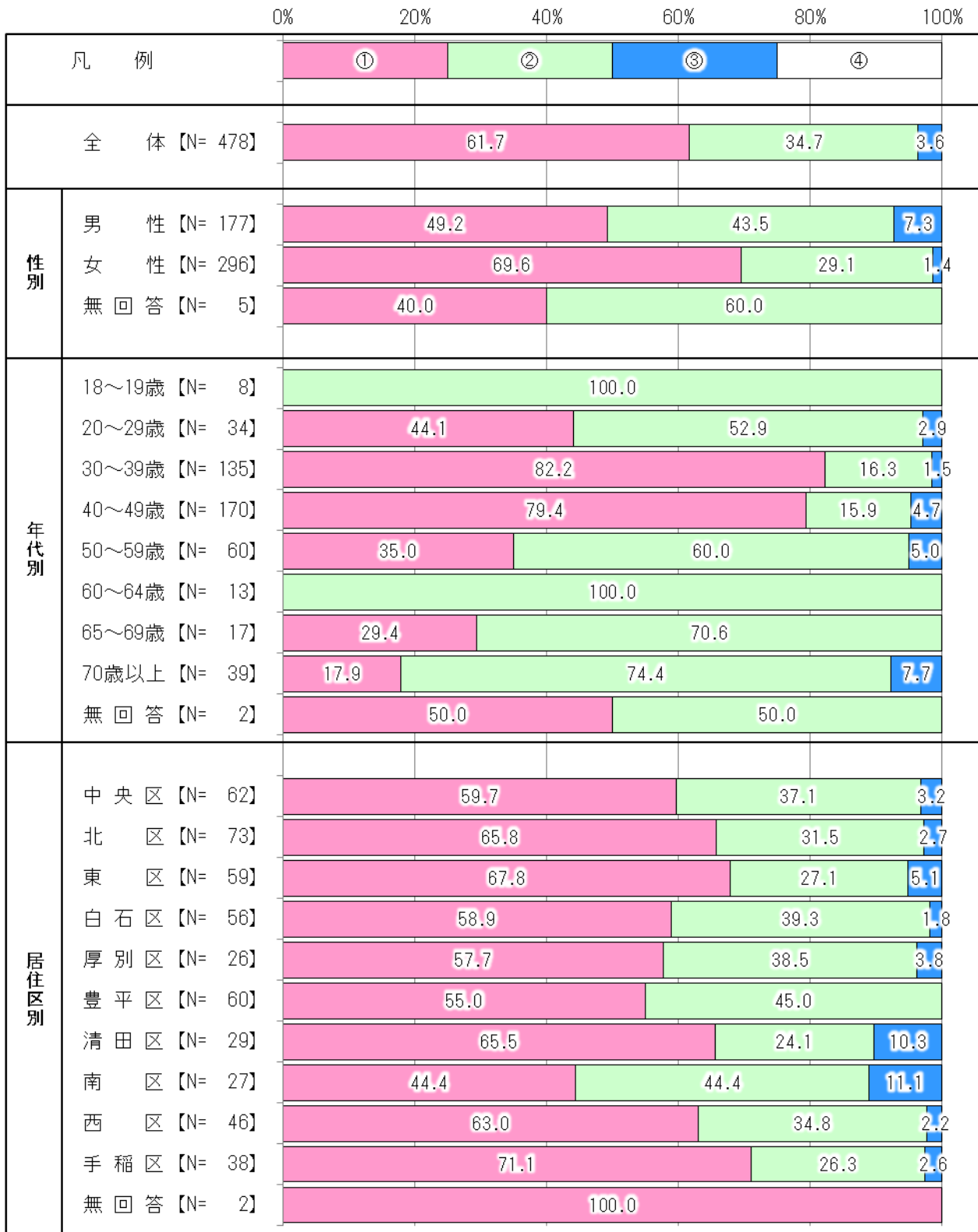
### 【年代別】

「いる(ある)」は 30 歳代、40 歳代で高くなっており、それぞれ 82.2%、79.4%である。

### 【居住区別】

南区を除いた全居住区で「いる(ある)」が最も高く、なかでも手稲区では 71.1%となっている。南区は「いる(ある)」、「いない(ない)」と回答している方が 44.4%と同値であった。

①いる（ある）    ②いない（ない）    ③悩んだことはない    ④無回答

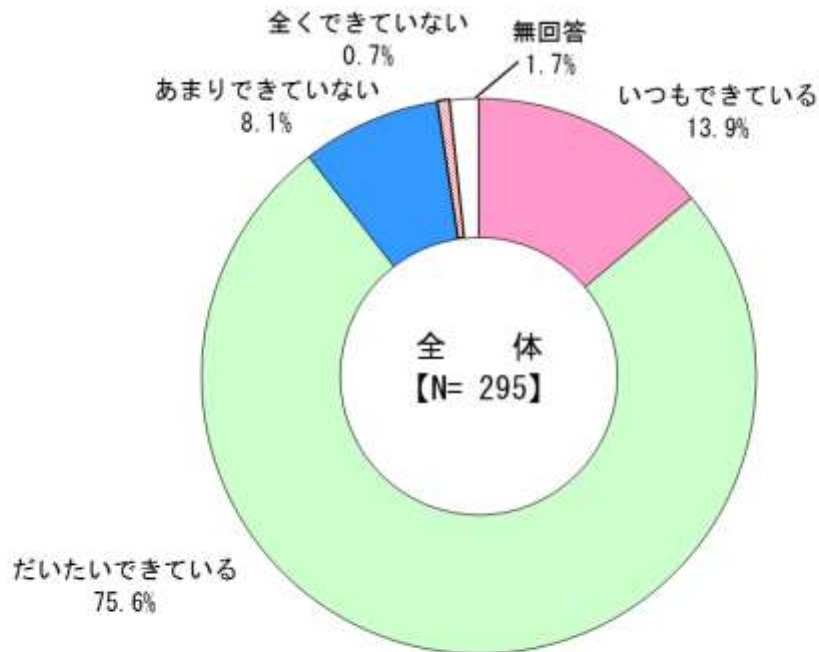




## 相談等により不安や負担を軽くすることができる環境

【問5】 問4で「1. いる(ある)」と答えた方にお聞きします。妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談等により不安や負担を軽くすることができますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談等により不安や負担を軽くすることができるかについては、「いつもできている」(13.9%)と「だいたいできている」(75.6%)をあわせた割合(89.5%)が全体の約9割を占めている。



### 【対象者全体】

相談等により不安や負担を軽くすることができるかについては、「だいたいできている」が75.6%と最も高く、次いで「いつもできている」が13.9%、「あまりできていない」が8.1%、「全くできていない」が0.7%となっている。

### 【性別】

男女ともに「だいたいできている」が最も高く、男性が72.4%、女性が77.2%となっている。

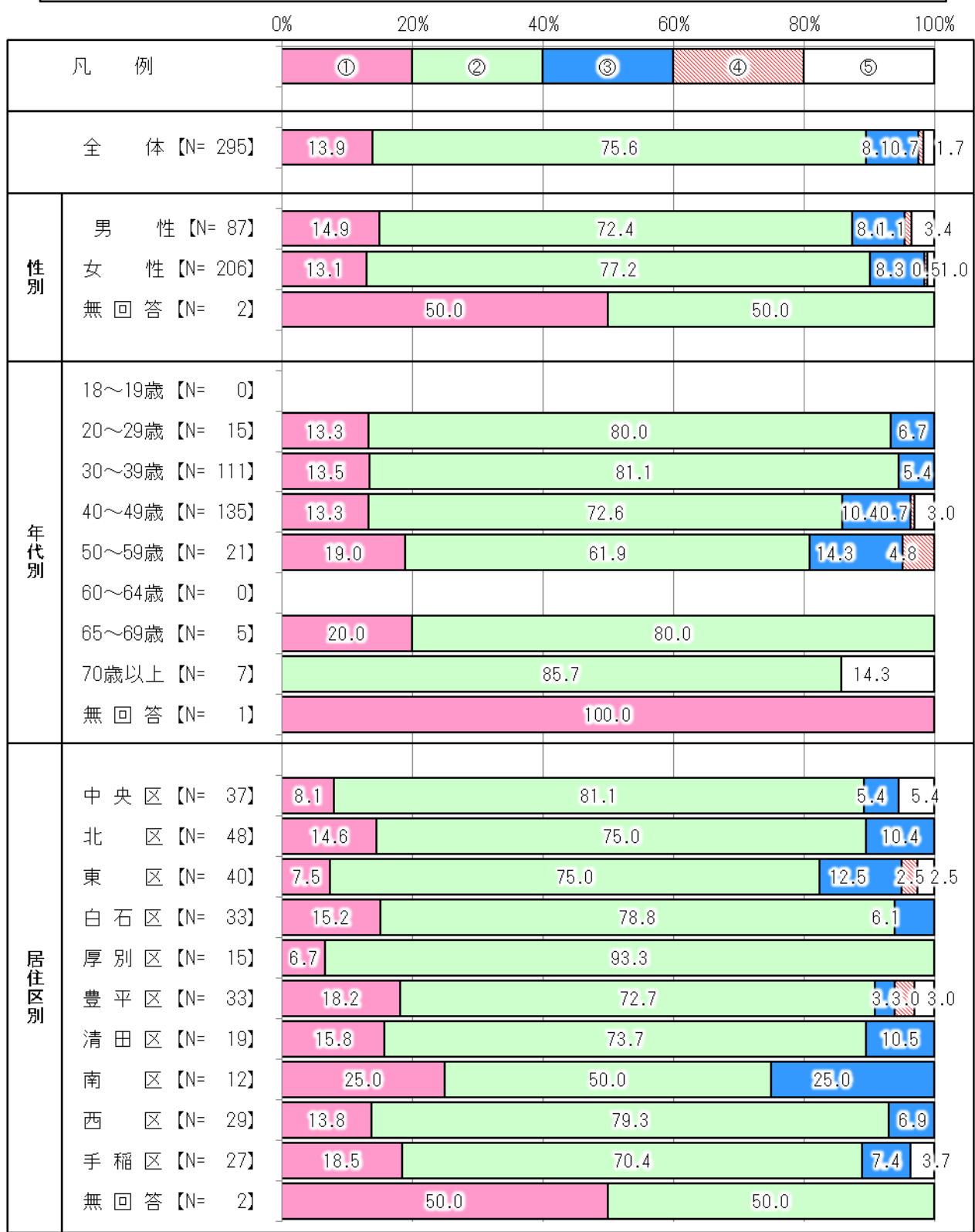
### 【年代別】

回答のあった全ての年代で「だいたいできている」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

全居住区で「だいたいできている」が最も高く、特に厚別区では93.3%、中央区では81.1%となっている。

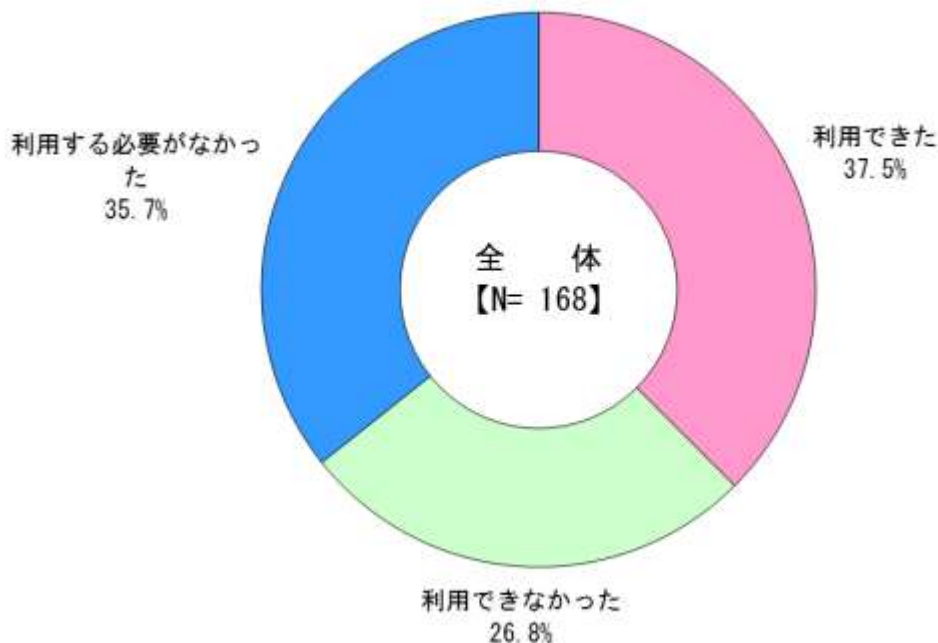
①いつもできている ②だいたいできている ③あまりできていない ④全くできていない ⑤無回答



## 保育サービスの利用

【問6】 この設問は小学校入学前のお子さんがある方のみお聞きします。この1年間に、あなたの希望に応じた保育サービスを利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

保育サービスの利用については、「利用できた」が37.5%と最も高くなっている。



### 【対象者全体】

保育サービスの利用については、「利用できた」が37.5%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が35.7%、「利用できなかった」が26.8%となっている。

### 【性別】

女性は「利用できた」が41.0%で最も高かった一方で、男性は「利用できた」が最も低く、32.3%だった。

### 【年代別】

20歳代～40歳代で「利用できた」が最も高くなっていた。

### 【居住区別】

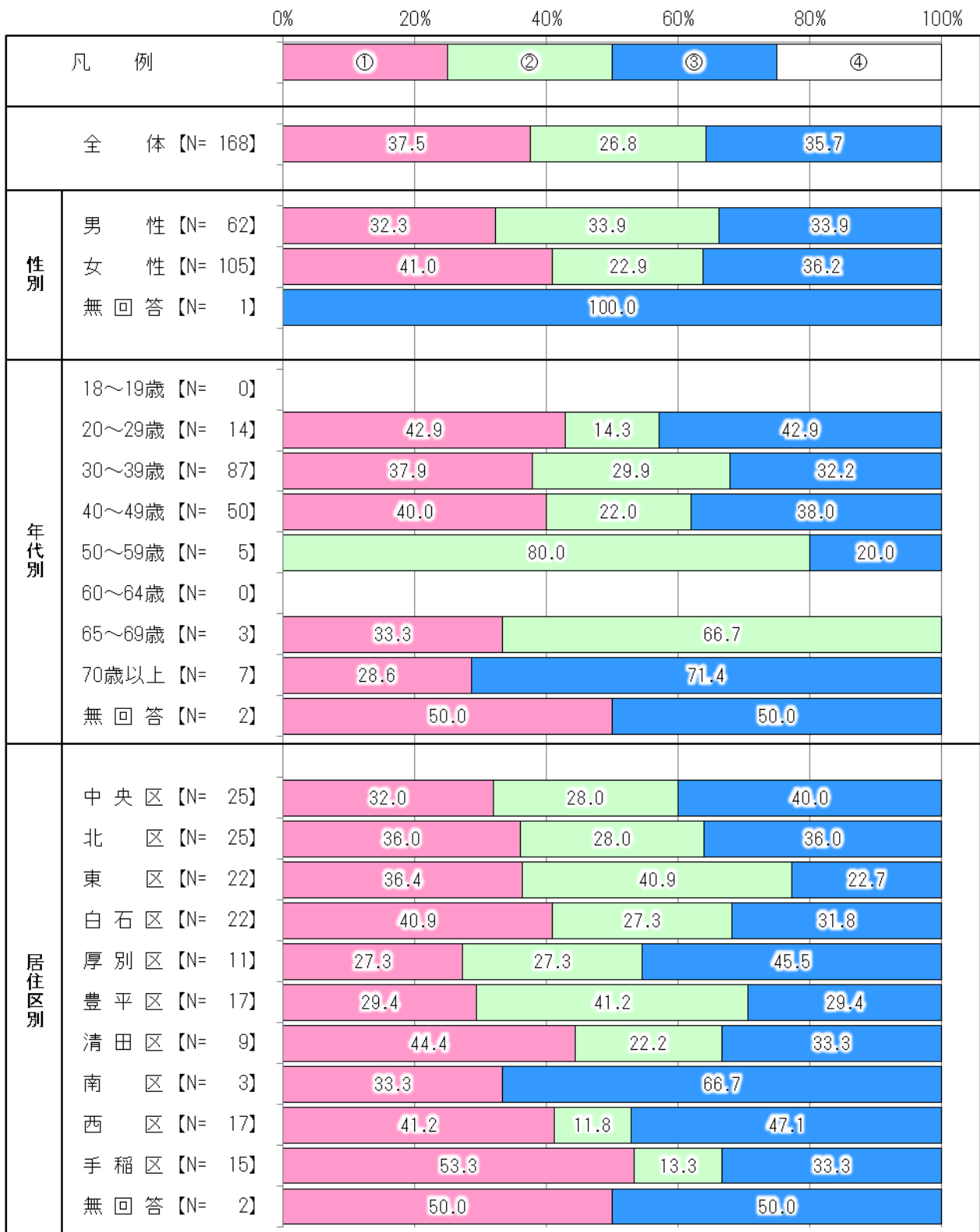
「利用できた」は手稲区が53.3%と最も高く、次いで清田区が44.4%となっている。「利用できなかった」は豊平区が41.2%、東区が40.9%と他の居住区と比較が高い。

①利用できた

②利用できなかった

③利用する必要がなかった

④無回答

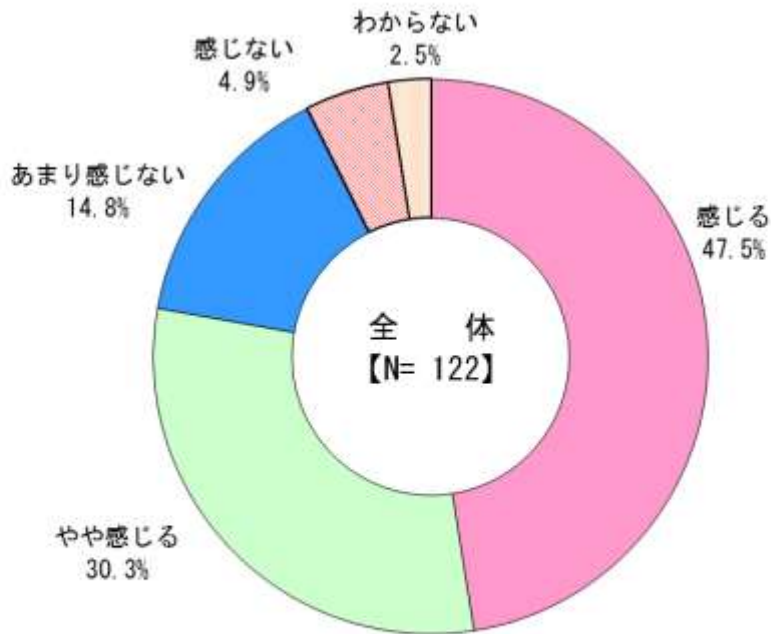


## ひとり親家庭の生活に対する不安

【問7】 この設問は 20 歳未満のお子さんがあるひとり親家庭の方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

今後の生活に対する不安については、「感じる」が 47.5%と最も高くなっている。



### 【対象者全体】

今後の生活に対する不安については、「感じる」が 47.5%と最も高く、次いで「やや感じる」が 30.3%、「あまり感じない」が 14.8%、「感じない」が 4.9%、「わからない」が 2.5%となっている。

### 【性別】

男女ともに「感じる」が最も高く、男性が 39.2%、女性が 53.7%となっている。「あまり感じない」は男性が 19.6%と女性の 11.9%と比較し高い。

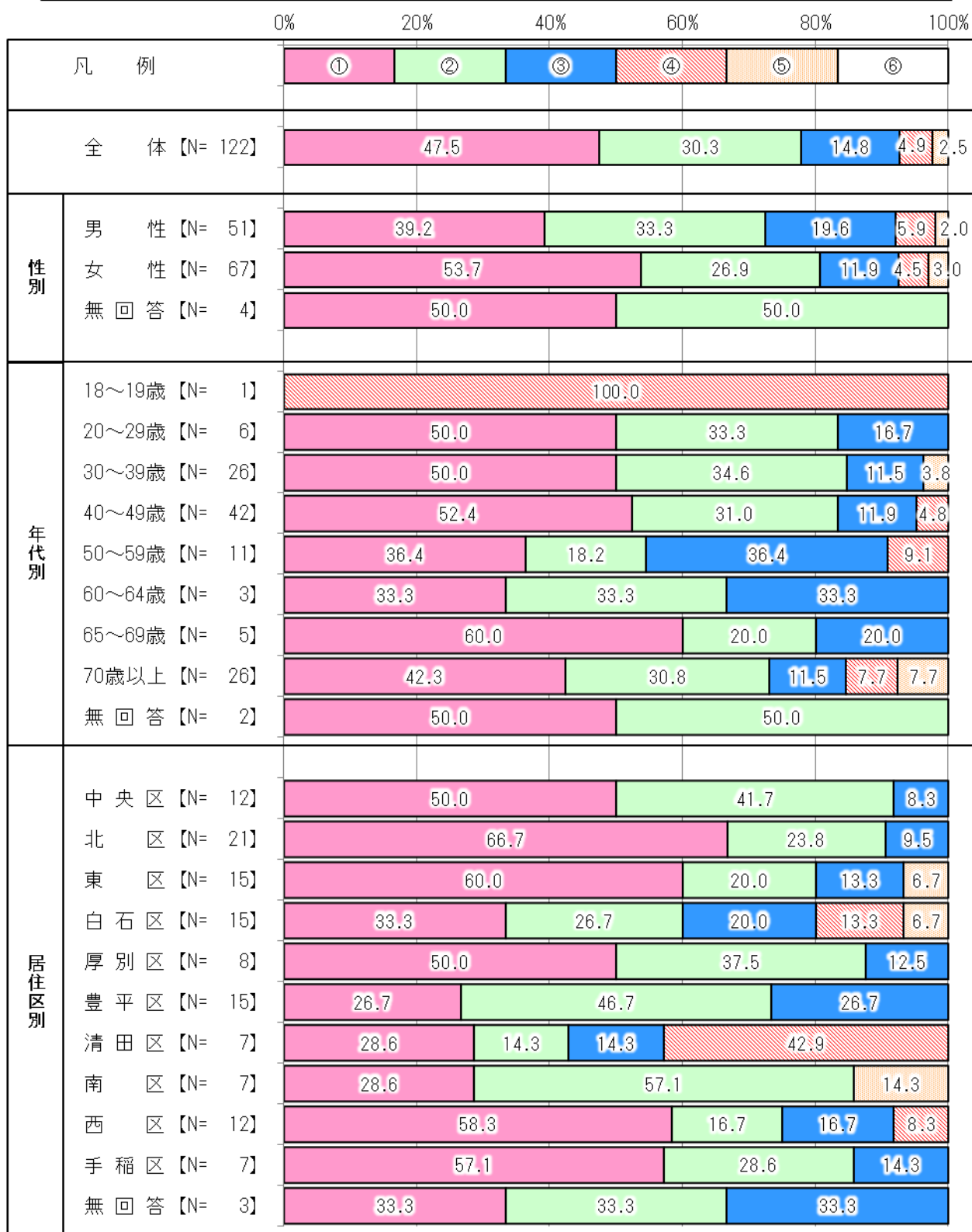
### 【年代別】

18～19 歳を除く全ての年代で「感じる」が最も高く、65～69 歳では 60.0%となっている。60～64 歳は、「やや感じる」「あまり感じない」(33.3%)も同値で最も高い。

### 【居住区別】

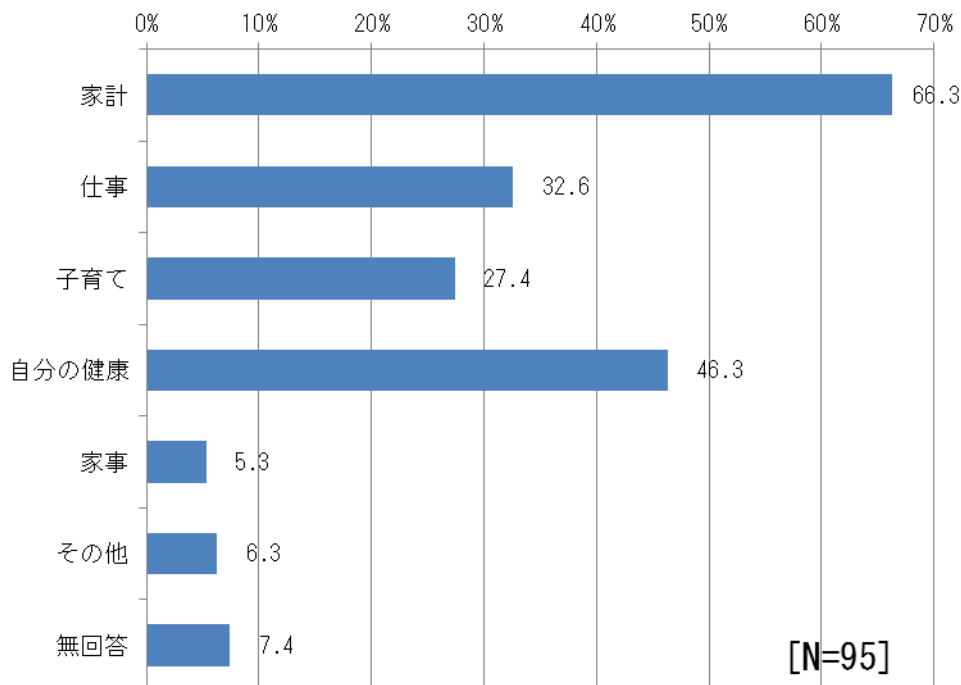
豊平区、清田区、南区を除く居住区で「感じる」が最も高く、北区では 66.7%と他の居住区と比較し高い。

①感じる    ②やや感じる    ③あまり感じない    ④感じない    ⑤わからない    ⑥無回答



- (2) (1)で「1. 感じる」または「2. やや感じる」を回答した方のみにお聞きします。具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

今後の生活に関する不安を感じる要因については、「家計」が66.3%と最も高く、次いで「自分の健康」が46.3%となっている。



#### 【対象者全体】

今後の生活に関する不安を感じる要因については、「家計」が66.3%と最も高く、次いで「自分の健康」が46.3%、「仕事」が32.6%となっている。

#### 【性別】

女性は「家計」が77.8%と男性の48.6%と比較し高い。「自分の健康」も女性が55.6%と、男性の32.4%と比較し高い。

#### 【年代別】

「家計」は50歳代が最も高く83.3%、次いで40歳代が80.0%、30歳代が77.3%となっている。「自分の健康」は40歳代が最も高く57.1%となっている。

(単位：%)

		回答者数	家計	仕事	子育て	自分の健康	家事	その他	無回答	計
全体		95	66.3	32.6	27.4	46.3	5.3	6.3	7.4	191.6
性別	男性	37	48.6	32.4	27.0	32.4	2.7	2.7	10.8	156.6
	女性	54	77.8	33.3	29.6	55.6	7.4	9.3	5.6	218.6
	無回答	4	75.0	25.0	-	50.0	-	-	-	150.0
年代別	18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	5	40.0	-	40.0	20.0	-	-	40.0	140.0
	30～39歳	22	77.3	40.9	31.8	31.8	4.5	4.5	9.1	199.9
	40～49歳	35	80.0	48.6	37.1	57.1	8.6	5.7	-	237.1
	50～59歳	6	83.3	50.0	50.0	50.0	-	-	-	233.3
	60～64歳	2	50.0	-	-	50.0	50.0	50.0	-	200.0
	65～69歳	4	75.0	-	-	50.0	-	25.0	-	150.0
	70歳以上	19	31.6	10.5	5.3	47.4	-	5.3	15.8	115.9
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	100.0
居住区別	中央区	11	72.7	36.4	27.3	36.4	-	-	-	172.8
	北区	19	52.6	26.3	15.8	42.1	5.3	5.3	21.1	168.5
	東区	12	75.0	41.7	33.3	50.0	-	-	8.3	208.3
	白石区	9	55.6	33.3	33.3	66.7	22.2	11.1	-	222.2
	厚別区	7	57.1	57.1	28.6	28.6	-	14.3	-	185.7
	豊平区	11	81.8	9.1	36.4	72.7	9.1	18.2	-	227.3
	清田区	3	66.7	33.3	-	66.7	-	-	-	166.7
	南区	6	50.0	50.0	50.0	50.0	-	16.7	-	216.7
	西区	9	66.7	33.3	22.2	33.3	11.1	-	22.2	188.8
	手稲区	6	100.0	33.3	33.3	16.7	-	-	-	183.3
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	100.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

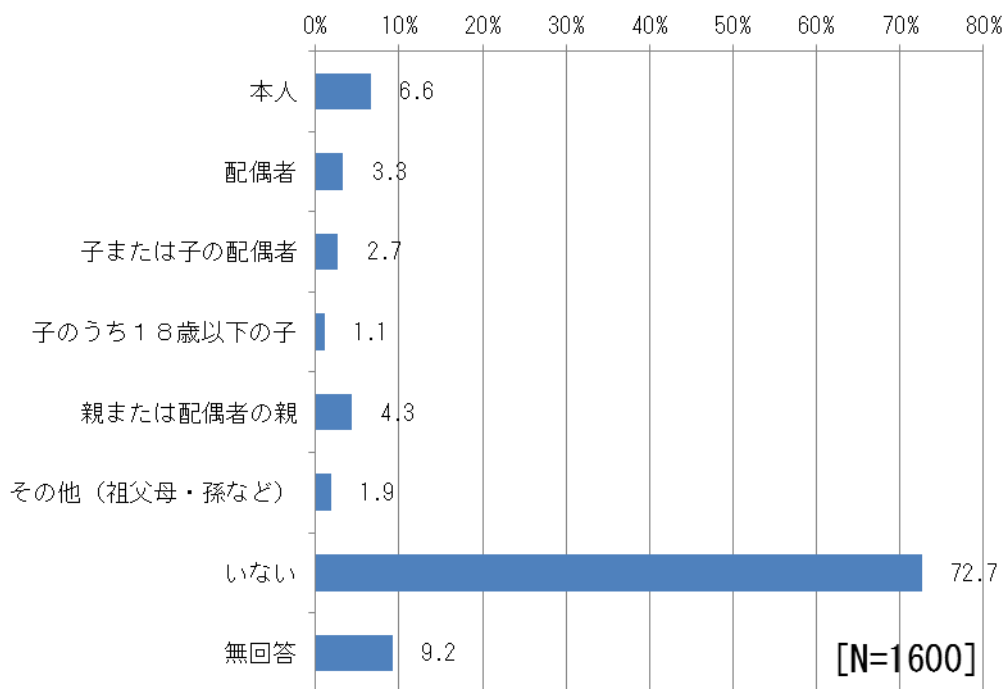


## 障がい者の暮らしやすさ

【問 8】 障がい者のある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなた、または同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい者との同居については、「いない」が 72.7%と全体の 7 割以上を占めている。



### 【対象者全体】

障がい者との同居については、「いない」が 72.7%と最も高く、次いで「本人」が 6.6%となっている。

### 【性別】

男女ともに「いない」が最も高く、男性で 70.9%、女性で 74.0%となっている。「本人」は男性が 9.2%と、女性の 4.9%と比較して高い。

### 【年代別】

全年代で「いない」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

全居住区で「いない」が最も高く、東区(67.0%)、清田区(69.9%)以外の居住区は 7 割を超えている。

(単位：%)

		回答者数	本人	配偶者	子または子の配偶者	子のうち18歳以下の子	親または配偶者の親	その他(祖父母・孫など)	いない	無回答	計
全体		1,600	6.6	3.3	2.7	1.1	4.3	1.9	72.7	9.2	101.8
性別	男性	633	9.2	4.3	2.7	0.3	4.9	1.7	70.9	7.9	101.9
	女性	944	4.9	2.4	2.6	1.5	3.9	1.9	74.0	10.0	101.2
	無回答	23	4.3	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	65.2	13.0	108.4
年代別	18～19歳	19	-	-	-	-	5.3	5.3	84.2	5.3	100.1
	20～29歳	110	2.7	0.9	-	-	3.6	3.6	88.2	0.9	99.9
	30～39歳	222	3.2	2.3	1.4	2.7	5.9	2.7	80.6	3.6	102.4
	40～49歳	285	5.6	0.4	2.8	1.8	5.6	1.1	80.7	2.5	100.5
	50～59歳	240	4.6	2.5	3.8	2.1	5.8	1.3	76.7	4.2	101.0
	60～64歳	169	6.5	1.8	5.9	-	3.6	3.6	70.4	8.9	100.7
	65～69歳	205	8.3	4.9	2.4	0.5	3.9	2.0	67.8	13.7	103.5
	70歳以上	341	11.7	7.3	2.3	-	1.8	0.9	56.6	22.3	102.9
	無回答	9	-	11.1	-	-	11.1	-	66.7	11.1	100.0
居住区別	中央区	183	6.0	2.2	2.2	-	7.7	1.6	77.6	5.5	102.8
	北区	247	5.3	2.4	1.2	2.0	5.3	1.2	75.3	8.5	101.2
	東区	215	8.4	3.3	4.2	1.4	3.3	2.3	67.0	10.7	100.6
	白石区	150	8.7	1.3	6.0	-	5.3	2.0	70.7	8.7	102.7
	厚別区	111	6.3	1.8	1.8	-	3.6	1.8	77.5	7.2	100.0
	豊平区	183	5.5	1.6	2.2	1.1	2.2	3.3	73.2	11.5	100.6
	清田区	93	7.5	9.7	1.1	3.2	5.4	2.2	69.9	6.5	105.5
	南区	125	4.8	4.8	4.0	2.4	4.0	0.8	71.2	10.4	102.4
	西区	168	8.3	3.6	0.6	-	3.0	1.8	71.4	12.5	101.2
	手稲区	112	5.4	5.4	4.5	0.9	2.7	1.8	72.3	8.9	101.9
	無回答	13	-	7.7	-	-	7.7	-	76.9	7.7	100.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

- (2) 札幌市は、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

障がい者にとって暮らしやすいまちであるかについては、「あまりそう思わない」が 34.8%と最も高く、「まあそう思う」が 22.1%、「わからない」が 20.6%となっている。



#### 【対象者全体】

障がい者にとって暮らしやすいまちであるかについては、「あまりそう思わない」が 34.8%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 22.1%、「わからない」が 20.6%、となっている。

#### 【性別】

男女ともに「あまりそう思わない」が最も高く、男性は 34.3%、女性は 35.1%となっている。「そう思う」は、男性が 4.9%で女性の 2.8%と比較し高い。

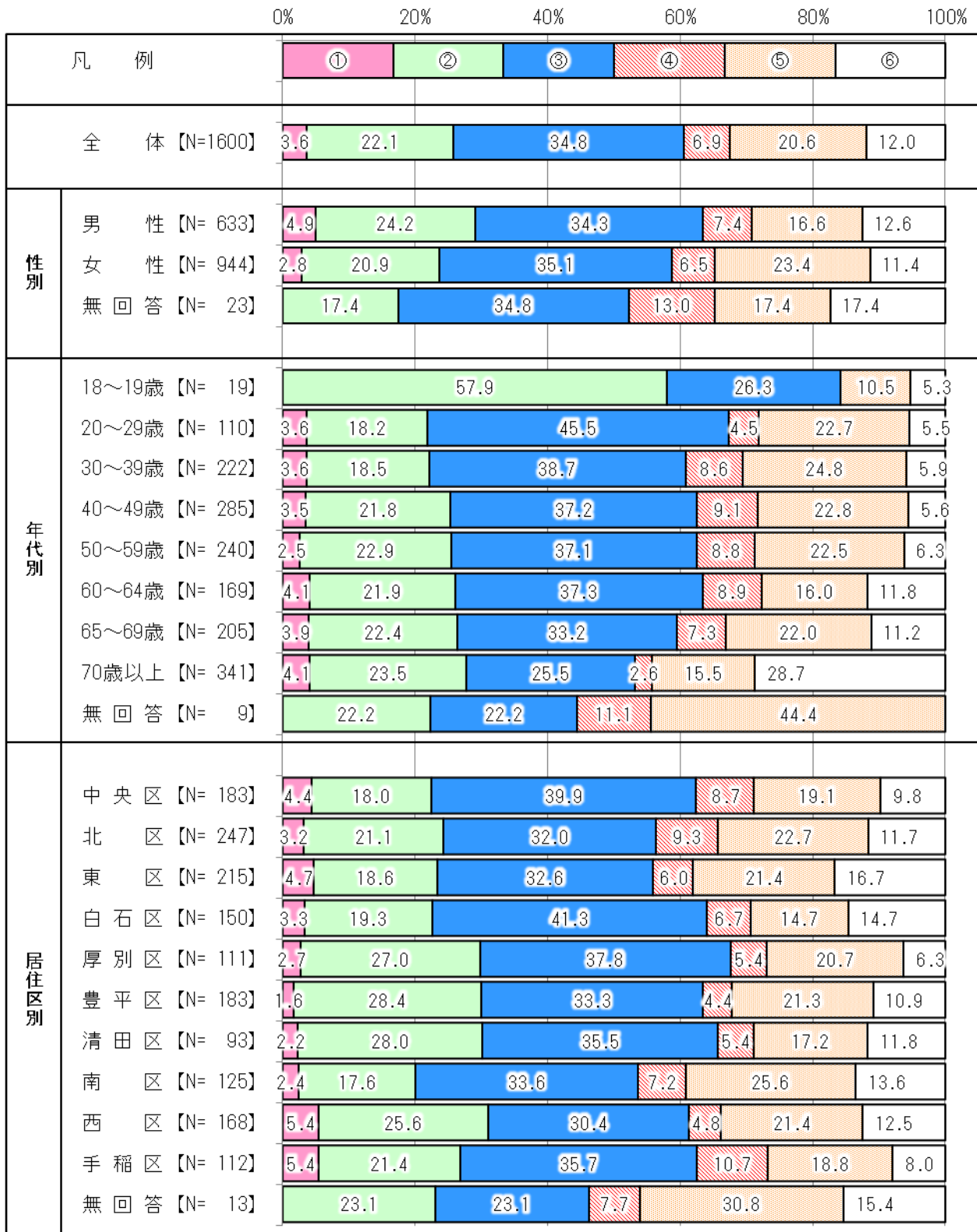
#### 【年代別】

18～19歳、70歳以上を除いた年代で、「あまりそう思わない」が最も高く、特に20歳代では 45.5%となっている。年代が高くなるにつれ、減少する傾向にある。

#### 【居住区別】

全居住区で「あまりそう思わない」が最も高く、白石区では 41.3%、中央区では 39.9%、厚別区では 37.8%となっている。

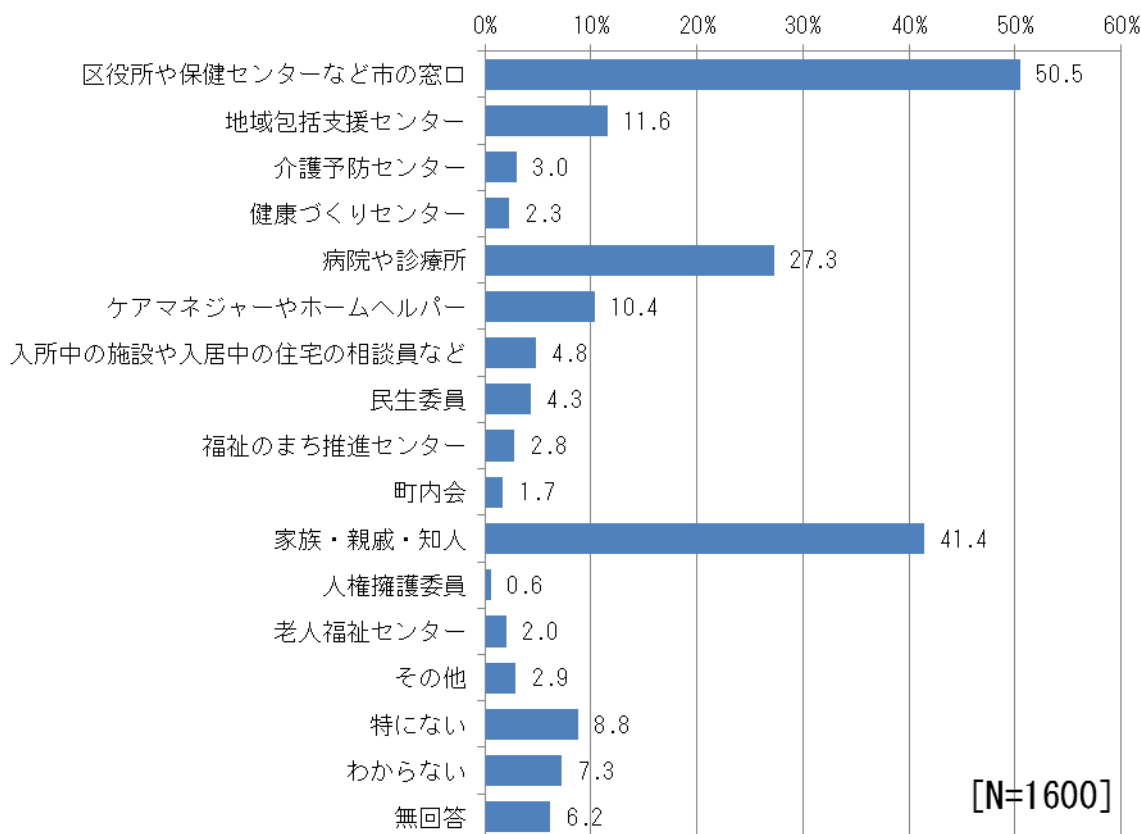
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 生活や健康福祉の相談先

【問9】 あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生活や健康福祉の相談先については、「区役所や保健センターなど市の窓口」が 50.5%と最も高く、次いで「家族・親戚・知人」の 41.4%となっている。



### 【対象者全体】

生活や健康福祉の相談先については、「区役所や保健センターなど市の窓口」が 50.5%と最も高く、次いで「家族・親戚・知人」の 41.4%、「病院や診療所」の 27.3%となっている。

### 【性別】

男女ともに「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高く、男性で 50.6%、女性で 51.0%となっている。女性は、「家族・親戚・知人」が 47.9%と、男性の 31.9%と比較が高い。

### 【年代別】

18～19 歳、20 歳代は「家族・親戚・知人」が最も高く、それぞれ 47.4%、50.9%となっているが、その他の年代では、「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

全居住区で「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高く、次いで「家族・親戚・知人」となっている。

単位：%

	回答者数	区役所や保健センターなど市の窓口	地域包括支援センター	介護予防センター	健康づくりセンター	病院や診療所	ケアマネジャーやホームヘルパー	入所中の施設や入居中の住宅の相談員など	民生委員	
全体	1,600	50.5	11.6	3.0	2.3	27.3	10.4	4.8	4.3	
性別	男性	633	50.6	8.2	2.5	3.0	30.3	8.4	3.5	3.8
	女性	944	51.0	13.8	3.3	1.8	25.3	11.9	5.5	4.3
	無回答	23	30.4	13.0	4.3	-	26.1	8.7	8.7	13.0
年代別	18～19歳	19	31.6	-	-	-	21.1	-	-	-
	20～29歳	110	30.0	2.7	0.9	0.9	24.5	4.5	1.8	0.9
	30～39歳	222	52.3	3.2	0.5	0.5	23.9	2.7	3.2	-
	40～49歳	285	55.8	6.7	1.8	2.1	23.5	5.6	4.2	1.8
	50～59歳	240	57.1	16.7	2.1	2.5	30.4	15.8	7.5	3.3
	60～64歳	169	55.6	13.0	3.0	3.6	33.7	15.4	7.7	4.1
	65～69歳	205	52.2	15.1	3.4	2.4	29.8	13.7	4.9	6.3
	70歳以上	341	44.9	17.9	7.0	3.2	27.9	13.5	3.5	9.1
無回答	9	33.3	22.2	-	-	-	22.2	22.2	33.3	
居住区別	中央区	183	50.3	12.6	3.3	3.3	29.5	13.7	7.1	3.3
	北区	247	47.8	9.3	3.6	2.8	23.9	10.5	6.9	4.5
	東区	215	50.7	14.4	4.7	3.3	30.7	12.6	4.2	5.6
	白石区	150	50.7	7.3	2.7	1.3	24.7	8.7	3.3	3.3
	厚別区	111	54.1	16.2	4.5	2.7	29.7	9.0	4.5	4.5
	豊平区	183	48.1	12.0	1.6	1.6	26.2	5.5	2.7	3.3
	清田区	93	53.8	10.8	2.2	1.1	26.9	11.8	2.2	4.3
	南区	125	53.6	11.2	2.4	1.6	26.4	8.8	4.0	3.2
	西区	168	47.6	10.1	3.0	1.2	28.0	11.9	3.6	4.8
	手稲区	112	57.1	12.5	0.9	2.7	30.4	9.8	5.4	3.6
無回答	13	30.8	15.4	-	-	7.7	23.1	23.1	23.1	

単位：%

		福祉のまち推進センター	町内会	家族・親戚・知人	人権擁護委員	老人福祉センター	その他	特にない	わからない	無回答	計
全体		2.8	1.7	41.4	0.6	2.0	2.9	8.8	7.3	6.2	187.9
性別	男性	3.3	2.2	31.9	0.6	1.9	3.5	10.9	6.6	5.2	176.4
	女性	2.4	1.4	47.9	0.5	2.1	2.4	7.4	7.5	7.0	195.5
	無回答	-	-	34.8	-	-	4.3	8.7	13.0	-	165.0
年代別	18～19歳	5.3	-	47.4	-	-	-	15.8	15.8	5.3	142.3
	20～29歳	1.8	1.8	50.9	-	1.8	1.8	14.5	11.8	6.4	157.0
	30～39歳	1.4	0.5	47.7	0.5	0.5	5.4	8.6	10.8	5.0	166.7
	40～49歳	1.8	0.4	45.3	0.4	0.7	3.2	7.0	10.5	5.6	176.4
	50～59歳	1.7	2.1	46.7	1.7	2.1	3.8	7.5	6.3	4.6	211.9
	60～64歳	4.1	2.4	44.4	0.6	1.2	0.6	7.7	3.6	5.3	206.0
	65～69歳	2.4	1.0	33.7	0.5	2.9	1.5	10.2	4.9	5.9	190.8
	70歳以上	5.0	3.5	29.9	0.3	4.1	2.9	9.1	4.1	9.4	195.3
無回答		-	-	44.4	-	-	-	-	11.1	-	188.7
居住区別	中央区	2.7	1.1	44.3	-	3.8	3.3	10.9	9.3	0.5	199.0
	北区	3.6	2.0	45.3	-	1.2	2.0	11.3	6.5	6.5	187.7
	東区	1.9	1.9	38.1	0.5	2.8	2.3	7.0	8.4	4.7	193.8
	白石区	1.3	2.0	41.3	0.7	0.7	4.0	6.7	4.7	10.0	173.4
	厚別区	2.7	0.9	41.4	-	2.7	1.8	5.4	7.2	9.0	196.3
	豊平区	2.2	1.6	42.6	0.5	0.5	4.4	10.4	8.2	6.0	177.4
	清田区	6.5	1.1	36.6	2.2	2.2	2.2	9.7	7.5	8.6	189.7
	南区	1.6	0.8	39.2	1.6	2.4	1.6	10.4	6.4	6.4	181.6
	西区	3.6	3.0	41.7	1.2	1.8	4.2	7.7	6.0	8.9	188.3
	手稲区	2.7	1.8	36.6	-	2.7	2.7	7.1	7.1	4.5	187.6
無回答		-	-	53.8	-	-	-	-	15.4	-	192.4

対象者全体の値と比較し10%以上高い

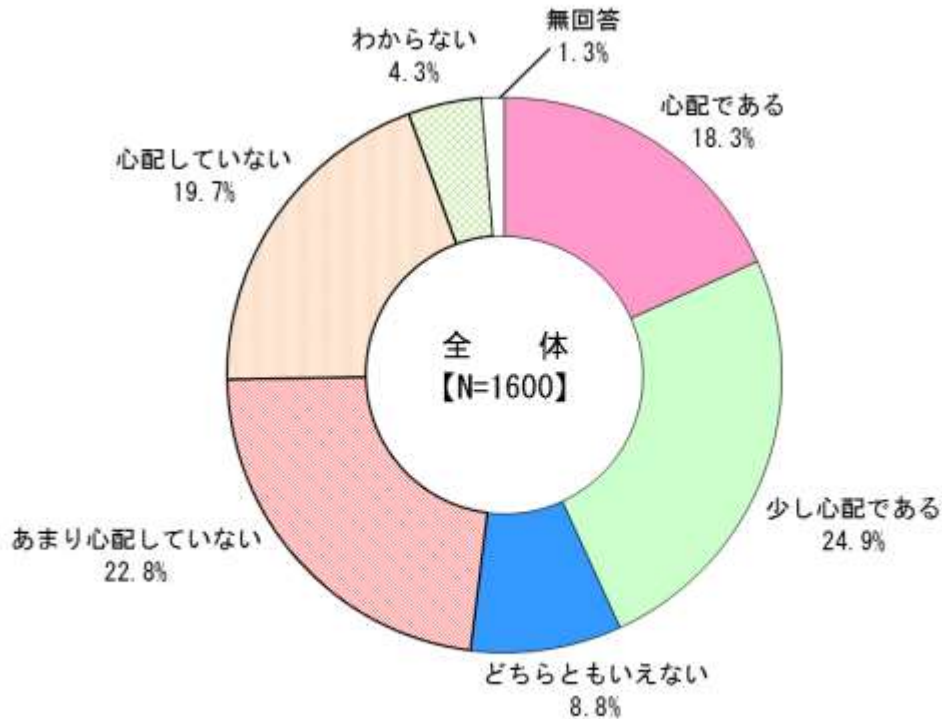
対象者全体の値と比較し10%以上低い

## 孤立死の心配

【問 10】 あなたは、孤立死について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも見取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か放置された状態で発見されることです。

孤立死の心配については、「少し心配である」が 24.9%、「あまり心配していない」が 22.8%を占めている。



### 【対象者全体】

孤立死の心配については「少し心配である」が 24.9%と最も高く、次いで「あまり心配していない」が 22.8%、「心配していない」が 19.7%、「心配である」が 18.3%、「わからない」が 4.3%となっている。

### 【性別】

男女ともに「少し心配である」が最も高く、男性は 24.5%、女性は 25.3%となっている。男性は次いで「心配していない」(23.1%)、女性は次いで「あまり心配していない」(23.4%)となっている。

### 【年代別】

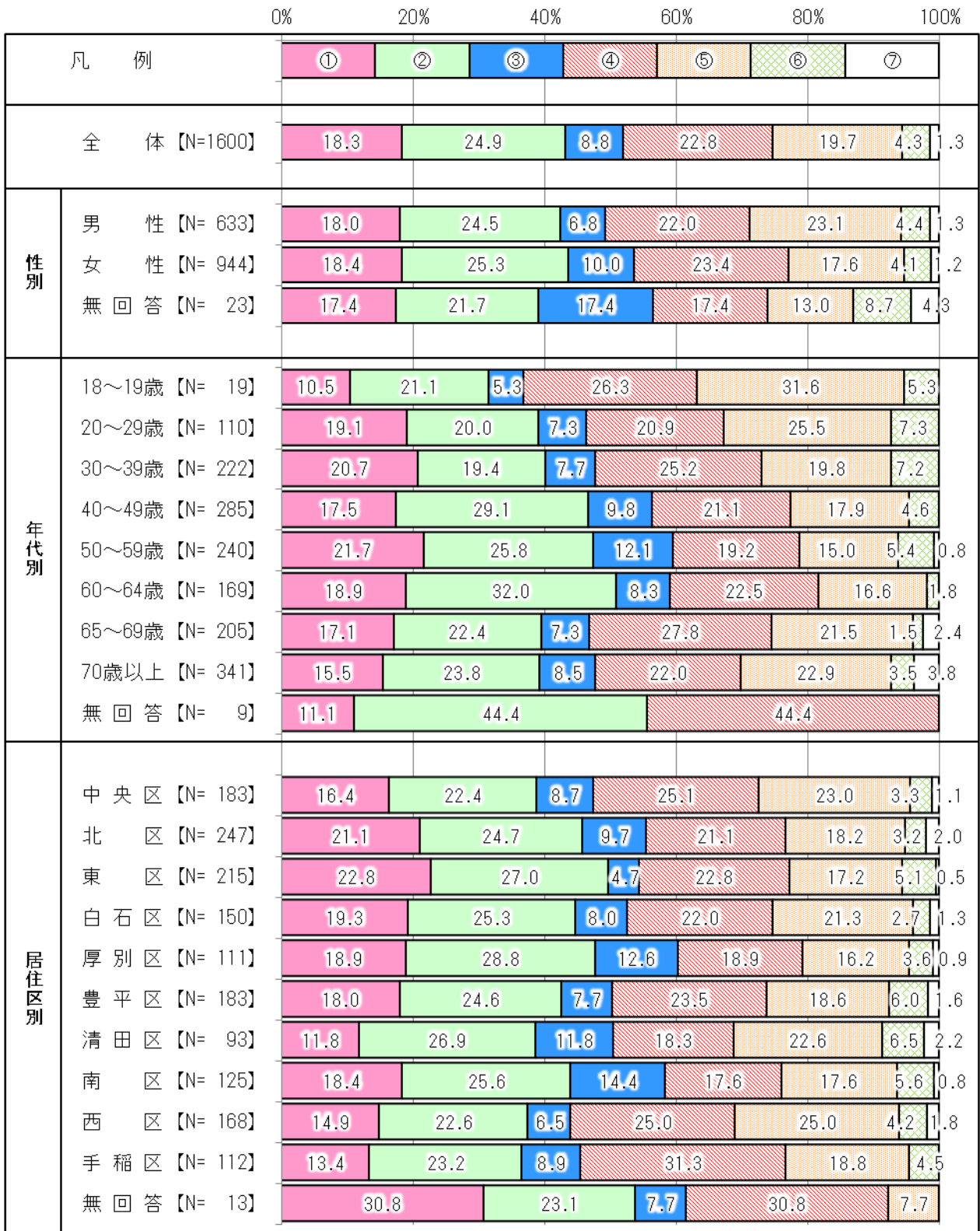
40 歳代、50 歳代、60～64 歳、70 歳以上で「少し心配である」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

中央区、西区、手稲区では、「あまり心配していない」が最も高く、その他の居住区では「少し心配である」が最も高くなっている。



①心配である                      ②少し心配である                      ③どちらともいえない  
 ④あまり心配していない              ⑤心配していない                      ⑥わからない                      ⑦無回答

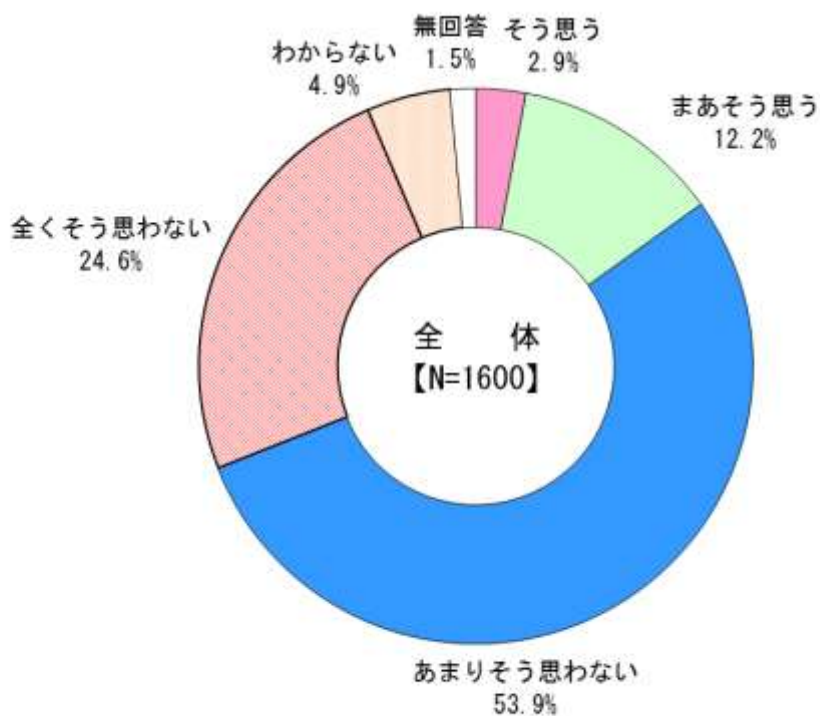


## 自転車のルールやマナーの遵守

【問 11】 札幌市は、「自転車のルールやマナーが守られている安全なまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「ルールやマナー」とは、「自転車は車道が原則」「歩道を走行する場合は、歩行者を優先し車道寄りに徐行」「二人乗り禁止」「夜間はライト点灯」「混んでいる歩道では自転車を押して歩く」などのことを指しています。

自転車のルールやマナーの遵守については、「あまりそう思わない」が 53.9%と 5 割を超えている。



### 【対象者全体】

自転車のルールやマナーの遵守については、「あまりそう思わない」が 53.9%と最も高く、次いで「全くそう思わない」が 24.6%、「まあそう思う」が 12.2%となっている。

### 【性別】

男女ともに「あまりそう思わない」が最も高く、男性で 54.0%、女性で 53.9%となっている。

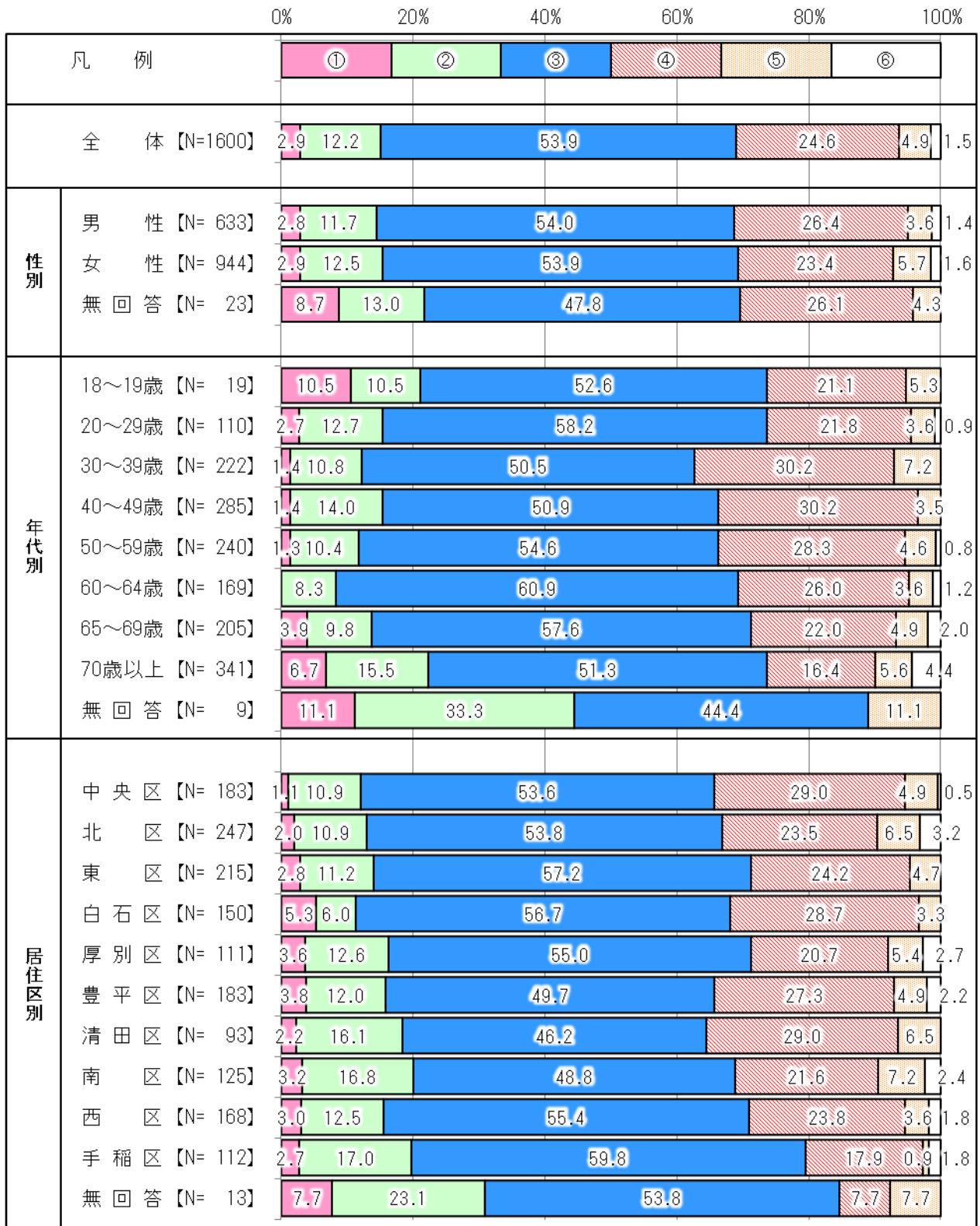
### 【年代別】

全年代で「あまりそう思わない」が最も高く、特に 60～64 歳では 60.9%、20 歳代では 58.2%となっている。

### 【居住区別】

全居住区で「あまりそう思わない」が最も高く、特に手稲区では 59.8%となっている。

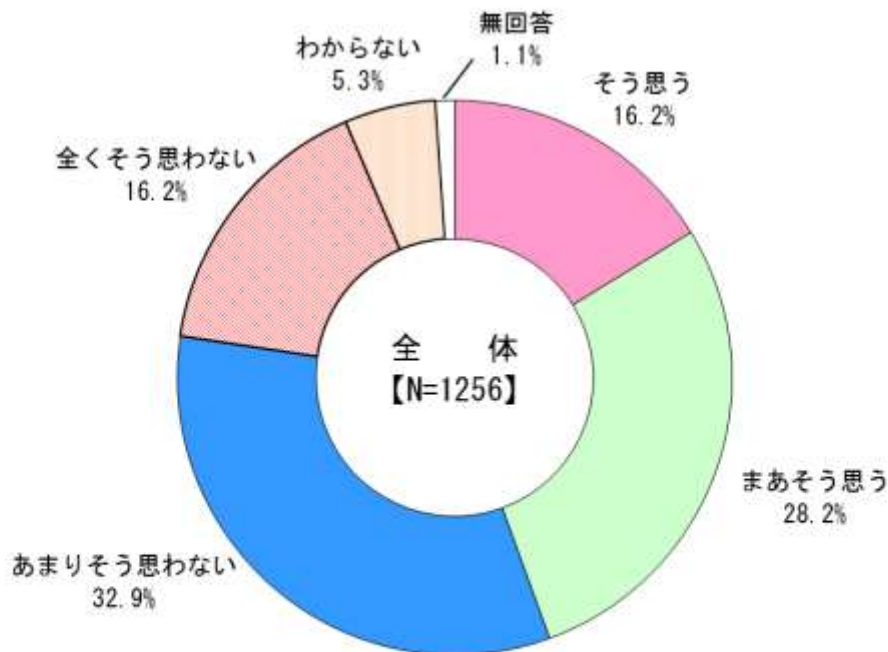
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 自転車のルールやマナーの意識向上

【問 12】 問 11 で「3. あまりそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。あなたは、自転車のルールやマナーについての意識がこの 1 年で高まりましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

自転車のルールやマナーの意識向上については、「あまりそう思わない」が 32.9%と最も高く、3 割を超えている。



### 【対象者全体】

自転車のルールやマナーの意識向上については、「あまりそう思わない」が 32.9%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 28.2%、「そう思う」「全くそう思わない」が 16.2%となっている。

### 【性別】

男性は「あまりそう思わない」が 36.0%と最も高く、女性は「まあそう思う」が 31.9%で最も高くなっている。

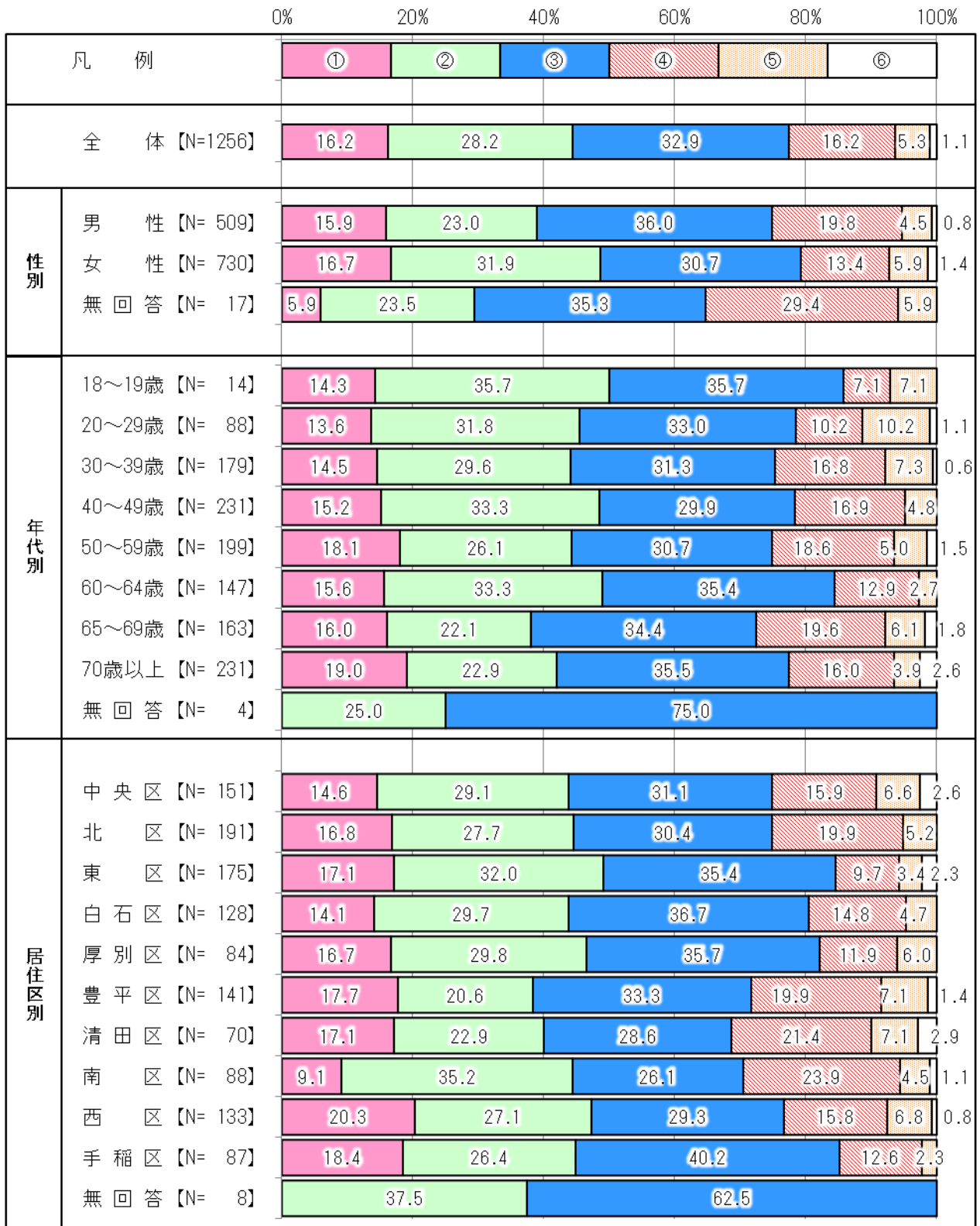
### 【年代別】

40 歳代を除く全ての年代で、「あまりそう思わない」が最も高くなっている。18～19 歳は「まあそう思う」も同値で、35.7%となっている。

### 【居住区別】

南区を除く全居住区で「あまりそう思わない」が最も高くなっている。南区は「まあそう思う」が 35.2%で最も高い。

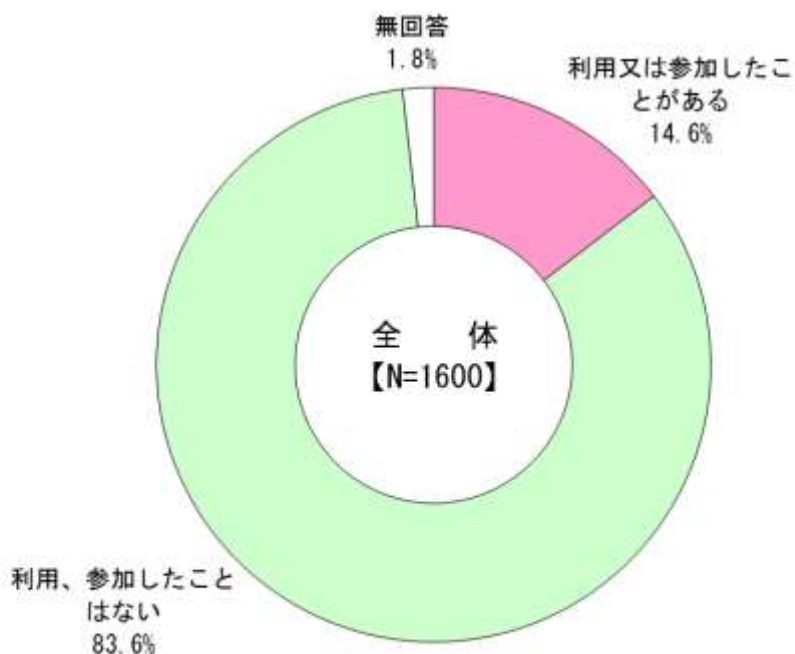
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 雪置き場の利用と参加

【問 13】 あなたは、地域の雪は地域で処理する取り組みに関して、地域の雪置き場として公園などの利用又はその後の雪割りや清掃などに参加したことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。  
※町内会と札幌市がルールなどの覚書を交わした場合に限り、公園の一部を行き置き場として利用できません。

雪置き場の利用と参加については、「利用、参加したことはない」が 83.6%となっている。



### 【対象者全体】

雪置き場の利用と参加については、「利用、参加したことはない」が 83.6%と最も高く、次いで「利用又は参加したことがある」が 14.6%となっている。

### 【性別】

男女ともに「利用、参加したことはない」が最も高く、男性で 80.6%、女性で 86.0%となっている。「利用又は参加したことがある」は男性が 18.5%と女性の 12.0%と比較し高い。

### 【年代別】

18～19 歳で「利用、参加したことはない」が 100.0%と最も高く、年代が上がるにつれて、減少する傾向にある。

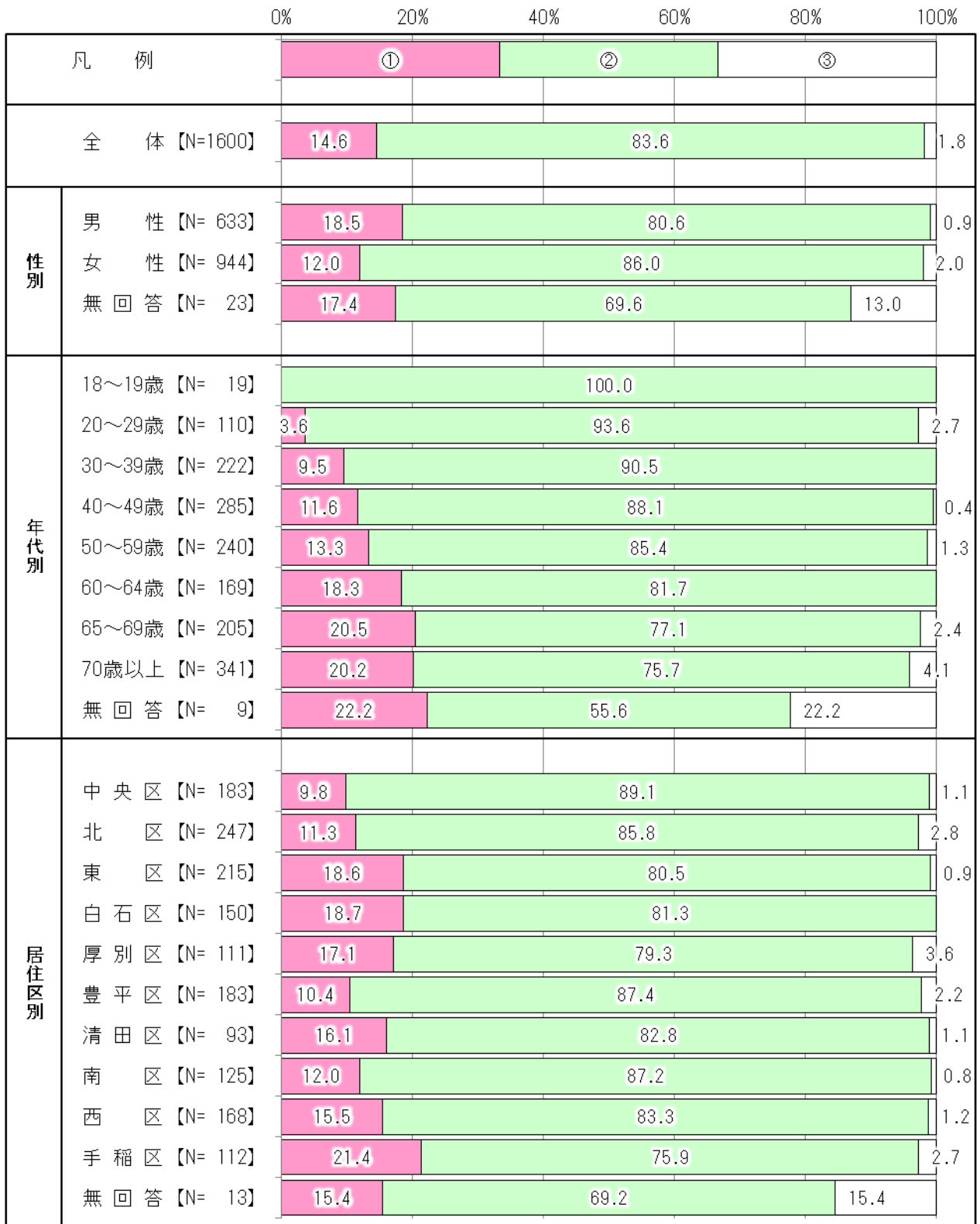
### 【居住区別】

全居住区で「利用、参加したことはない」が最も高く、特に中央区は 89.1%となっている。

①利用又は参加したことがある

②利用、参加したことはない

③無回答

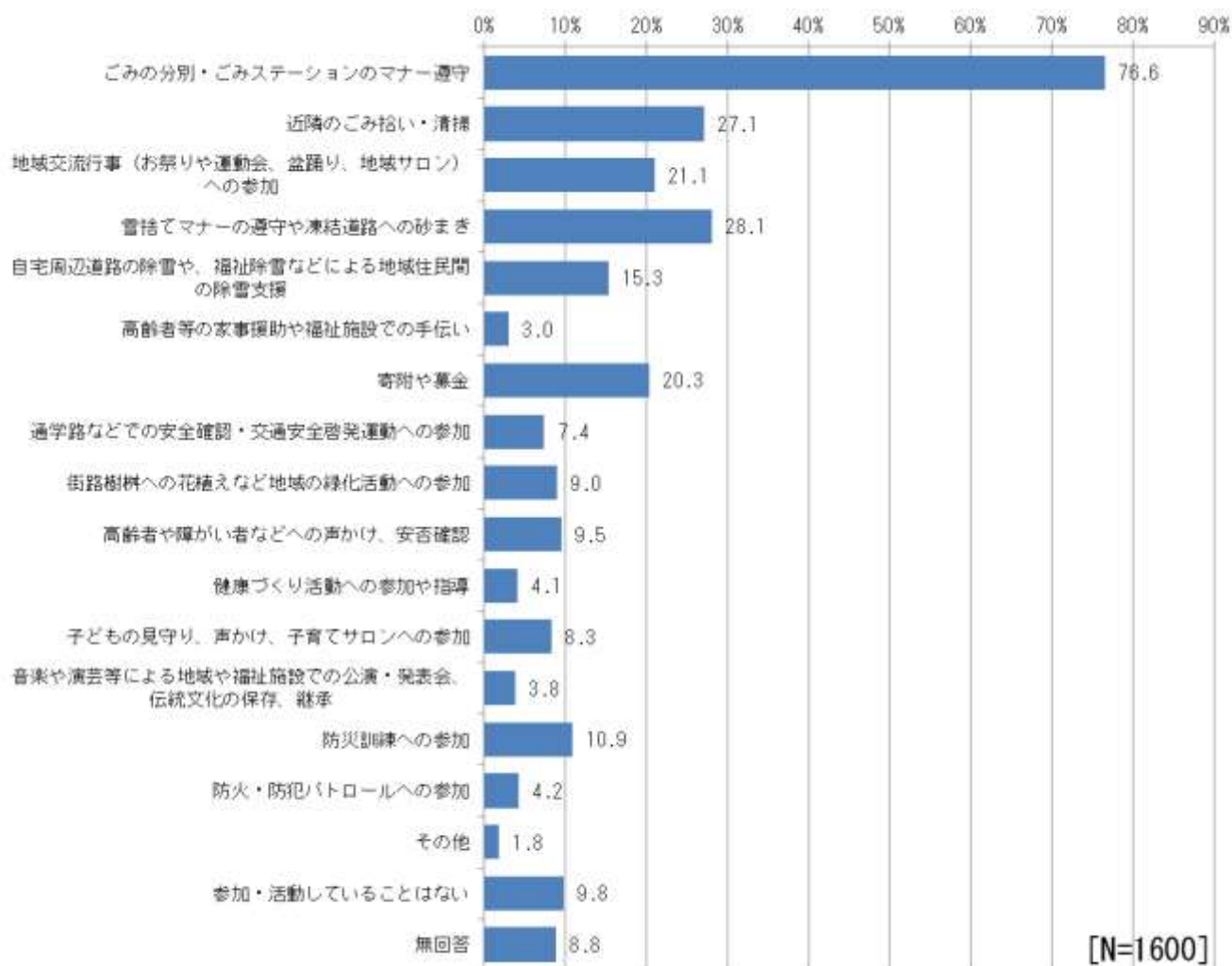


## 継続的に行っているまちづくり活動

【問 14】 次にあげるまちづくり活動のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※まちづくり活動とは、地域における安全、安心を推進し、暮らしやすいまちを実現するために、一人ひとりがごみの分別や除雪ルールに気をつけたり、同じまちに住む人々（町内会や老人クラブ、PTA、商店街など）がお互いに協力し合って、ごみステーションの管理、近所の清掃活動、街路樹柵への花植え等の活動を行ったりすることです。

継続的に行っているまちづくり活動については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が76.6%、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が28.1%となっている。



### 【対象者全体】

継続的に行っているまちづくり活動については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が76.6%と最も高く、次いで「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が28.1%、「近隣のごみ拾い・清掃」が27.1%となっている。

### 【性別】

男女ともに「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、男性が74.9%、女性が78.0%となっている。

### 【年代別】

全年代で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、特に50歳代では88.8%と約9割となっている。



【居住区別】

全居住区で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高くなっている。「近隣のごみ拾い・清掃」は手稲区(41.1%)、厚別区(37.8%)では高いが、中央区(12.6%)、豊平区(16.4%)では低くなっている。

単位：%

	回答者数	ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守	近隣のごみ拾い・清掃	参加、盆踊り、地域交流行事（お祭りや運動会、地域サロン）への参加	雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき	雪などによる地域住民間の除雪支援	自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪	高齢者等の家事援助や福祉施設での手伝い	寄附や募金	通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加	街路樹への花植えなど地域の緑化活動への参加
全体	1,600	76.6	27.1	21.1	28.1	15.3	3.0	20.3	7.4	9.0	
性別	男性	633	74.9	29.4	19.9	29.4	17.1	3.0	20.4	8.1	9.8
	女性	944	78.0	25.5	21.8	27.5	14.2	3.1	19.9	6.9	8.3
	無回答	23	69.6	30.4	26.1	13.0	13.0	-	30.4	8.7	17.4
年代別	18～19歳	19	68.4	15.8	21.1	-	10.5	-	5.3	5.3	-
	20～29歳	110	66.4	1.8	11.8	10.9	4.5	-	6.4	1.8	-
	30～39歳	222	79.3	13.5	25.7	23.9	9.9	1.4	13.5	6.3	4.1
	40～49歳	285	79.6	18.9	22.8	25.6	7.4	1.1	14.7	11.2	2.1
	50～59歳	240	88.8	23.3	17.5	36.3	17.5	3.3	24.2	5.8	4.6
	60～64歳	169	73.4	37.9	15.4	33.7	18.3	3.6	21.9	6.5	13.0
	65～69歳	205	73.7	38.0	17.1	31.2	22.9	2.9	24.9	6.8	11.2
	70歳以上	341	71.3	41.9	27.9	30.2	22.0	6.5	27.9	8.8	21.1
無回答	9	66.7	44.4	11.1	-	-	-	33.3	-	11.1	
居住区別	中央区	183	72.7	12.6	17.5	23.5	9.3	1.6	15.8	5.5	6.0
	北区	247	78.1	33.6	17.0	29.6	17.4	2.4	20.2	7.3	10.5
	東区	215	72.1	26.5	17.7	28.4	17.2	4.7	18.6	6.0	10.2
	白石区	150	80.7	24.7	26.0	30.7	16.7	3.3	20.0	12.0	4.0
	厚別区	111	77.5	37.8	20.7	27.9	20.7	3.6	26.1	8.1	11.7
	豊平区	183	79.2	16.4	21.3	18.6	6.0	1.6	17.5	5.5	6.6
	清田区	93	76.3	33.3	23.7	35.5	14.0	3.2	21.5	10.8	16.1
	南区	125	80.8	29.6	23.2	29.6	16.8	4.0	22.4	4.8	9.6
	西区	168	71.4	26.2	21.4	24.4	15.5	3.6	19.6	9.5	3.6
	手稲区	112	82.1	41.1	33.0	42.9	25.9	2.7	25.9	6.3	17.9
	無回答	13	69.2	30.8	7.7	15.4	-	-	30.8	7.7	7.7

単位：%

		高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認	健康づくり活動への参加や指導	子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加	音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承	防災訓練への参加	防火・防犯パトロールへの参加	その他	参加・活動していることはない	無回答	計
全体		9.5	4.1	8.3	3.8	10.9	4.2	1.8	9.8	8.8	269.1
性別	男性	10.4	4.1	6.3	1.6	13.1	6.3	2.2	11.5	9.5	277.0
	女性	9.0	4.1	9.6	5.2	9.2	2.8	1.4	8.7	8.3	263.5
	無回答	4.3	4.3	8.7	8.7	17.4	4.3	4.3	8.7	13.0	282.3
年代別	18～19歳	5.3	-	-	-	10.5	5.3	-	21.1	-	168.6
	20～29歳	2.7	0.9	2.7	0.9	3.6	0.9	-	27.3	-	142.6
	30～39歳	4.5	1.4	13.1	0.9	4.1	1.8	0.9	14.4	2.3	221.0
	40～49歳	2.1	0.7	8.4	2.8	3.9	2.5	0.4	10.9	3.9	219.0
	50～59歳	10.4	3.8	5.8	4.6	10.8	2.1	1.3	5.8	3.8	269.7
	60～64歳	9.5	4.1	6.5	4.1	11.8	4.1	1.8	9.5	16.6	291.7
	65～69歳	14.1	6.3	6.8	2.9	14.1	4.4	1.5	4.9	15.6	299.3
	70歳以上	17.6	8.8	10.9	7.0	20.8	9.7	4.7	5.9	16.1	359.1
無回答		22.2	11.1	11.1	22.2	22.2	-	-	-	11.1	266.5
居住区別	中央区	6.6	5.5	6.0	5.5	12.6	1.6	0.5	12.0	9.8	224.6
	北区	10.5	2.0	9.7	2.4	9.3	5.3	2.0	6.9	11.7	275.9
	東区	12.1	3.3	8.4	3.3	9.3	4.7	1.9	12.1	8.4	264.9
	白石区	10.7	6.7	9.3	4.0	11.3	3.3	0.7	9.3	6.0	279.4
	厚別区	11.7	2.7	9.9	4.5	14.4	4.5	2.7	10.8	7.2	302.5
	豊平区	5.5	4.4	7.1	2.7	12.0	4.9	1.6	8.2	8.7	227.8
	清田区	7.5	2.2	9.7	3.2	12.9	9.7	5.4	10.8	5.4	301.2
	南区	11.2	4.8	4.8	2.4	11.2	2.4	-	9.6	8.8	276.0
	西区	8.9	6.0	8.3	4.2	8.3	2.4	2.4	11.9	9.5	257.1
	手稲区	9.8	3.6	9.8	6.3	9.8	5.4	1.8	7.1	8.9	340.3
無回答		15.4	7.7	15.4	15.4	15.4	-	-	7.7	7.7	254.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

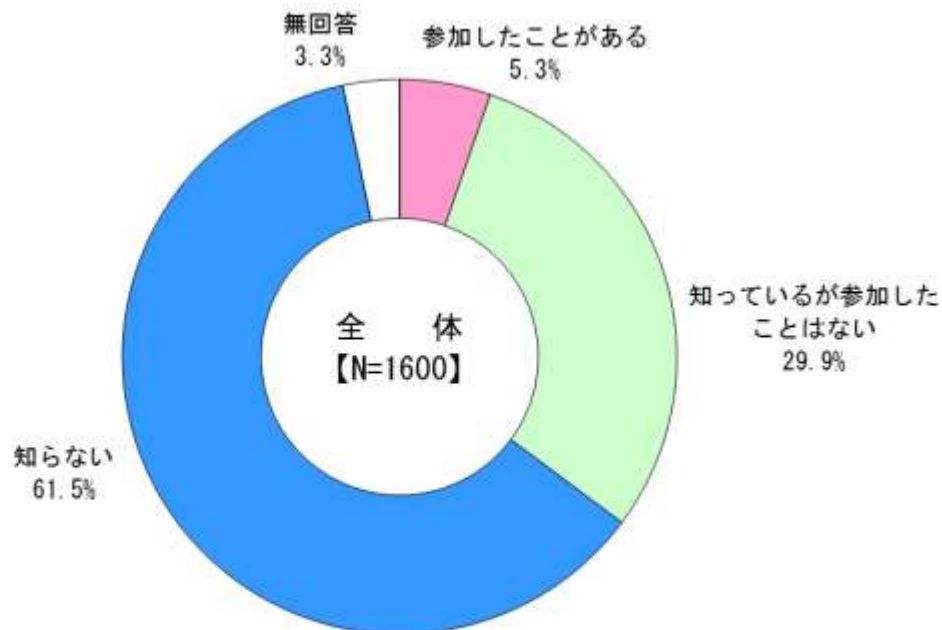
## 市民参加の機会

【問 15】 札幌市では、市の事業や施策(市政)を進めていくにあたり、できるだけ多くの市民の皆さまに参加していただけるように努めているところです。

札幌市が設けている次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 説明会・意見交換会(特定のテーマについて市民の皆さまに集まっていただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの)

説明会・意見交換会への参加については、「知らない」が 61.5%と全体の約 6 割を占めている。



### 【対象者全体】

説明会・意見交換会への参加については、「知らない」が 61.5%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が 29.9%、「参加したことがある」が 5.3%となっている。

### 【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性で 59.6%、女性で 62.7%となっている。「参加したことがある」は男性が 6.2%と女性の 4.6%と比較し若干高い。

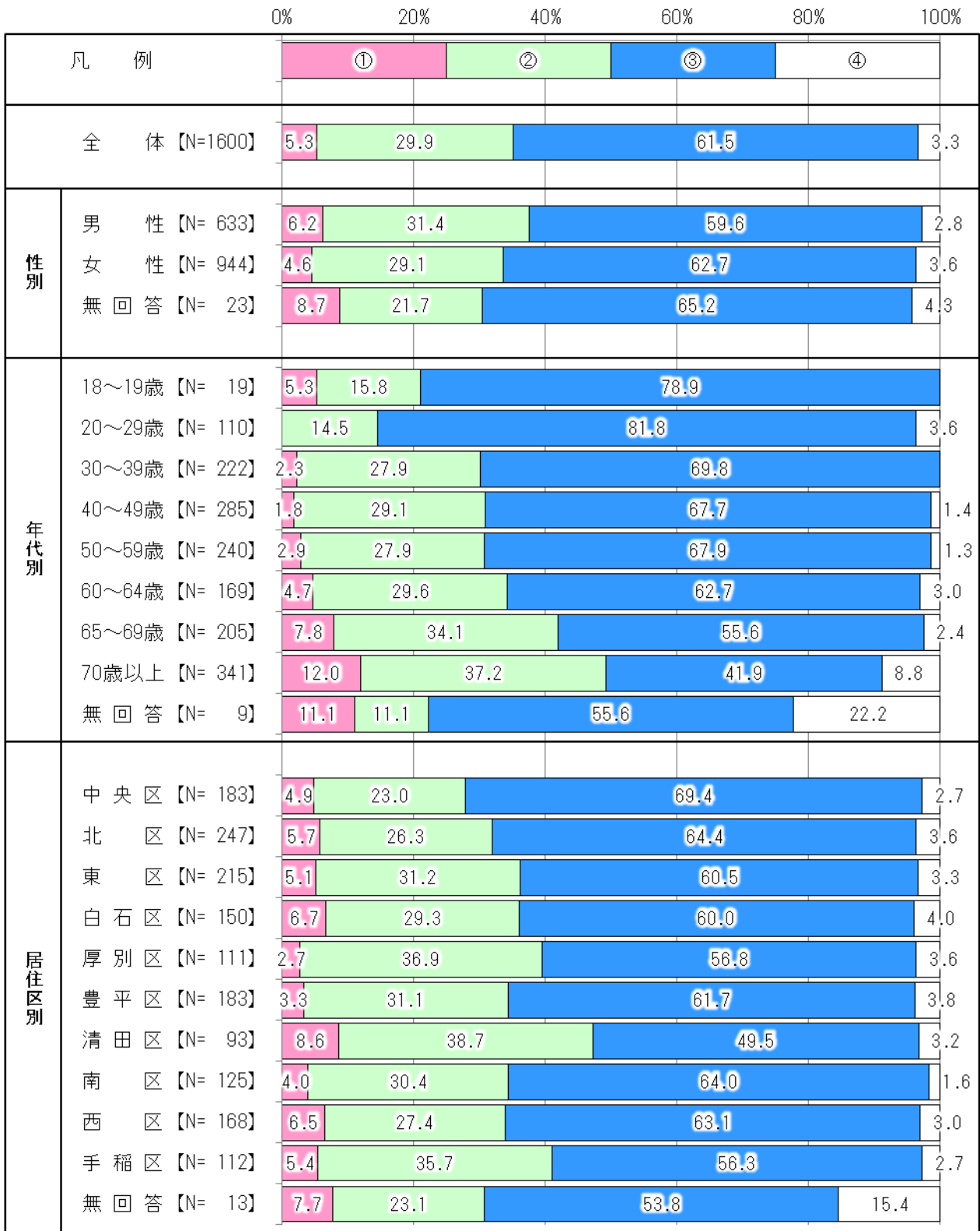
### 【年代別】

全年代で「知らない」が最も高く、特に 20 歳代では 81.8%となっている。

### 【居住区別】

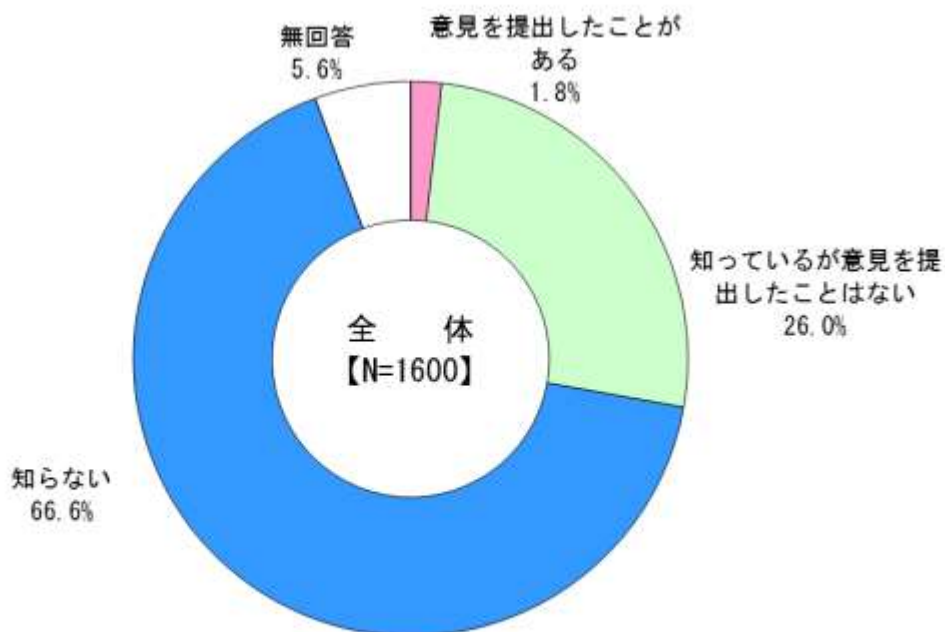
全居住区で「知らない」が最も高く、中央区では 69.4%となっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



- (2) パブリックコメント(条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆さまから意見をいただくもの)

パブリックコメントの提出については、「知らない」が 66.6%、「知っているが意見を提出したことはない」が 26.0%となっている。



#### 【対象者全体】

パブリックコメントの提出については、「知らない」が 66.6%と最も高く、次いで「知っているが意見を提出したことはない」が 26.0%、「意見を提出したことがある」が 1.8%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性で 59.9%、女性で 71.4%となっている。「知っているが意見を提出したことはない」は男性が 32.2%と、女性の 21.4%と比較し高い。

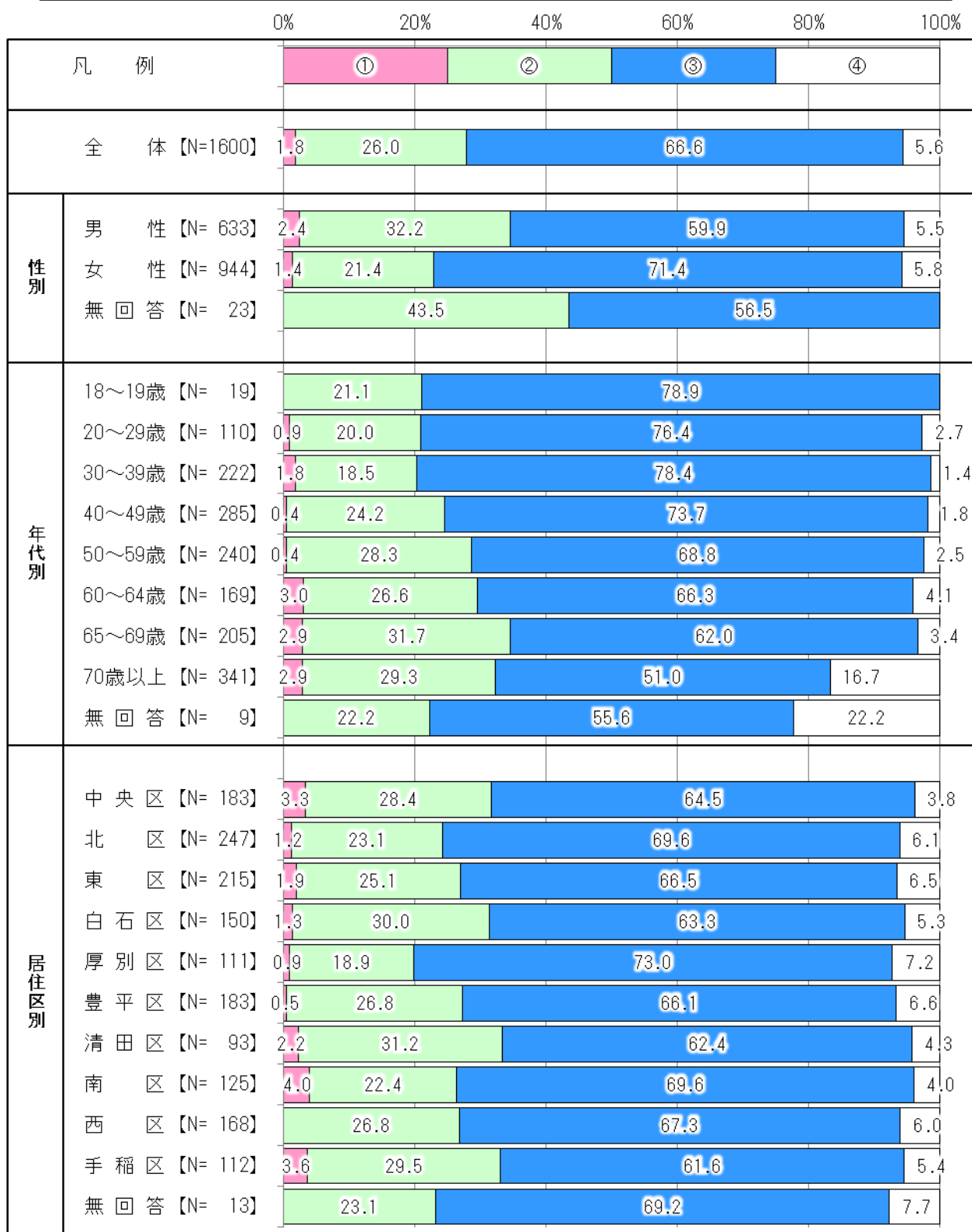
#### 【年代別】

全年代で「知らない」が最も高く、特に 18～19 歳では 78.9%、30 歳代では 78.4%となっている。

#### 【居住区別】

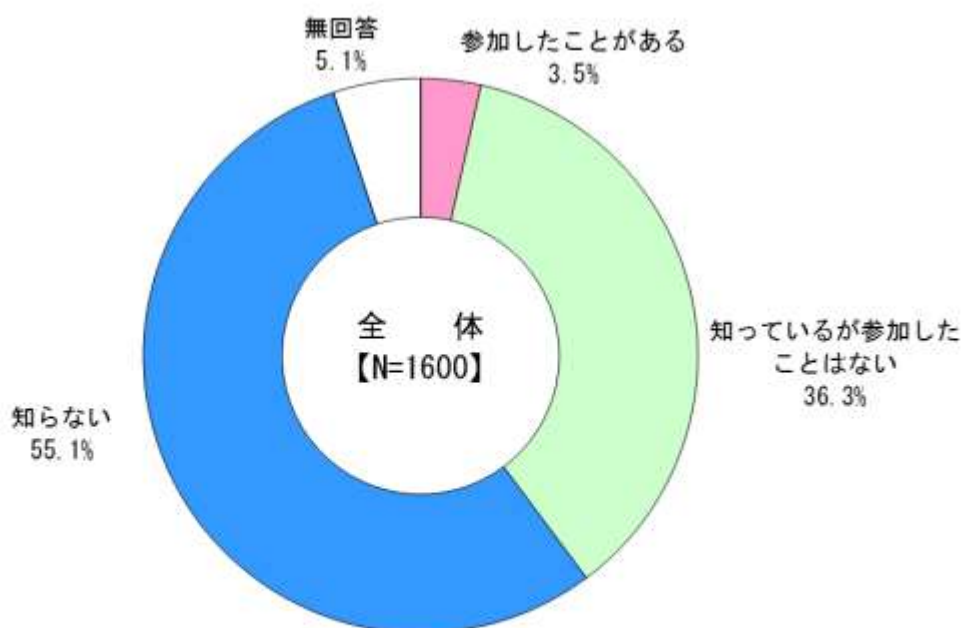
全居住区で「知らない」が最も高く、厚別区は 73.0%と 7 割を超えている。

①意見を提出したことがある ②知っているが意見を提出したことはない ③知らない ④無回答



(3) シンポジウム・フォーラム(特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会)

シンポジウム・フォーラムの参加については、「知らない」が55.1%、「知っているが参加したことはない」が36.3%となっている。



【対象者全体】

シンポジウム・フォーラムの参加については、「知らない」が55.1%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が36.3%、「参加したことがある」が3.5%となっている。

【性別】

男女どちらも「知らない」が最も高く、男性で52.8%、女性で57.1%となっている。

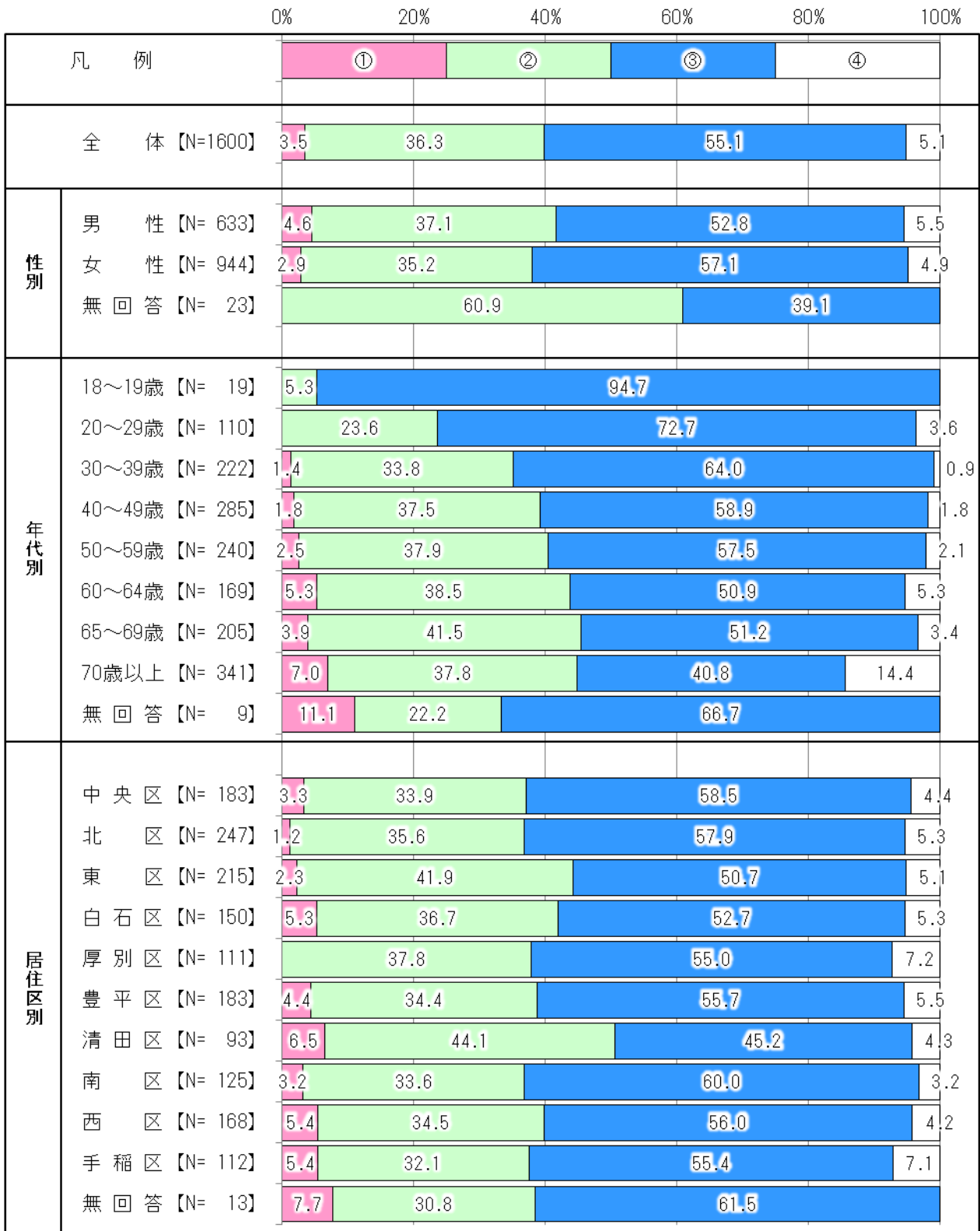
【年代別】

全年代で「知らない」が最も高く、18～19歳は94.7%となっている。

【居住区別】

全居住区で「知らない」が最も高くなっている。「知っているが参加したことはない」は清田区で44.1%、東区で41.9%と他の居住区と比較し高い。

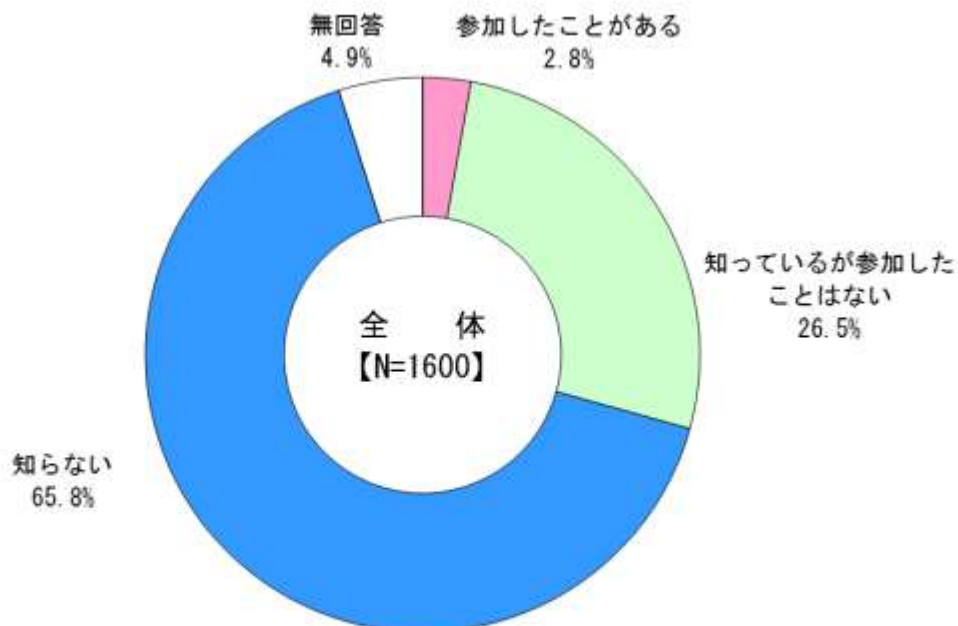
①参加したことがある    ②知っているが参加したことはない    ③知らない    ④無回答





- (4) ワークショップ(特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの)

ワークショップの参加については、「知らない」が 65.8%、「知っているが参加したことはない」が 26.5%となっている。



**【対象者全体】**

ワークショップの参加については、「知らない」が 65.8%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が 26.5%、「参加したことがある」が 2.8%となっている。

**【性別】**

男女ともに「知らない」が最も高く、男性で 64.5%、女性で 66.9%となっている。

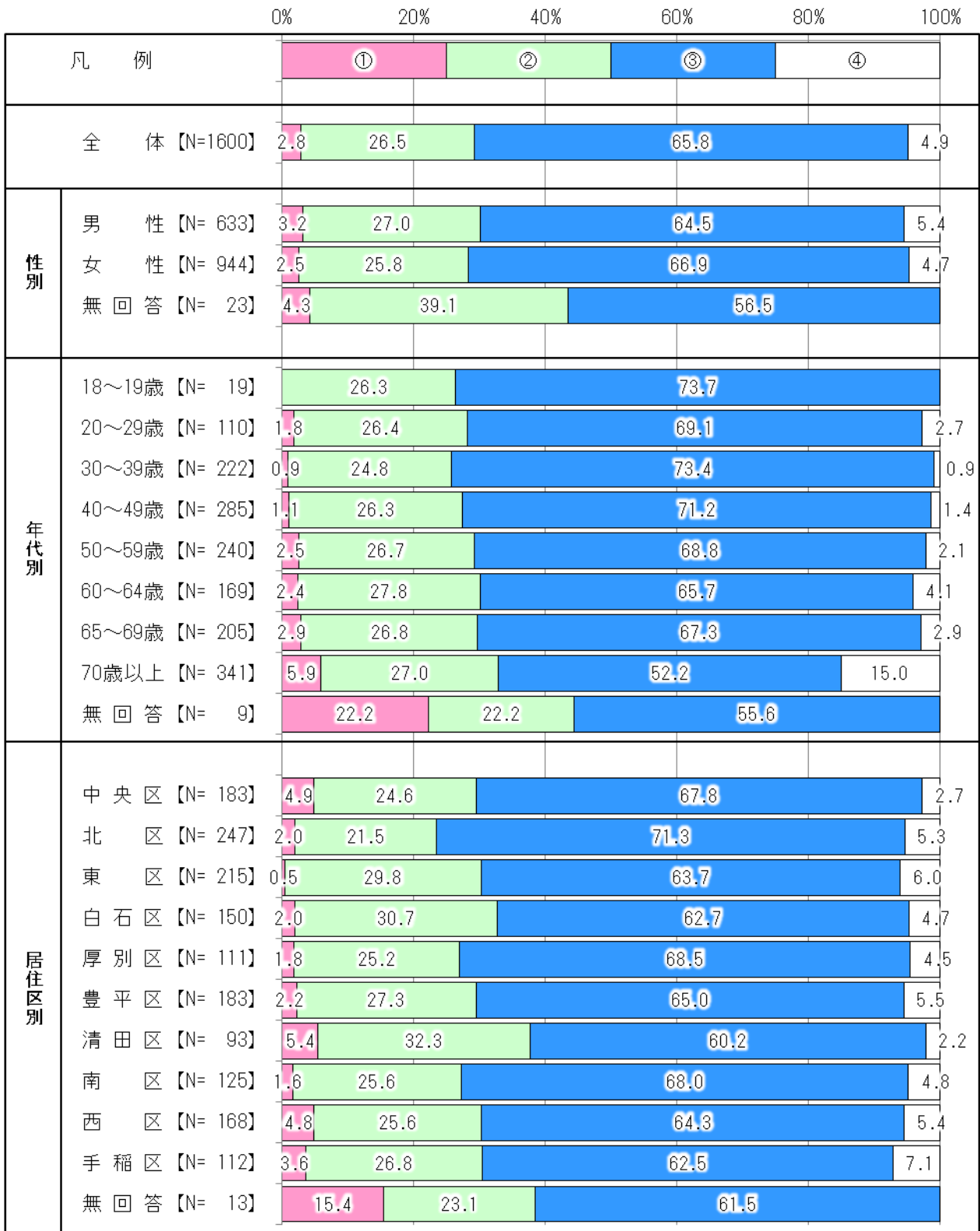
**【年代別】**

全年代で「知らない」が最も高く、18～19 歳では 73.7%、30 歳代では 73.4%となっている。

**【居住区別】**

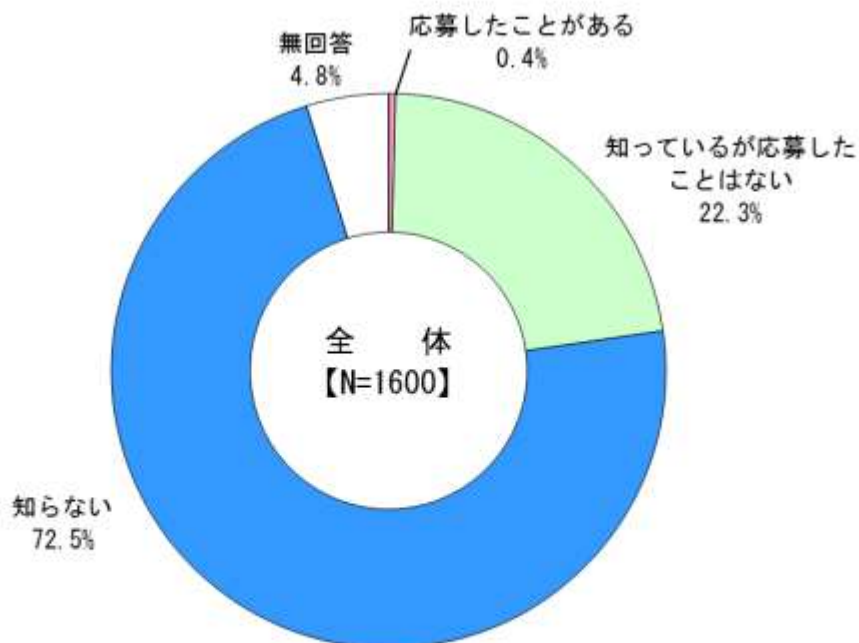
全居住区で「知らない」が最も高く、北区では 71.3%と 7 割を超えている。

①参加したことがある    ②知っているが参加したことはない    ③知らない    ④無回答



- (5) 審議会など(学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や討論を行うもの)における市民委員の公募

市民委員の公募については、「知らない」が72.5%、「知っているが応募したことはない」が22.3%となっている。



**【対象者全体】**

市民委員の公募については、「知らない」が72.5%と最も高く、次いで「知っているが応募したことはない」が22.3%、「応募したことがある」が0.4%となっている。

**【性別】**

男女ともに「知らない」が最も高く、男性で67.3%、女性で76.0%となっている。

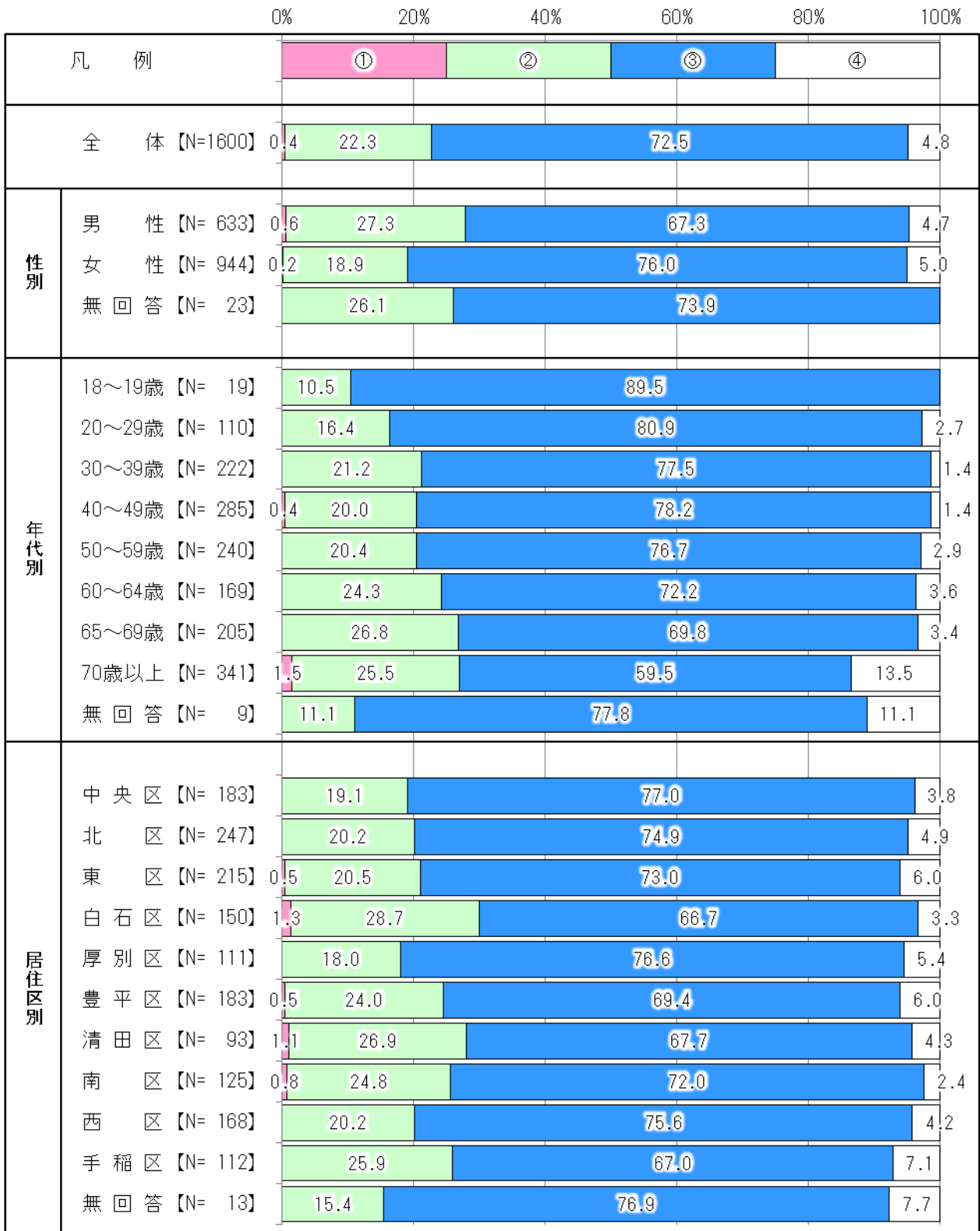
**【年代別】**

全年代で「知らない」が最も高く、18～19歳で89.5%、20歳代で80.9%と8割を超えている。

**【居住区別】**

全居住区で「知らない」が最も高く、中央区では77.0%、厚別区では76.6%、西区では75.6%となっている。

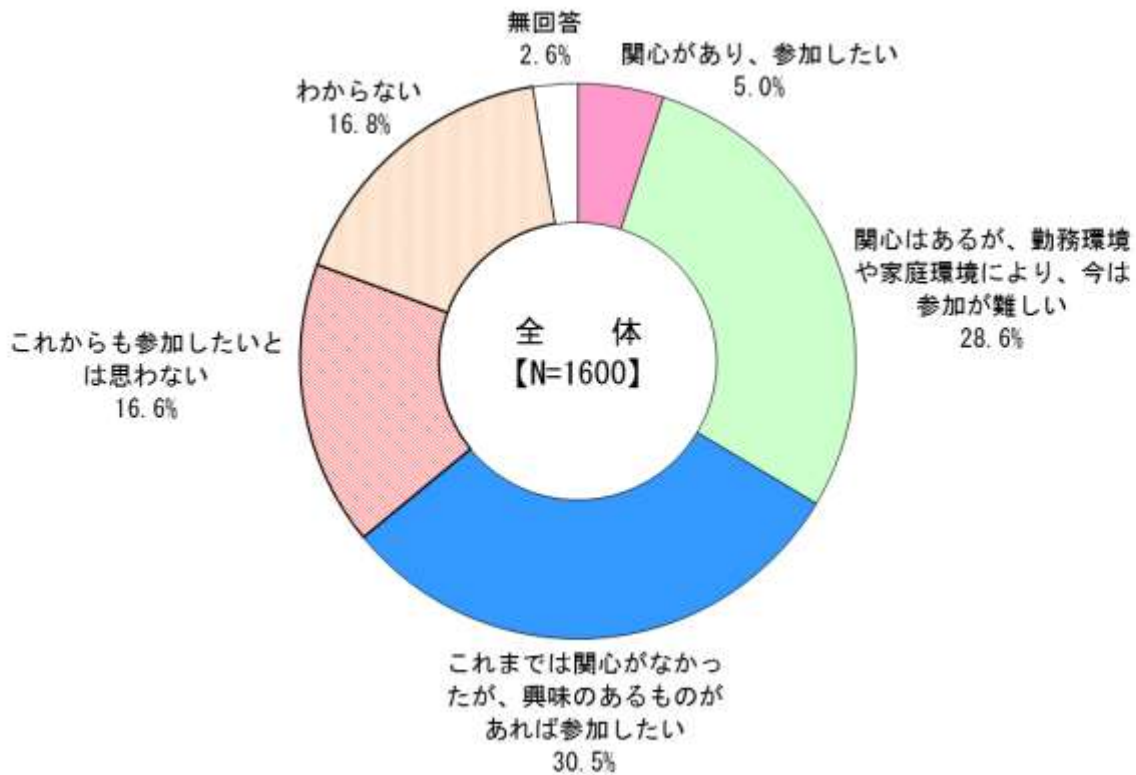
①応募したことがある    ②知っているが応募したことはない    ③知らない    ④無回答



## 市政への関心や参加

【問 16】 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への関心や参加については、「これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が 30.5%、「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が 28.6%となっている。



### 【対象者全体】

市政への関心や参加については、「これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が 30.5%と最も高く、「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が 28.6%、「これからも参加したいとは思わない」が 16.6%となっている。

### 【性別】

男性は「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が 30.6%で最も高く、女性は「これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が 31.4%で最も高い。

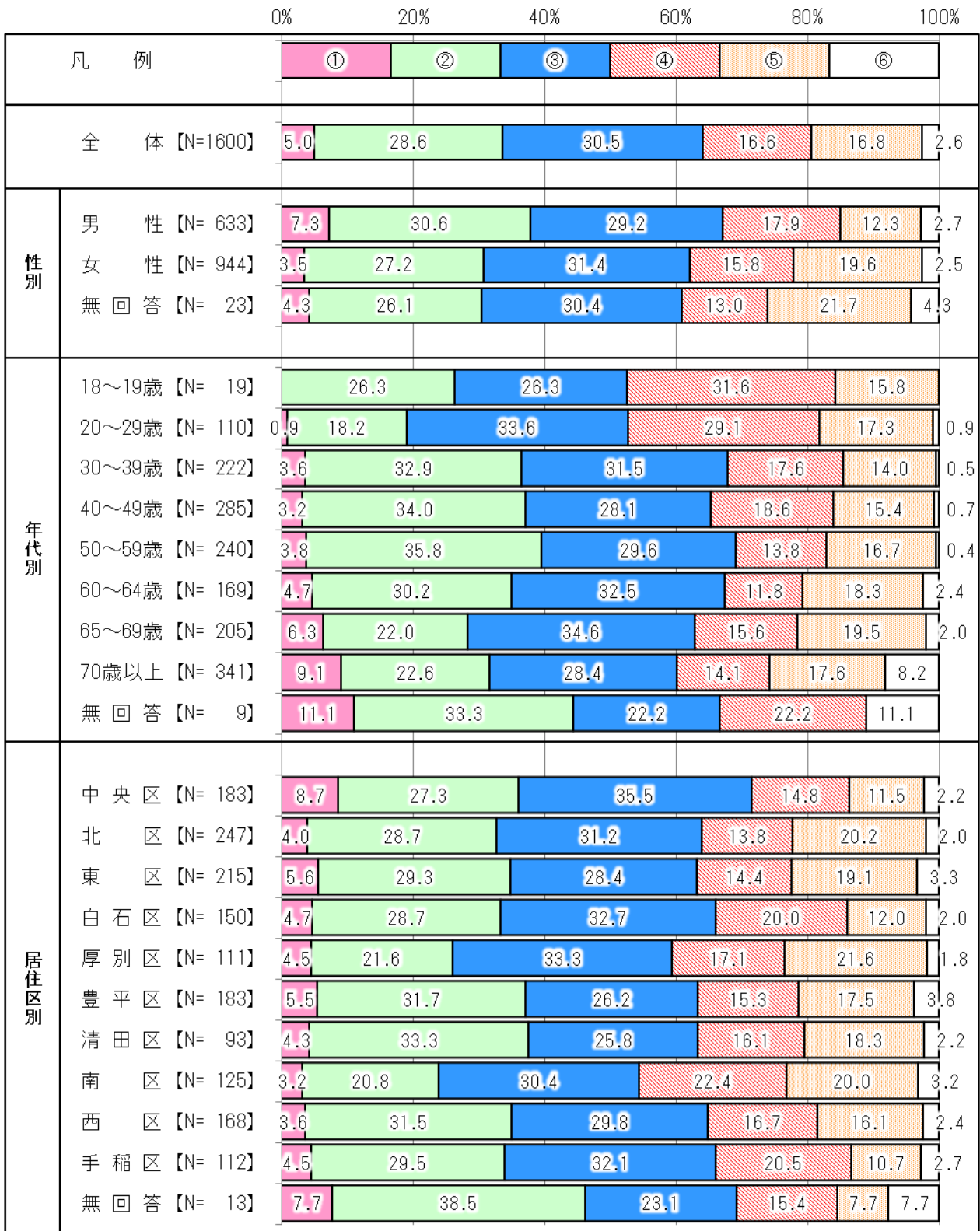
### 【年代別】

30 歳代、40 歳代、50 歳代では「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が最も高く、20 歳代、60 歳代、70 歳以上では「これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

「関心があり参加したい」は中央区で 8.7%と他の居住区と比較し高くなっている。

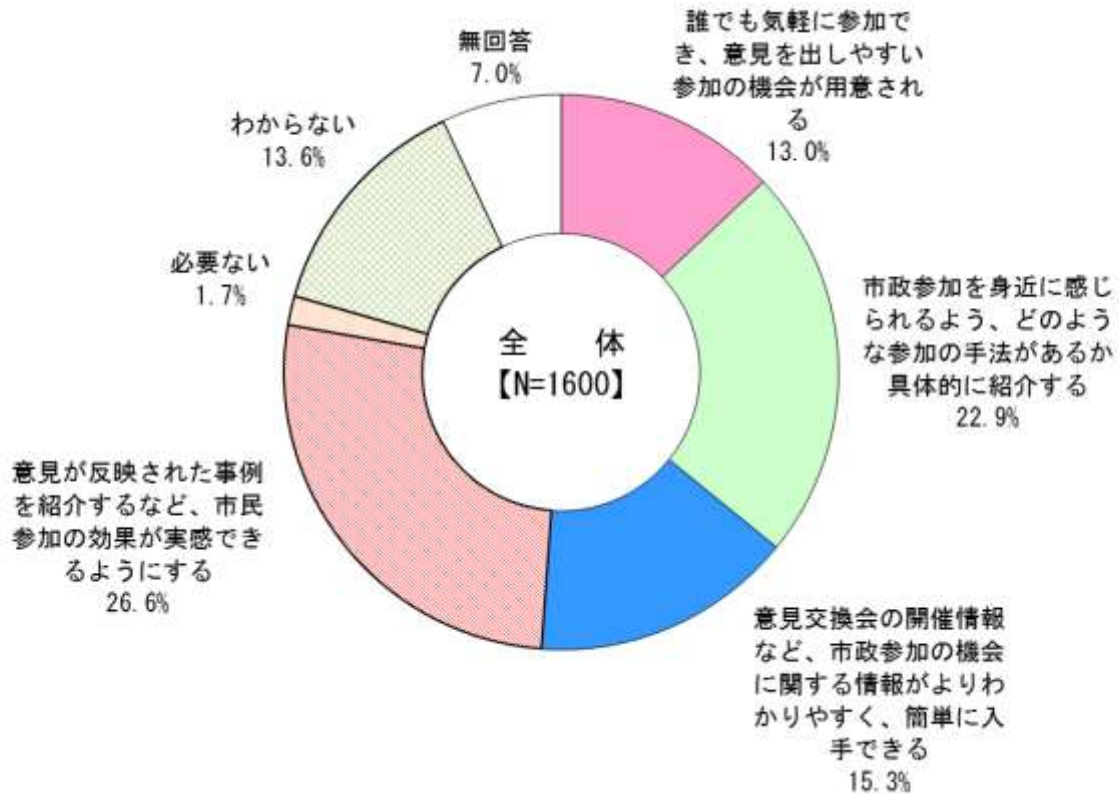
- ①関心があり、参加したい      ②関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい  
 ③これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい  
 ④これからも参加したいとは思わない      ⑤わからない      ⑥無回答



## 市政への参加しやすさに必要な事柄

【問 17】 今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への参加しやすさに必要な事柄については、「意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が 26.6%、「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」が 22.9%となっている。



### 【対象者全体】

市政への参加しやすさに必要な事柄については、「意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が 26.6%と最も高く、次いで「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」が 22.9%、「意見交換会の開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく、簡単に入手できる」が 15.3%となっている。

### 【性別】

男女ともに「意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が最も高く、男性で 26.1%、女性で 27.4%となっている。

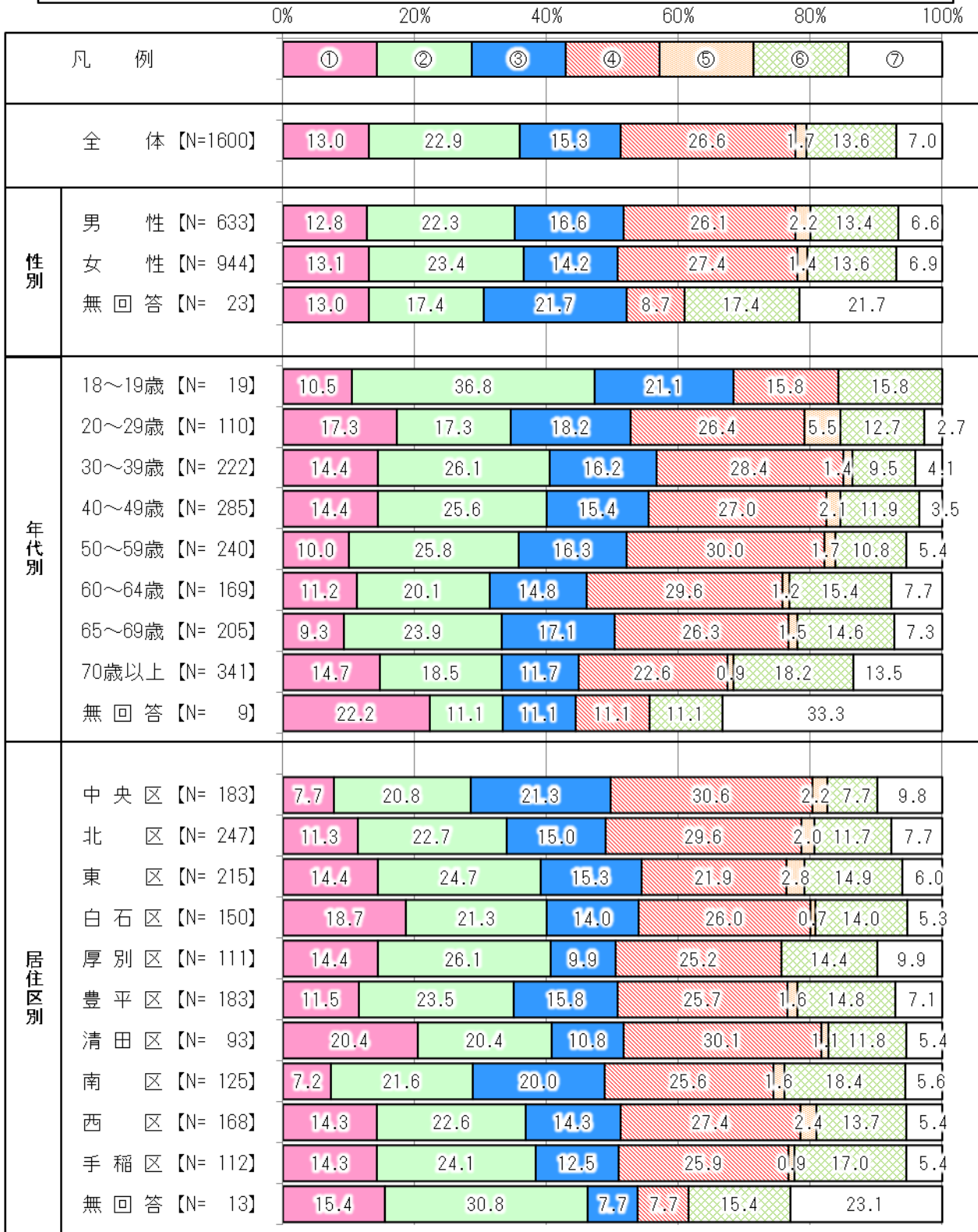
### 【年代別】

18～19 歳をのぞく全年代で「意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が最も高く、50 歳代では 30.0%と 3 割を占めている。18～19 歳は「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」が 36.8%で最も高い。

### 【居住区別】

東区と厚別区を除く全居住区で「意見が反映された事例を紹介するなど、市政参加の効果が実感できるようにする」が最も高い。東区と厚別区は、「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」が最も高くなっている。

- ①誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される  
 ②市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する  
 ③意見交換会の開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく、簡単に入手できる  
 ④意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする  
 ⑤必要ない ⑥わからない ⑦無回答





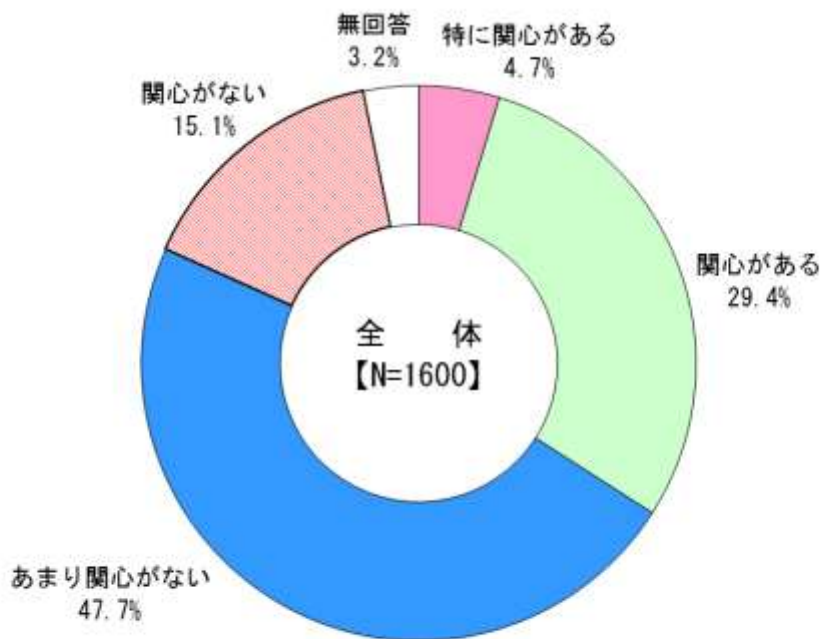
## 海外交流への関心

【問 18】 あなたは、姉妹・友好都市をはじめとした海外諸都市との交流や外国人の方との交流に関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド(アメリカ)、ミュンヘン(ドイツ)、瀋陽(中国)、ノボシビルスク(ロシア)、大田(韓国)の5都市です。

※2 「海外諸都市との交流や外国人の方との交流」とは、文化芸術(芸術作品の創作・鑑賞等)、スポーツ(青少年スポーツ交流等)、観光(外国人観光客のおもてな、海外での見聞を広める等)、教育(語学、留学等)、経済(企業の進出・誘致、流通の拡大等)など様々な分野における交流を指します。

海外交流への関心については、「あまり関心がない」(47.7%)と「関心がない」(15.1%)を合わせた割合が6割(62.8%)を超えている。「関心がある」は29.4%となっている。



### 【対象者全体】

海外交流への関心については、「あまり関心がない」が47.7%と最も高く、次いで「関心がある」が29.4%、「関心がない」が15.1%、「特に関心がある」が4.7%となっている。

### 【性別】

男女ともに「あまり関心がない」が最も高く、男性で47.1%、女性で48.1%となっている。

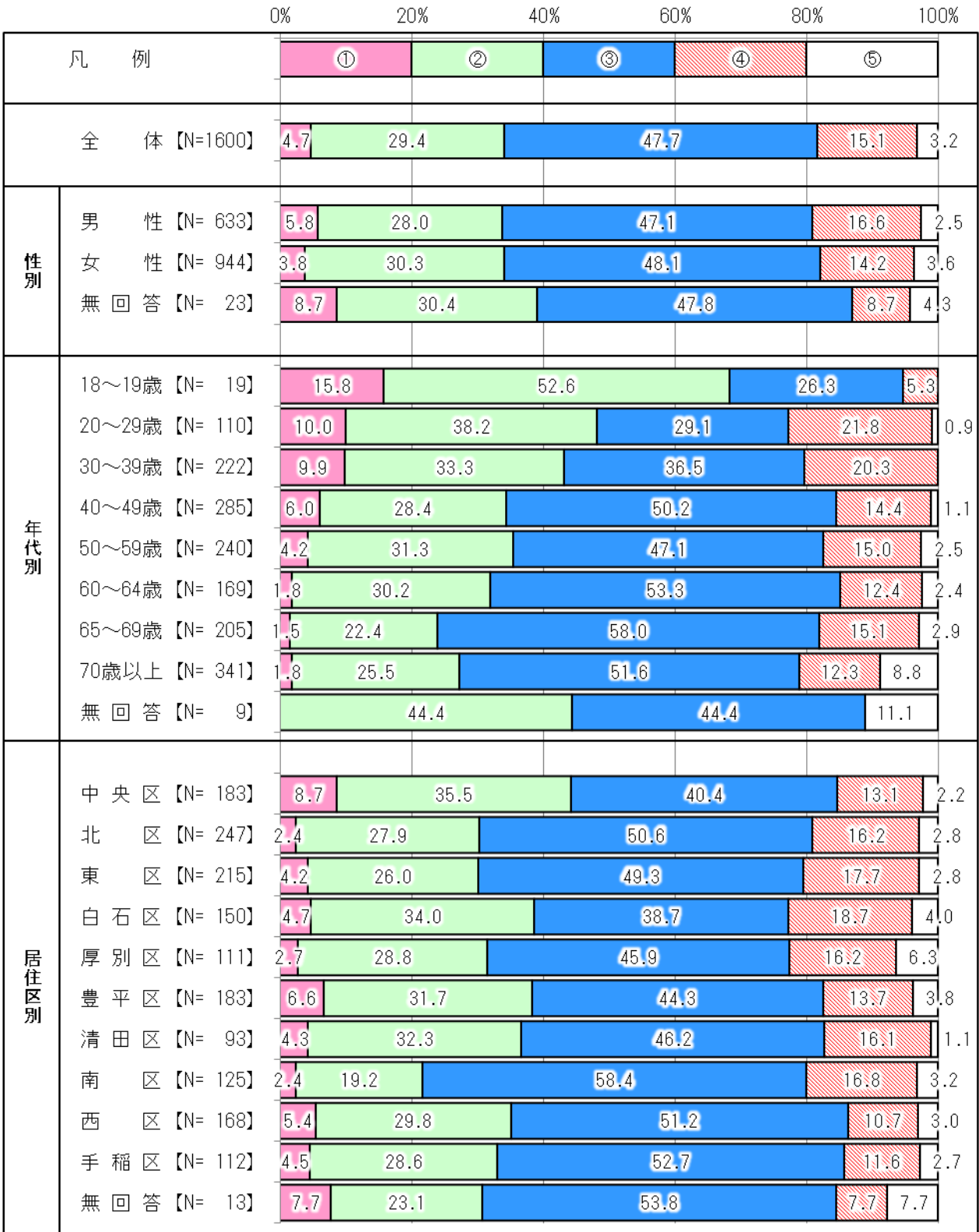
### 【年代別】

18～19歳、20歳代を除く全年代で「あまり関心がない」が最も高い。18～19歳、20歳代は「関心がある」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

全居住区で「あまり関心がない」が最も高くなっている。

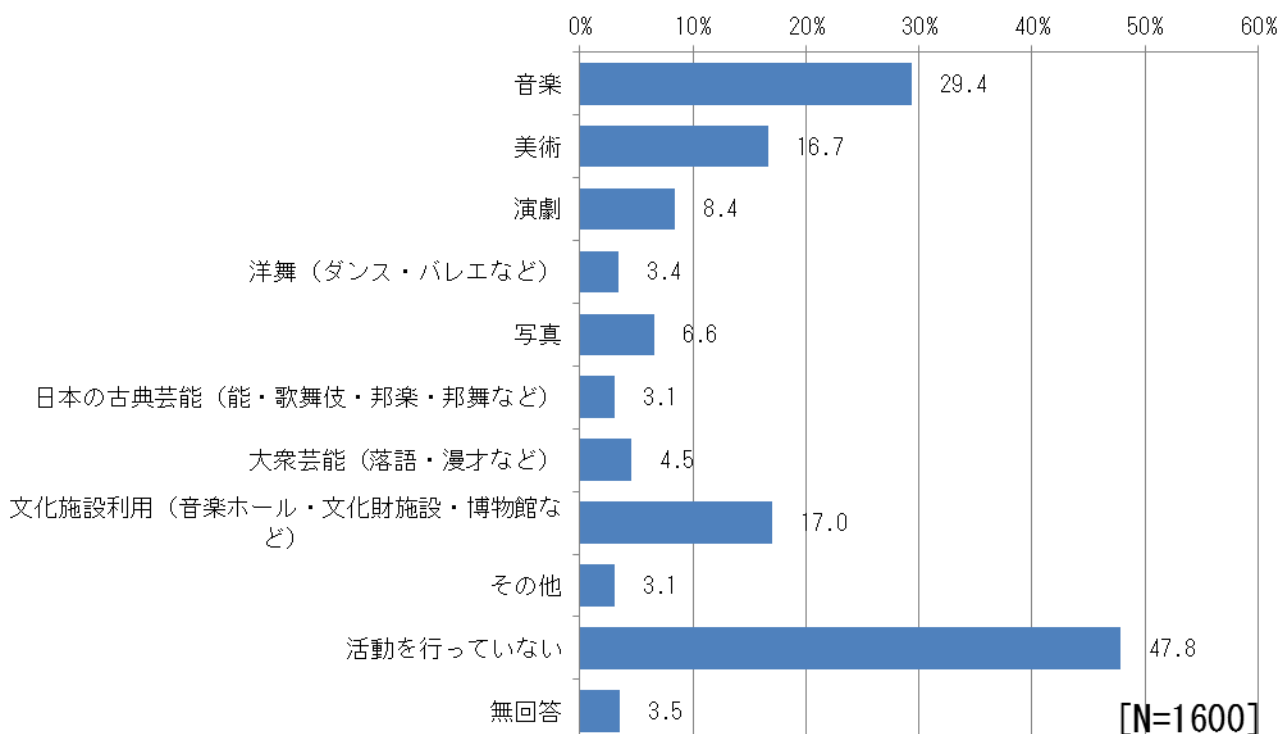
①特に関心がある    ②関心がある    ③あまり関心がない    ④関心がない    ⑤無回答



## 趣味などで行った文化芸術活動

【問 19】 あなたが、この 1 年間に、趣味などで行った文化芸術活動(実践及び鑑賞)はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

趣味などで行った文化芸術活動については、「活動を行っていない」が 47.8%、「音楽」が 29.4%となっている。



### 【対象者全体】

趣味などで行った文化芸術活動については、「活動を行っていない」が 47.8%と最も高く、次いで「音楽」が 29.4%、「文化施設利用(音楽ホール・文化財施設・博物館など)」が 17.0%、「美術」が 16.7%となっている。

### 【性別】

男女ともに「活動を行っていない」が最も高く、男性で 55.6%、女性で 42.5%となっている。「音楽」は女性が 33.4%と、男性の 23.5%と比較し高い。

### 【年代別】

18～19 歳を除く全ての年代で「活動を行っていない」が最も高くなっている。18～19 歳は「音楽」が 68.4%と最も高くなっている。

### 【居住区別】

中央区を除く全居住区で「活動を行っていない」が最も高く、特に手稲区では 58.0%となっている。中央区では「音楽」が 38.3%で最も高くなっている。


		回答者数	音楽	美術	演劇	洋舞 (ダンス・バレエなど)	写真	日本の古典芸能(能・歌舞伎・邦楽・邦舞など)
全体		1,600	29.4	16.7	8.4	3.4	6.6	3.1
性別	男性	633	23.5	11.7	5.1	1.4	6.5	1.7
	女性	944	33.4	20.0	10.6	4.8	6.5	4.0
	無回答	23	30.4	17.4	13.0	4.3	17.4	-
年代別	18～19歳	19	68.4	-	26.3	-	15.8	10.5
	20～29歳	110	35.5	21.8	12.7	4.5	10.9	2.7
	30～39歳	222	30.6	11.3	8.6	3.2	4.1	-
	40～49歳	285	31.9	14.7	13.0	2.8	8.8	3.5
	50～59歳	240	32.9	21.3	7.5	3.3	8.3	2.5
	60～64歳	169	23.7	16.0	7.7	2.4	5.3	1.8
	65～69歳	205	25.4	19.0	5.9	4.4	3.9	2.9
	70歳以上	341	24.6	17.0	4.1	4.1	5.3	5.6
	無回答	9	55.6	11.1	33.3	-	22.2	-
居住区別	中央区	183	38.3	21.9	9.8	4.9	9.8	3.3
	北区	247	26.3	13.8	8.1	2.8	4.5	1.6
	東区	215	28.4	16.3	8.8	3.7	7.9	3.7
	白石区	150	26.0	20.0	10.0	3.3	10.0	3.3
	厚別区	111	30.6	18.0	5.4	4.5	8.1	2.7
	豊平区	183	33.9	18.0	10.4	2.7	4.9	3.8
	清田区	93	25.8	16.1	10.8	1.1	5.4	3.2
	南区	125	22.4	14.4	5.6	4.0	5.6	4.0
	西区	168	32.7	15.5	4.8	2.4	6.5	3.6
	手稲区	112	23.2	13.4	8.0	4.5	2.7	0.9
	無回答	13	53.8	7.7	30.8	7.7	7.7	7.7


対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

		回答者数	大衆芸能 (落語・漫才など)	文化施設 利用(音楽ホール・文 化財施設・博物館など)	その他	活動を行っていない	無回答	計
全体		1,600	4.5	17.0	3.1	47.8	3.5	143.5
性別	男性	633	3.9	13.1	2.8	55.6	3.2	128.5
	女性	944	4.9	19.7	3.4	42.5	3.6	153.4
	無回答	23	4.3	13.0	-	52.2	8.7	160.7
年代別	18～19歳	19	10.5	10.5	-	21.1	-	163.1
	20～29歳	110	1.8	9.1	0.9	44.5	0.9	145.3
	30～39歳	222	2.7	12.6	1.4	51.4	0.5	126.4
	40～49歳	285	3.9	17.5	1.8	49.5	1.1	148.5
	50～59歳	240	7.5	21.7	3.3	45.4	1.3	155.0
	60～64歳	169	4.7	15.4	3.6	55.6	2.4	138.6
	65～69歳	205	3.4	19.0	3.9	51.2	3.9	142.9
	70歳以上	341	5.0	18.2	5.6	43.1	10.3	142.9
	無回答	9	11.1	33.3	-	22.2	11.1	199.9
居住区別	中央区	183	4.9	22.4	3.8	37.2	2.7	159.0
	北区	247	4.5	13.8	3.2	53.0	2.4	134.0
	東区	215	3.7	15.3	1.9	46.5	3.7	139.9
	白石区	150	5.3	17.3	2.0	48.0	4.0	149.2
	厚別区	111	3.6	18.9	0.9	45.9	3.6	142.2
	豊平区	183	3.3	20.8	4.4	42.6	4.4	149.2
	清田区	93	6.5	17.2	6.5	52.7	1.1	146.4
	南区	125	6.4	10.4	3.2	53.6	4.0	133.6
	西区	168	2.4	20.2	3.0	47.0	6.0	144.1
	手稲区	112	5.4	10.7	3.6	58.0	1.8	132.2
	無回答	13	15.4	30.8	-	38.5	7.7	207.8

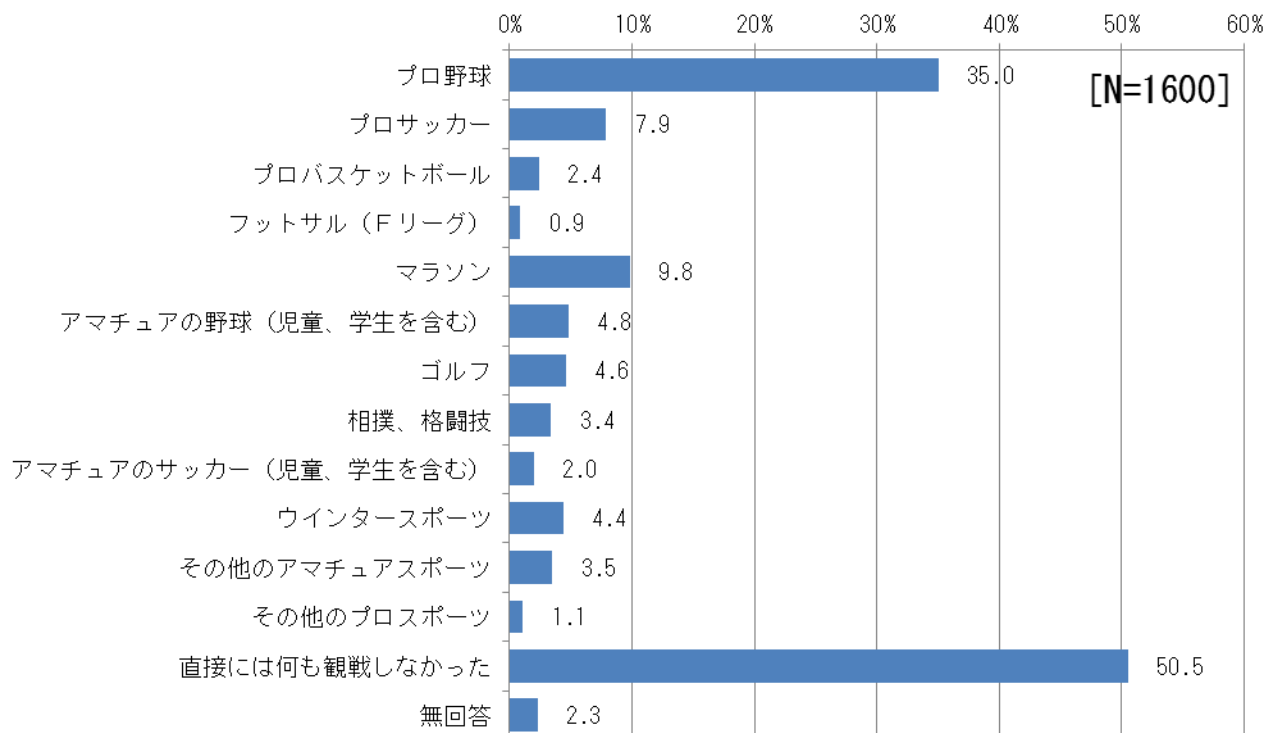
 対象者全体の値と比較し10%以上高い

 対象者全体の値と比較し10%以上低い

## スポーツの直接観戦

【問 20】 あなたは、この1年間に(テレビなどではなく)直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、直接には何も観戦しなかった方は、「13」だけに○をつけてください。

スポーツの直接観戦については、「直接には何も観戦しなかった」が50.5%、「プロ野球」が35.0%、「マラソン」が9.8%となっている。



### 【対象者全体】

スポーツの直接観戦については、「直接には何も観戦しなかった」が50.5%と最も高く、次いで「プロ野球」が35.0%、「マラソン」が9.8%、「プロサッカー」が7.9%となっている。

### 【性別】

男女ともに「直接には何も観戦しなかった」が最も高く、男性で45.5%、女性で53.8%となっている。

### 【年代別】

全年代で「直接には何も観戦しなかった」が最も高く、18～19歳で63.2%となっている。

### 【居住区別】

全居住区で「直接には何も観戦しなかった」が最も高く、東区で55.8%となっている。


		回答者数	プロ野球	プロサッカー	プロバスケットボール	フットサル（フリーグ）	マラソン	アマチュアの野球（児童、学生を含む）	ゴルフ
全体		1,600	35.0	7.9	2.4	0.9	9.8	4.8	4.6
性別	男性	633	39.5	8.8	2.4	0.5	10.9	8.5	7.7
	女性	944	32.1	7.3	2.5	1.3	8.8	2.4	2.6
	無回答	23	30.4	8.7	-	-	17.4	-	-
年代別	18～19歳	19	15.8	10.5	10.5	-	5.3	15.8	-
	20～29歳	110	30.0	12.7	2.7	1.8	5.5	4.5	0.9
	30～39歳	222	33.3	10.4	2.3	2.3	6.3	3.2	1.4
	40～49歳	285	34.0	7.0	3.5	1.4	4.9	4.6	2.5
	50～59歳	240	34.6	9.2	2.1	0.8	11.7	4.2	3.8
	60～64歳	169	34.9	7.1	3.0	0.6	8.3	2.4	5.9
	65～69歳	205	40.5	7.8	1.5	-	13.2	6.8	5.9
	70歳以上	341	36.1	4.7	1.8	0.3	14.7	6.2	9.4
	無回答	9	55.6	22.2	-	-	22.2	-	-
居住区別	中央区	183	39.9	7.7	2.2	0.5	9.8	5.5	3.8
	北区	247	31.2	7.3	2.8	0.8	11.7	5.3	2.8
	東区	215	30.2	3.3	1.9	-	8.4	5.6	0.5
	白石区	150	37.3	8.0	2.0	0.7	6.0	3.3	8.7
	厚別区	111	38.7	13.5	1.8	0.9	8.1	2.7	4.5
	豊平区	183	41.0	11.5	3.3	3.8	14.2	1.6	3.8
	清田区	93	37.6	4.3	2.2	-	1.1	4.3	8.6
	南区	125	33.6	7.2	2.4	-	16.8	5.6	6.4
	西区	168	31.5	8.3	3.0	1.2	6.5	7.7	6.0
	手稲区	112	31.3	8.9	1.8	0.9	9.8	5.4	6.3
	無回答	13	46.2	23.1	7.7	-	23.1	7.7	7.7


対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

		回答者数	相撲、格闘技	アマチュアのサッカー（児童、学生を含む）	ウィンタースポーツ	その他のアマチュアスポーツ	その他のプロスポーツ	直接には何も観戦しなかった	無回答	計
全体		1,600	3.4	2.0	4.4	3.5	1.1	50.5	2.3	132.6
性別	男性	633	4.7	2.8	4.9	3.5	1.9	45.5	1.6	143.2
	女性	944	2.6	1.5	3.9	3.6	0.6	53.8	2.6	125.6
	無回答	23	-	-	8.7	-	-	52.2	8.7	126.1
年代別	18～19歳	19	-	-	-	-	-	63.2	-	121.1
	20～29歳	110	3.6	1.8	2.7	2.7	1.8	53.6	0.9	125.2
	30～39歳	222	3.6	2.7	4.1	3.2	0.5	53.6	0.5	127.4
	40～49歳	285	2.5	3.5	2.8	6.0	1.1	49.8	0.4	124.0
	50～59歳	240	2.1	1.3	3.3	4.2	1.7	52.1	0.4	131.5
	60～64歳	169	2.4	1.8	3.0	3.0	3.6	50.3	2.4	128.7
	65～69歳	205	3.4	2.0	4.9	4.4	0.5	47.8	1.5	140.2
	70歳以上	341	5.9	1.2	7.6	1.5	0.3	48.1	7.6	145.4
	無回答	9	-	-	11.1	-	-	44.4	-	155.5
居住区別	中央区	183	3.3	1.1	4.9	4.4	1.6	46.4	2.7	133.8
	北区	247	5.3	2.4	4.9	3.2	1.6	51.0	3.2	133.5
	東区	215	2.3	1.4	2.3	4.7	0.9	55.8	3.7	121.0
	白石区	150	4.7	0.7	4.0	2.7	0.7	50.7	2.7	132.2
	厚別区	111	6.3	2.7	5.4	0.9	-	53.2	1.8	140.5
	豊平区	183	3.8	2.7	4.9	4.4	2.2	42.1	2.7	142.0
	清田区	93	4.3	1.1	1.1	3.2	2.2	53.8	-	123.8
	南区	125	0.8	-	3.2	2.4	1.6	47.2	1.6	128.8
	西区	168	1.2	4.2	6.0	3.6	-	54.2	1.2	134.6
	手稲区	112	1.8	2.7	5.4	4.5	-	51.8	0.9	131.5
	無回答	13	7.7	7.7	15.4	-	-	53.8	-	200.1

 対象者全体の値と比較し10%以上高い

 対象者全体の値と比較し10%以上低い



## 行ったスポーツ(運動)

【問 21】 あなたは、この 1 年間にスポーツ(運動)を行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

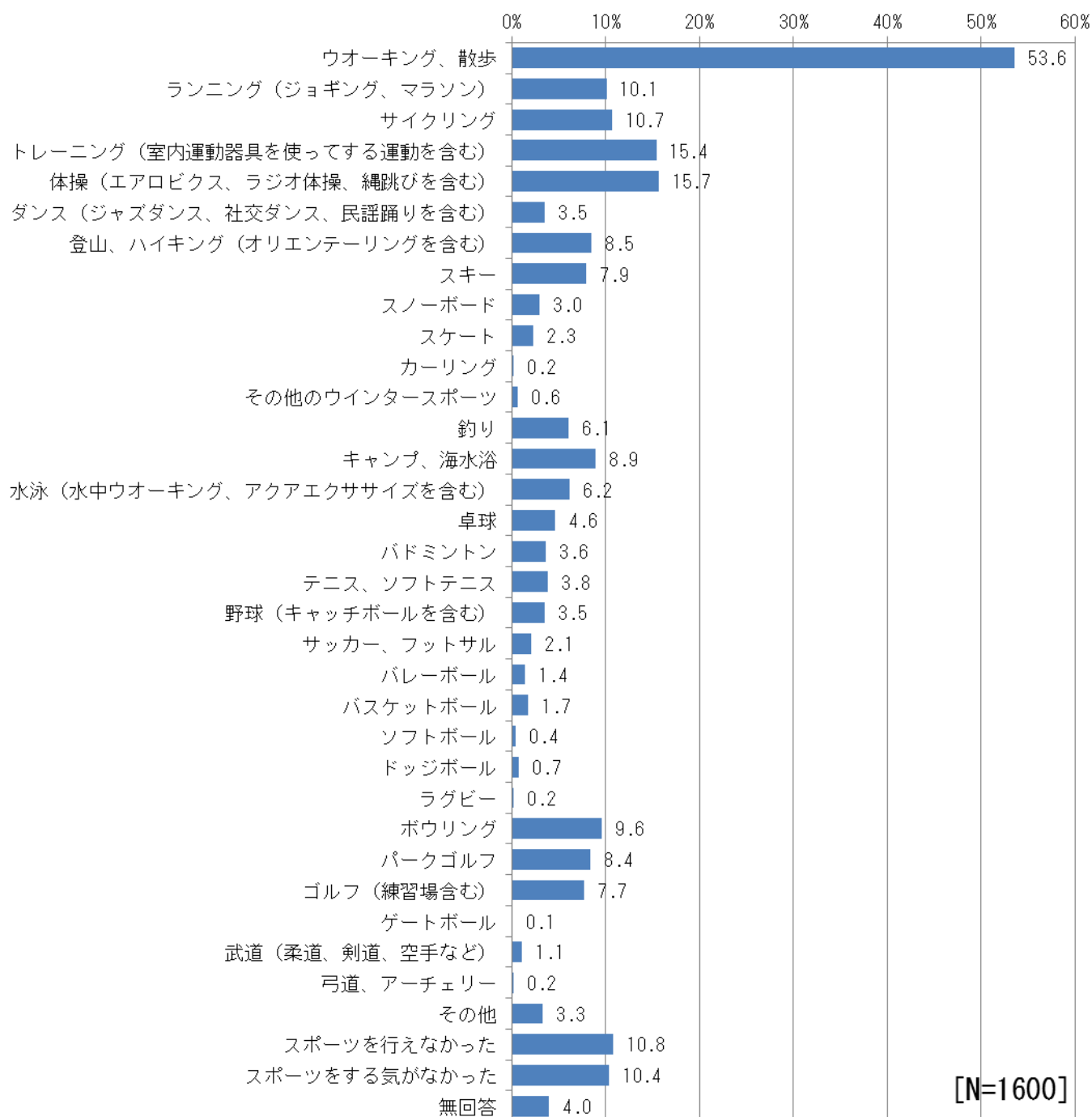
なお、スポーツ(運動)には、健康のための散歩やジョギングなど、軽い運動も含まれます。また、職業として行ったものや、学校の体育の授業は除きます(部活動は含まれます)。スポーツを行わなかった場合は、「33」または「34」のいずれかに○をつけてください。

※障がいに応じた用具やルールの変更などがある競技はもとの競技に含まれます

例:車いすマラソン → 2. ランニング(ジョギング、マラソン)

ブラインドサッカー → 20. サッカー、フットサル

行ったスポーツ(運動)については、「ウォーキング、散歩」が 53.6%、「体操(エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む)」が 15.7%、「トレーニング(室内運動器具を使ってする運動を含む)」が 15.4%となっている。



**【対象者全体】**

行ったスポーツ(運動)については、「ウォーキング、散歩」が 53.6%と最も高く、次いで「体操(エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む)」が 15.7%、「トレーニング(室内運動器具を使ってする運動を含む)」が 15.4%、「サイクリング」が 10.7%、「スポーツを行えなかった」と「スポーツをする気がなかった」は、合わせて 21.2%である。

**【性別】**

男女ともに「ウォーキング、散歩」が最も高く、男性で 52.8%、女性で 54.2%となっている。

**【年代別】**

全年代で「ウォーキング、散歩」が最も高く、65～69 歳では 63.4%、60～64 歳では 60.9%となっている。

**【居住区別】**

全居住区で「ウォーキング、散歩」が最も高く、特に中央区は 63.4%と他の居住区と比較し高い。

		回答者数	ウォーキング、散歩	ランニング（ジョギング、マラソン）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具を使ってする運動を含む）	体操（エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む）	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー
全体		1,600	53.6	10.1	10.7	15.4	15.7	3.5	8.5	7.9
性別	男性	633	52.8	15.8	13.3	18.6	10.3	2.4	9.6	10.6
	女性	944	54.2	6.4	9.1	13.0	19.5	4.2	7.6	6.0
	無回答	23	47.8	4.3	4.3	21.7	8.7	4.3	13.0	8.7
年代別	18～19歳	19	52.6	36.8	26.3	31.6	5.3	21.1	-	5.3
	20～29歳	110	49.1	28.2	16.4	30.0	12.7	6.4	8.2	7.3
	30～39歳	222	48.6	18.5	11.7	14.9	10.8	1.8	13.1	11.7
	40～49歳	285	44.2	10.5	13.0	14.0	12.3	3.2	10.5	15.1
	50～59歳	240	54.6	9.2	12.1	18.8	16.3	2.5	6.3	8.8
	60～64歳	169	60.9	4.7	7.7	14.8	17.2	2.4	8.9	5.3
	65～69歳	205	63.4	3.9	9.8	11.7	19.0	2.9	6.8	2.4
	70歳以上	341	56.3	4.1	6.5	11.4	20.2	4.4	6.5	3.5
	無回答	9	33.3	-	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1
居住区別	中央区	183	63.4	14.2	11.5	20.8	16.4	3.8	13.1	14.8
	北区	247	53.0	10.5	10.5	17.4	12.6	4.5	7.7	4.9
	東区	215	52.6	8.8	14.9	10.2	13.5	3.3	5.6	4.2
	白石区	150	50.0	10.0	11.3	16.0	12.7	2.0	11.3	9.3
	厚別区	111	45.9	7.2	8.1	13.5	14.4	2.7	8.1	5.4
	豊平区	183	57.4	11.5	15.3	13.7	20.8	4.4	5.5	7.1
	清田区	93	46.2	6.5	7.5	12.9	17.2	4.3	2.2	6.5
	南区	125	55.2	10.4	6.4	17.6	14.4	2.4	9.6	6.4
	西区	168	56.0	7.1	6.5	17.9	22.6	3.0	13.1	12.5
	手稲区	112	47.3	12.5	8.9	11.6	12.5	2.7	6.3	8.0
無回答	13	53.8	7.7	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7	

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い

■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

		回答者数	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳（水中ウォーキング、アクアエクササイズを含む）	卓球	バドミントン
全体		1,600	3.0	2.3	0.2	0.6	6.1	8.9	6.2	4.6	3.6
性別	男性	633	3.6	2.2	0.3	1.4	10.0	8.5	6.0	5.2	3.0
	女性	944	2.5	2.1	0.1	0.1	3.5	9.2	6.4	4.2	4.1
	無回答	23	4.3	8.7	-	-	8.7	4.3	4.3	4.3	-
年代別	18～19歳	19	5.3	5.3	-	-	-	5.3	10.5	26.3	36.8
	20～29歳	110	16.4	6.4	0.9	0.9	7.3	16.4	8.2	10.0	14.5
	30～39歳	222	5.4	4.1	-	0.5	8.1	16.2	9.9	5.0	7.2
	40～49歳	285	4.9	5.3	-	0.7	8.1	19.3	5.6	5.6	3.2
	50～59歳	240	0.8	0.8	0.4	0.4	4.2	4.6	5.8	3.8	2.1
	60～64歳	169	-	-	-	0.6	5.9	5.3	5.3	1.2	0.6
	65～69歳	205	-	-	0.5	0.5	3.9	3.9	5.4	2.4	0.5
	70歳以上	341	0.3	-	-	0.9	6.2	1.2	4.4	4.4	0.9
	無回答	9	-	22.2	-	-	-	11.1	-	-	-
居住区別	中央区	183	2.7	3.3	-	0.5	4.9	12.0	6.6	7.1	4.9
	北区	247	3.6	2.4	-	0.8	5.7	6.1	4.0	3.6	4.0
	東区	215	2.8	0.9	0.5	0.9	8.4	9.8	5.1	4.2	3.3
	白石区	150	3.3	2.0	-	-	6.0	10.0	6.0	4.7	3.3
	厚別区	111	1.8	-	-	0.9	4.5	7.2	4.5	2.7	3.6
	豊平区	183	4.9	2.7	1.1	-	5.5	8.7	5.5	4.4	4.9
	清田区	93	3.2	3.2	-	-	4.3	8.6	8.6	4.3	3.2
	南区	125	1.6	2.4	-	1.6	4.8	8.0	5.6	3.2	2.4
	西区	168	2.4	0.6	-	0.6	5.4	7.7	9.5	7.1	3.6
	手稲区	112	2.7	4.5	-	0.9	12.5	11.6	8.0	4.5	0.9
		無回答	13	-	15.4	-	-	-	7.7	15.4	-

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

		テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング
全体		3.8	3.5	2.1	1.4	1.7	0.4	0.7	0.2	9.6
性別	男性	3.9	6.5	4.1	1.3	2.2	0.5	0.8	0.5	12.0
	女性	3.8	1.6	0.7	1.6	1.4	0.4	0.6	-	7.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	13.0
年代別	18～19歳	21.1	21.1	15.8	31.6	26.3	5.3	5.3	-	15.8
	20～29歳	8.2	11.8	10.9	3.6	8.2	0.9	0.9	-	24.5
	30～39歳	3.6	5.4	6.3	1.8	2.7	-	1.8	0.5	14.4
	40～49歳	2.1	3.5	1.1	2.1	2.1	1.1	1.4	0.4	11.6
	50～59歳	5.4	2.1	-	0.4	0.4	-	0.4	-	6.7
	60～64歳	2.4	1.8	-	-	-	-	-	-	5.9
	65～69歳	5.4	1.5	-	0.5	-	0.5	-	-	5.4
	70歳以上	1.8	1.8	0.3	0.3	-	0.3	-	0.3	5.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1
居住区別	中央区	6.0	4.9	2.2	0.5	2.2	0.5	0.5	0.5	10.4
	北区	4.0	3.2	2.4	0.4	1.2	-	0.4	-	7.7
	東区	3.3	4.7	1.9	1.9	2.8	-	0.5	-	7.9
	白石区	3.3	4.0	2.7	1.3	0.7	-	0.7	-	9.3
	厚別区	2.7	2.7	0.9	2.7	-	-	-	-	8.1
	豊平区	3.8	3.8	3.3	1.6	2.2	-	1.1	0.5	11.5
	清田区	3.2	3.2	-	3.2	2.2	-	1.1	-	6.5
	南区	4.0	2.4	1.6	1.6	3.2	0.8	1.6	-	5.6
	西区	3.0	1.8	2.4	1.2	1.8	2.4	-	-	15.5
	手稲区	3.6	3.6	1.8	1.8	-	0.9	1.8	0.9	11.6
	無回答	7.7	-	-	-	-	-	-	-	15.4

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い

■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

		パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	スポーツを行えなかった	スポーツをする気がなかった	無回答	計
全体		8.4	7.7	0.1	1.1	0.2	3.3	10.8	10.4	4.0	230.3
性別	男性	12.3	15.3	-	2.2	-	2.2	9.6	8.8	3.8	259.6
	女性	5.8	2.6	0.1	0.4	0.3	3.9	11.8	11.7	4.0	210.7
	無回答	4.3	4.3	-	-	-	8.7	4.3	4.3	8.7	195.0
年代別	18～19歳	-	5.3	-	-	5.3	-	10.5	5.3	-	437.2
	20～29歳	5.5	6.4	-	3.6	-	6.4	7.3	7.3	1.8	346.6
	30～39歳	2.7	3.2	-	0.9	0.5	5.0	11.3	8.6	0.9	257.1
	40～49歳	2.5	4.9	-	1.1	-	2.8	13.3	13.7	1.1	240.3
	50～59歳	3.3	12.1	-	1.3	-	4.6	13.3	8.8	3.3	213.6
	60～64歳	4.7	8.3	0.6	1.2	-	1.8	11.2	13.0	4.1	195.8
	65～69歳	12.7	8.8	-	0.5	-	2.4	8.8	9.8	4.4	197.7
	70歳以上	21.1	9.7	-	0.9	0.3	2.1	9.1	10.6	9.4	205.1
	無回答	11.1	-	-	-	-	11.1	-	11.1	11.1	199.8
居住区別	中央区	5.5	8.2	-	1.6	0.5	3.8	7.1	9.8	2.7	266.9
	北区	7.3	5.3	-	0.8	-	4.0	9.3	13.0	4.5	214.8
	東区	7.9	4.7	-	1.4	-	3.3	12.6	9.3	3.7	214.9
	白石区	9.3	10.0	-	0.7	0.7	5.3	10.0	9.3	4.7	229.9
	厚別区	7.2	6.3	-	0.9	-	2.7	14.4	13.5	4.5	197.1
	豊平区	8.7	4.9	-	1.6	0.5	3.8	14.2	8.2	4.4	247.5
	清田区	9.7	9.7	-	-	-	2.2	10.8	15.1	3.2	208.8
	南区	8.0	9.6	0.8	0.8	-	1.6	10.4	11.2	4.8	220.0
	西区	11.9	10.1	-	0.6	-	3.0	8.9	8.3	3.0	249.5
	手稲区	9.8	14.3	-	1.8	-	0.9	13.4	8.9	4.5	235.0
		無回答	7.7	-	-	7.7	-	7.7	-	7.7	7.7

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

## スポーツを行った日数

<この設問は、問 21 で「1」から「32」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。>

【問 22】 あなたが、問 21 で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1 年間で何日くらいになりますか。  
あてはまるもの一つに○をつけてください。

スポーツを行った日数については、「年 51～150 日（週 1～2 回程度）」が 28.3%、「年 12～50 日（月 1～3 回程度）」が 27.9%となっている。



### 【対象者全体】

スポーツを行った日数については、「年 51～150 日（週 1～2 回程度）」が 28.3%と最も高く、次いで「年 12～50 日（月 1～3 回程度）」が 27.9%、「年 151 日以上（週 3 回以上）」が 21.3%となっている。

### 【性別】

男性は「年 12～50 日（月 1～3 回程度）」が 31.1%と最も高く、女性は「年 51～150 日（週 1～2 回程度）」が 28.0%と最も高い。

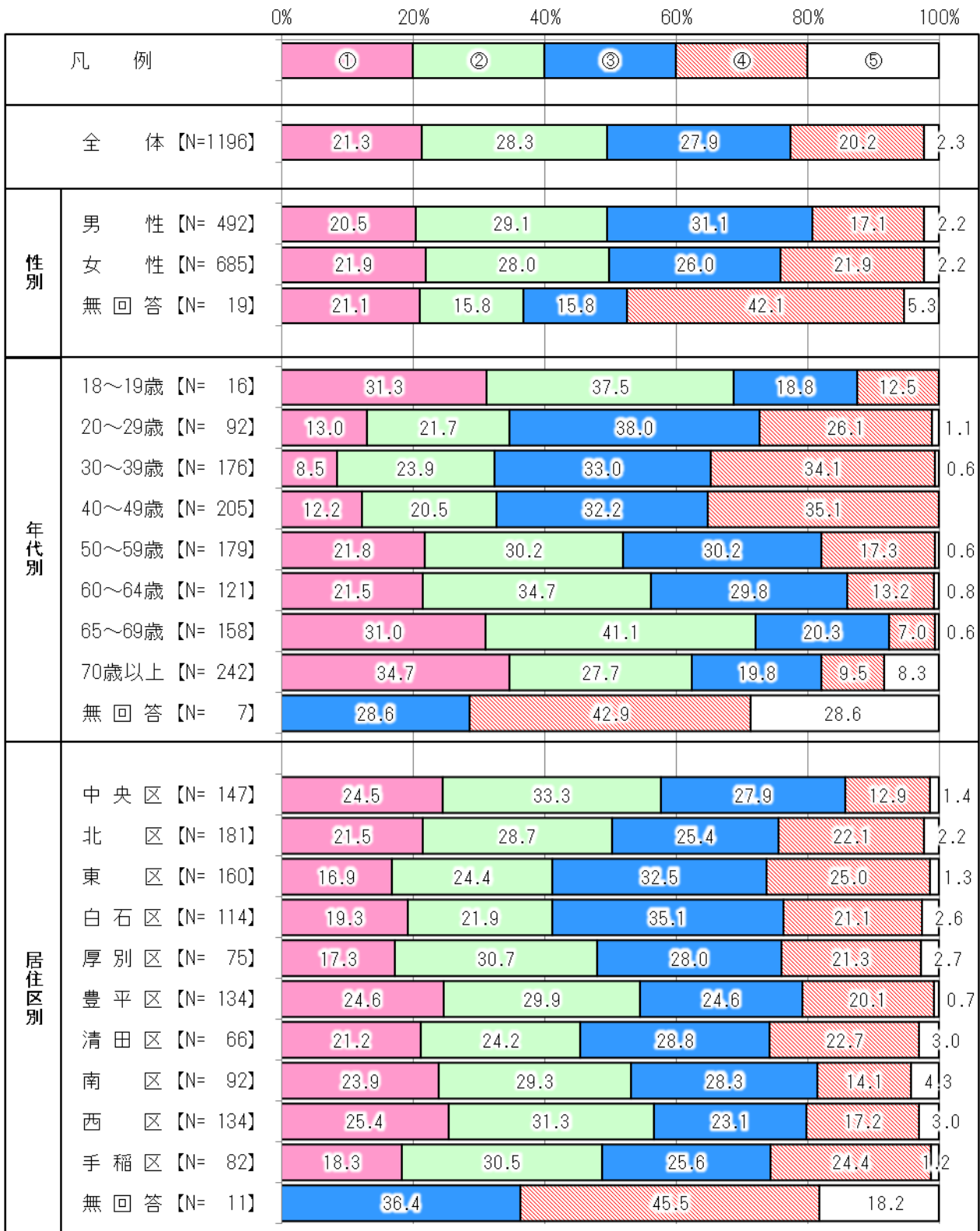
### 【年代別】

「年 151 日以上（週 3 回以上）」は 70 歳以上で 34.7%と最も高くなっている。30 歳代、40 歳代は「年 12 日未満（月 1 回未満）」が最も高く、それぞれ 34.1%、35.1%となっている。

### 【居住区別】

東区、白石区、清田区では「年 12～50 日（月 1～3 回程度）」が最も高く、それ以外の居住区では「年 51～150 日（週 1～2 回程度）」が最も高くなっている。

①年151日以上（週3回以上）      ②年51～150日（週1～2回程度）      ③年12～50日（月1～3回程度）  
 ④年12日未満（月1回未満）      ⑤無回答



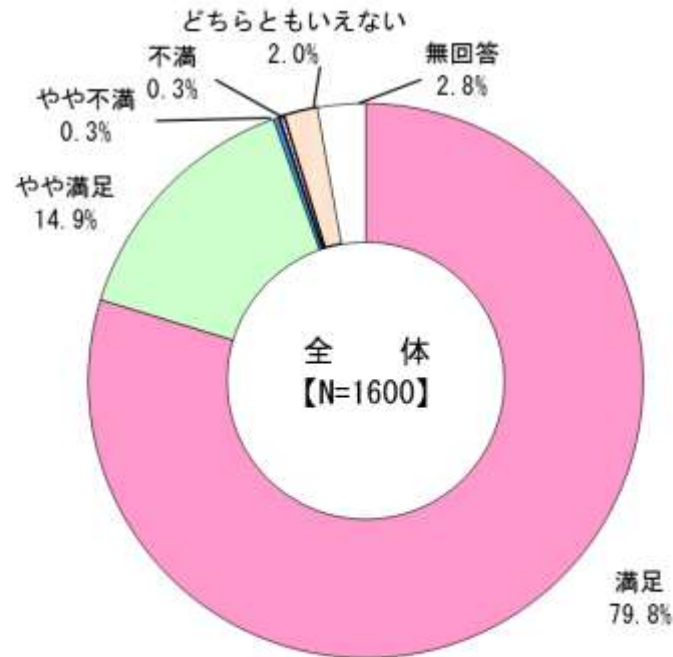


## 札幌の水道

【問 23】 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。また、「3. やや不満」「4. 不満」に○を付けた方は、具体的な理由をお書きください。

- (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること  
(事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く)

水道水の安定供給については、「満足」(79.8%)と「やや満足」(14.9%)を合わせた割合が、9割(94.7%)を超えている。



### 【対象者全体】

水道水の安定供給については、「満足」が 79.8%と最も高く、次いで「やや満足」が 14.9%である。「満足」と「やや満足」を合わせた割合は 94.7%となっている。

### 【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性で 79.9%、女性で 80.2%となっている。

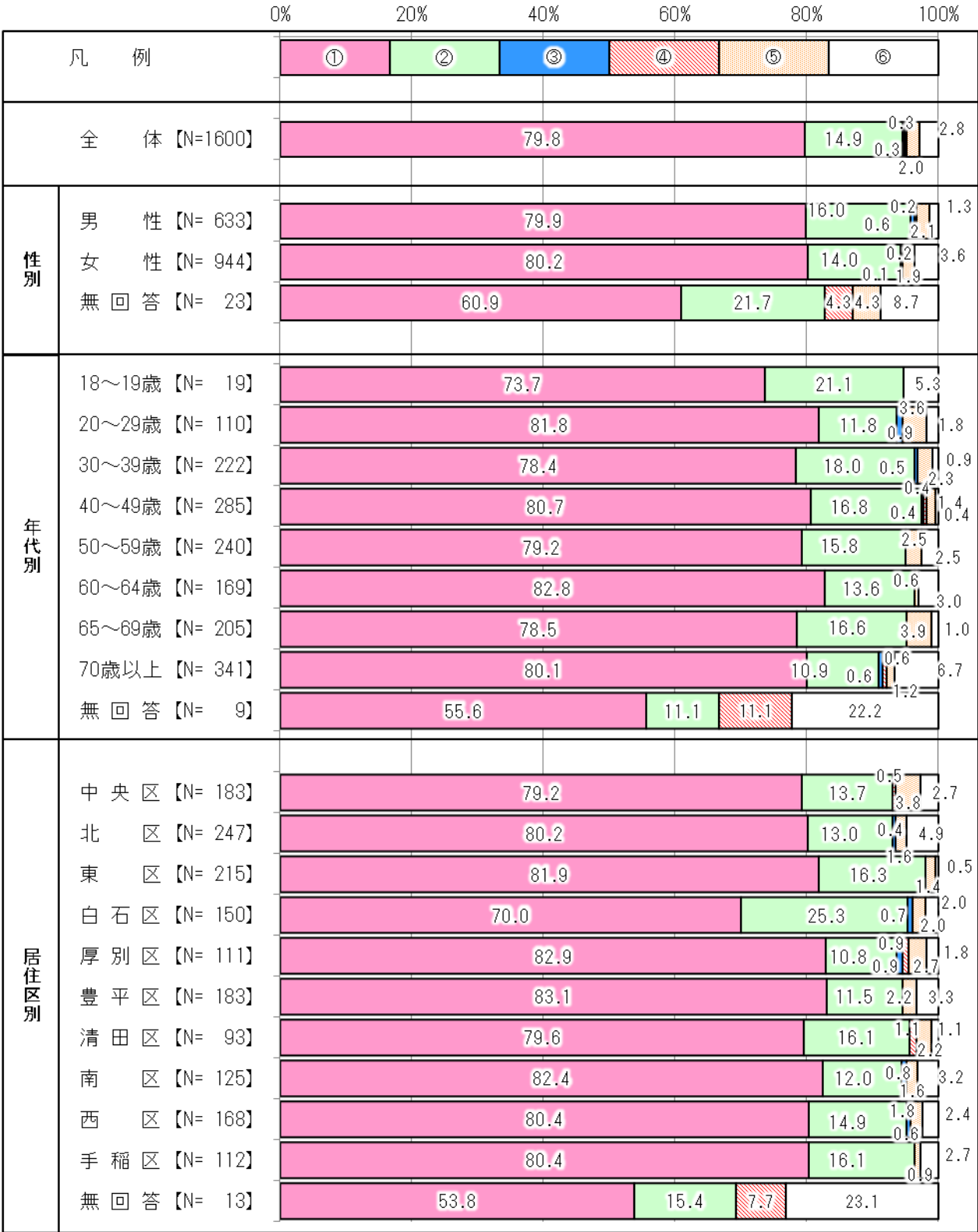
### 【年代別】

全年代で「満足」が最も高く、60～64 歳が 82.8%、20 歳代が 81.8%となっている。

### 【居住区別】

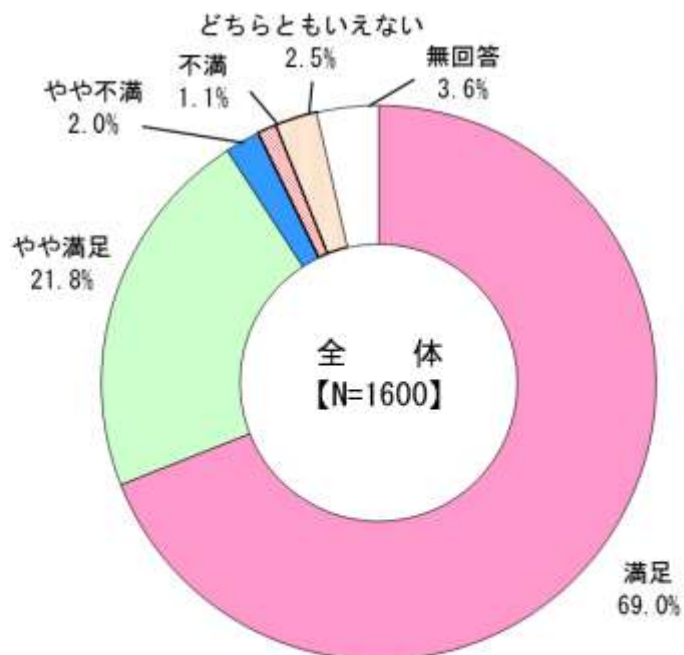
全居住区で「満足」が最も高く、豊平区は 83.1%、厚別区は 82.9%となっている。白石区は「満足」が 70.0%と他の居住区と比較し低い。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



## (2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水の供給については、「満足」(69.0%)と「やや満足」(21.8%)を合わせた割合が 9 割(90.8%)を超えている。



### 【対象者全体】

安全で良質な水道水の供給については、「満足」が 69.0%と最も高く、次いで「やや満足」が 21.8%となっている。「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、90.8%である。

### 【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性で 71.1%、女性で 67.9%となっている。

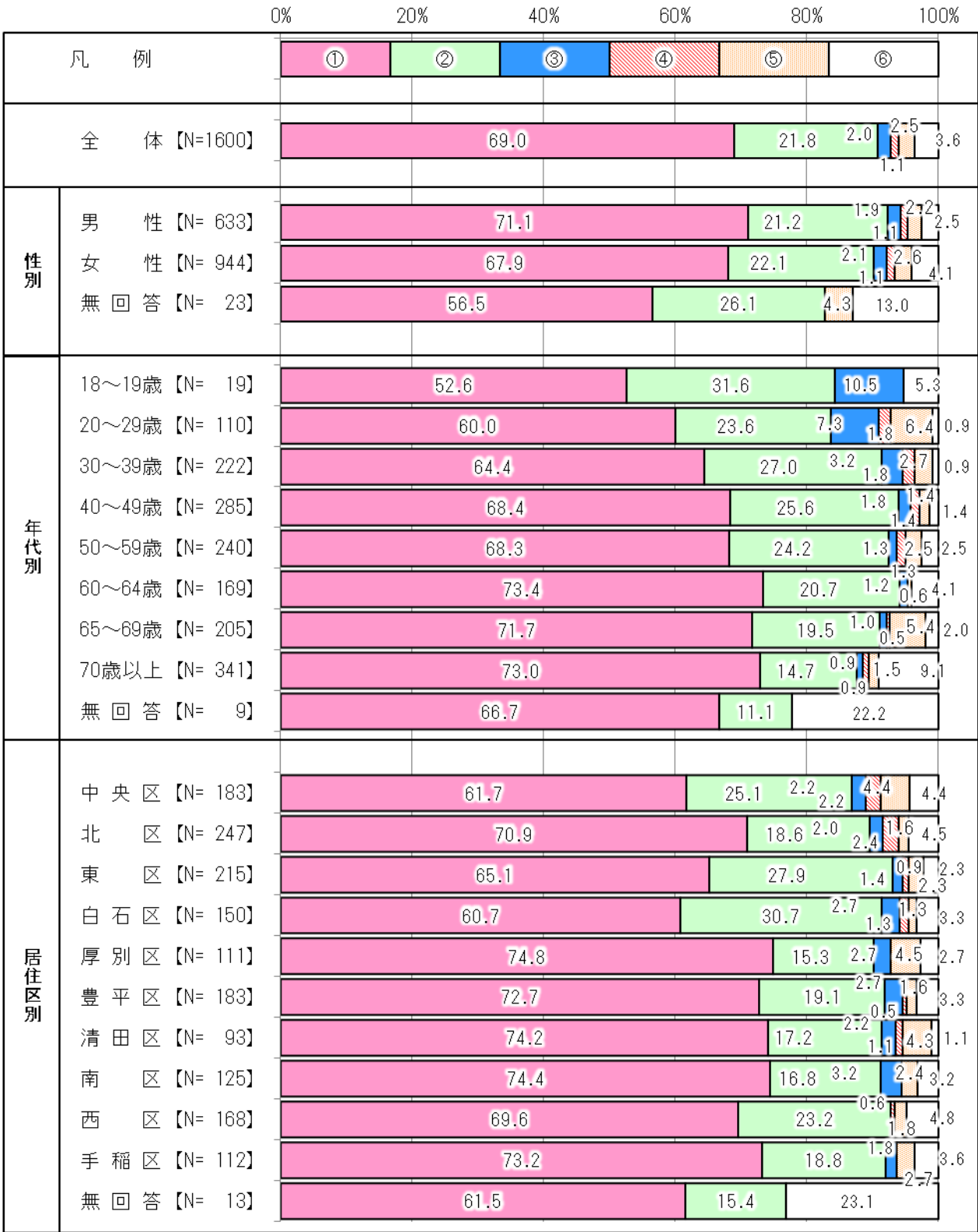
### 【年代別】

全年代で「満足」が最も高く、60～64 歳で 73.4%、70 歳以上では 73.0%となっている。

### 【居住区別】

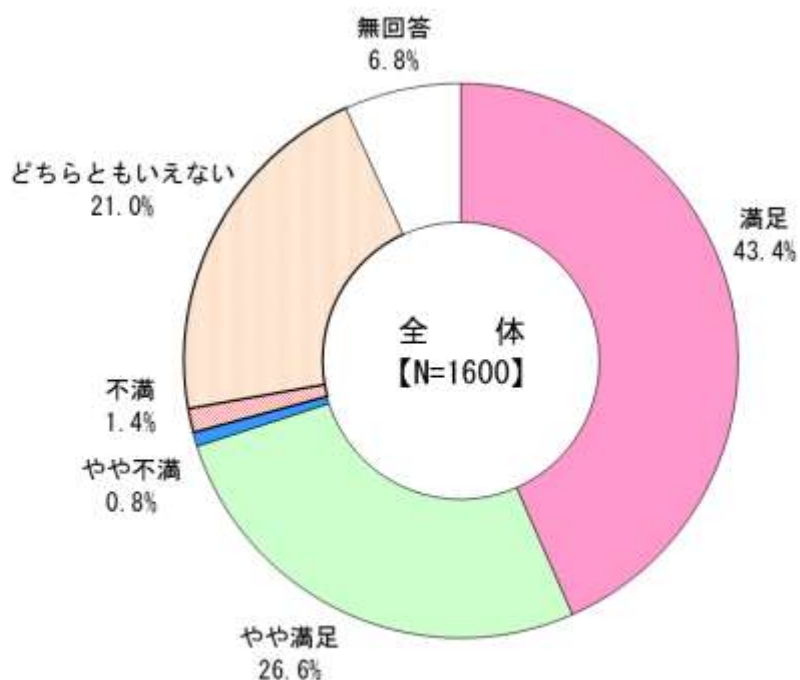
全居住区で「満足」が最も高く、厚別区が 74.8%、南区が 74.4%、清田区が 74.2%となっている。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



### (3) お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)

お客さまサービスについては、「満足」が 43.4%、「やや満足」が 26.6%、「どちらともいえない」が 21.0%となっている。



#### 【対象者全体】

お客さまサービスについては、「満足」が 43.4%と最も高く、次いで「やや満足」が 26.6%となっている。「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、70.0%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性で 40.9%、女性で 45.3%となっている。

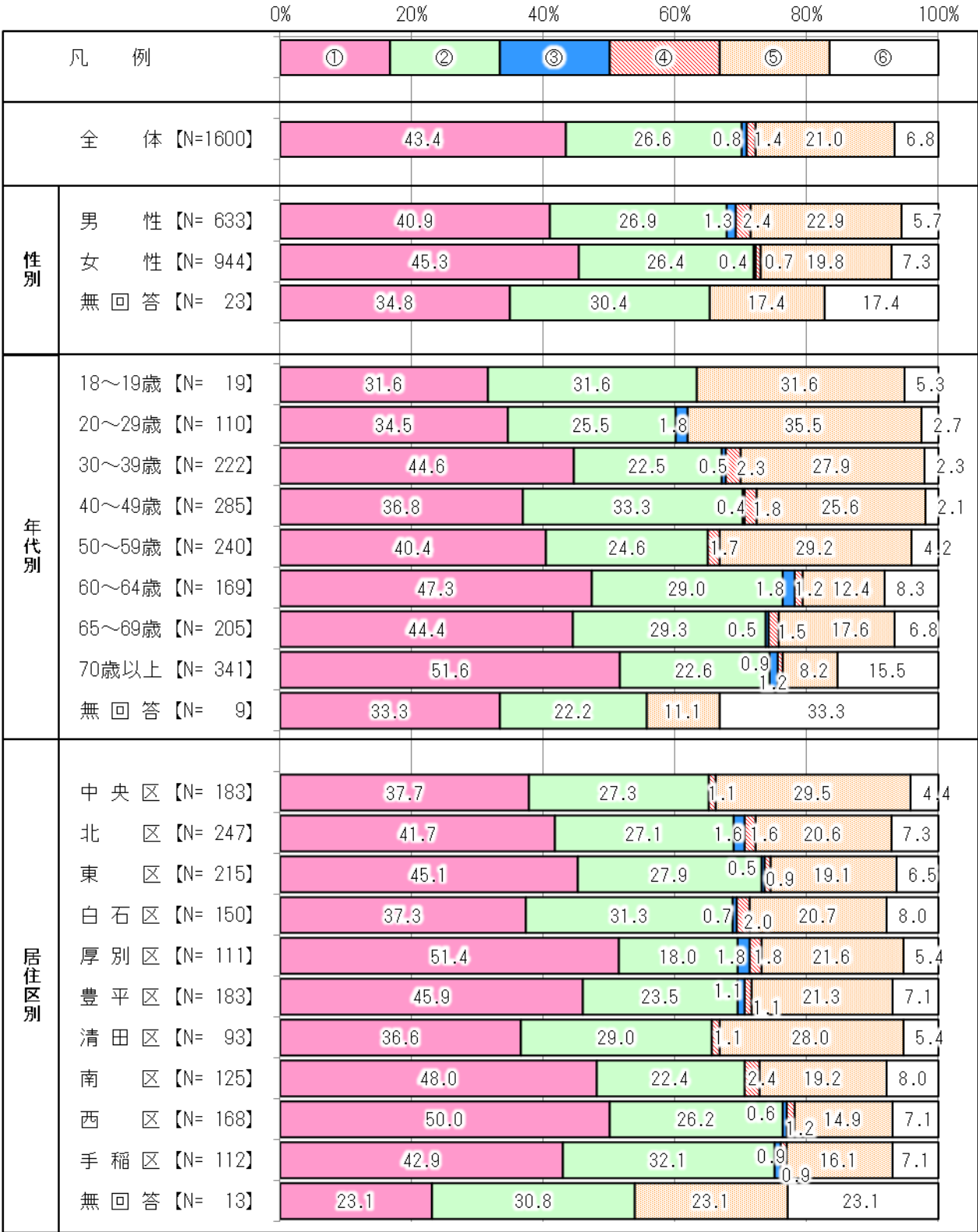
#### 【年代別】

18～19 歳、20 歳代を除く全年代で「満足」が最も高くなっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「満足」が最も高く、特に厚別区では 51.4%、西区では 50.0%と 5 割を超えている。

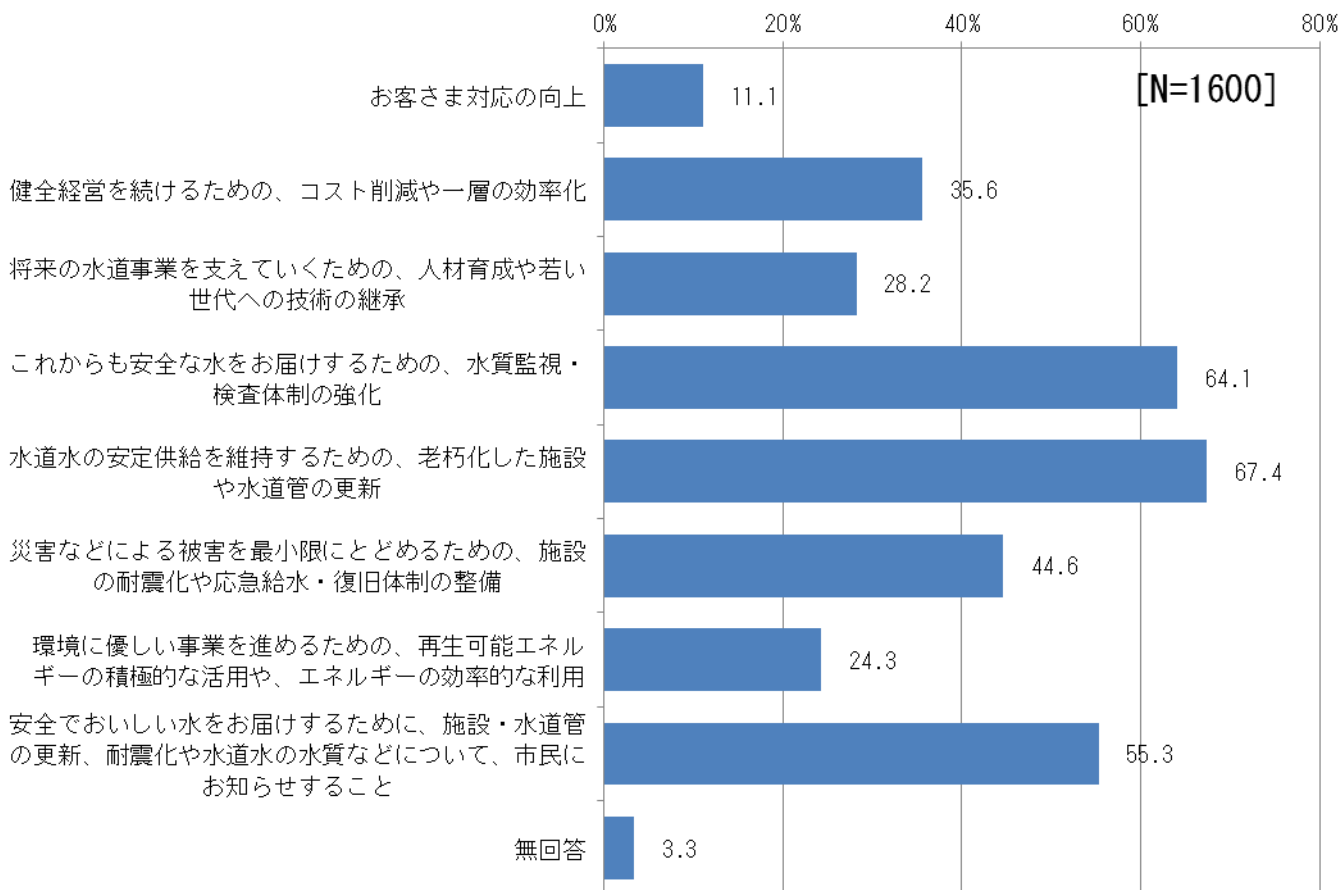
①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



## 水道に関する取り組み

【問 24】 あなたは札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

水道水に関する取り組みについては、「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が 67.4%、「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が 64.1%となっている。



### 【対象者全体】

水道に関する取り組みについては、「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が 67.4%と最も高く、次いで「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が 64.1%、「安全でおいしい水をお届けするために、施設・水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて、市民にお知らせすること」が 55.3%となっている。

### 【性別】

男女ともに「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高く、男性で 66.7%、女性で 68.2%となっている。

### 【年代別】

18～19 歳、20 歳代を除いた全年代で「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高く、18～19 歳、20 歳代では「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

北区、白石区、南区、手稲区では「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が最も高く、その他の居住区では「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高い。

(単位：%)

	回答者数	お客さま対応の向上	健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化	の継承 の、人材育成や若い世代への技術	の、水道事業を支えていくための、水道事業を維持するための、水道管の更新、耐震化や	の、水道管の更新、耐震化や	の、水道管の更新、耐震化や	の、水道管の更新、耐震化や	の、水道管の更新、耐震化や	の、水道管の更新、耐震化や	無回答	計
全体	1,600	11.1	35.6	28.2	64.1	67.4	44.6	24.3	55.3	3.3	333.9	
性別	男性	633	12.8	41.1	27.8	58.9	66.7	38.5	21.0	52.4	2.7	321.9
	女性	944	10.0	32.4	28.4	67.7	68.2	48.7	26.6	57.4	3.5	342.9
	無回答	23	13.0	17.4	30.4	60.9	52.2	39.1	17.4	47.8	13.0	291.2
年代別	18～19歳	19	5.3	15.8	21.1	63.2	26.3	36.8	5.3	42.1	-	215.9
	20～29歳	110	7.3	27.3	25.5	60.9	55.5	37.3	20.0	40.0	2.7	276.5
	30～39歳	222	9.5	29.7	18.9	61.3	68.0	47.3	24.3	50.5	0.5	310.0
	40～49歳	285	9.1	31.2	21.8	63.2	66.0	47.7	18.6	48.8	2.1	308.5
	50～59歳	240	14.2	37.5	29.2	66.3	74.6	50.8	28.3	55.8	3.3	360.0
	60～64歳	169	8.9	41.4	30.8	64.5	72.2	42.6	24.9	65.1	3.0	353.4
	65～69歳	205	13.2	39.5	34.6	65.4	67.8	42.9	28.8	57.1	2.0	351.3
	70歳以上	341	13.2	41.3	35.2	65.7	67.2	40.5	25.8	63.3	7.0	359.2
	無回答	9	11.1	-	22.2	55.6	44.4	44.4	11.1	55.6	22.2	266.6
居住区別	中央区	183	9.3	32.2	27.3	65.6	66.7	47.5	21.9	55.2	1.1	326.8
	北区	247	11.7	42.1	29.6	66.8	64.8	39.7	26.3	54.7	5.7	341.4
	東区	215	12.1	38.1	30.7	69.8	75.3	46.5	25.6	58.6	2.3	359.0
	白石区	150	12.7	32.0	25.3	65.3	64.0	40.7	21.3	54.0	2.7	318.0
	厚別区	111	12.6	33.3	29.7	59.5	73.9	44.1	21.6	52.3	2.7	329.7
	豊平区	183	12.0	38.8	27.9	59.6	71.0	47.0	27.3	53.0	3.3	339.9
	清田区	93	10.8	35.5	29.0	58.1	67.7	40.9	30.1	58.1	1.1	331.3
	南区	125	7.2	31.2	25.6	64.8	60.8	47.2	21.6	56.8	5.6	320.8
	西区	168	7.7	32.7	29.8	56.0	64.3	45.8	23.8	54.2	3.0	317.3
	手稲区	112	15.2	35.7	25.0	72.3	65.2	45.5	23.2	58.0	3.6	343.7
	無回答	13	15.4	15.4	23.1	61.5	46.2	53.8	7.7	46.2	15.4	284.7

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

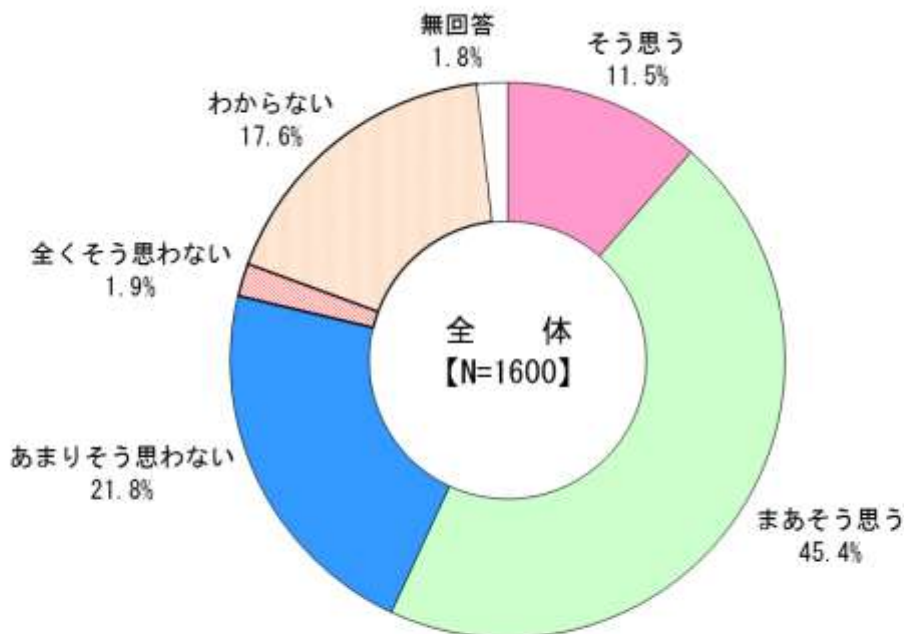


## (2) 「産業・活力」について

### 自然・社会・文化体験をしやすい環境

【問 25】 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもが自然・社会・文化体験をしやすい環境であるかについては、「まあそう思う」が 45.4%、「あまりそう思わない」が 21.8%となっている。



#### 【対象者全体】

子どもが自然・社会・文化体験をしやすい環境であるかについては、「まあそう思う」が 45.4%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 21.8%、「わからない」が 17.6%、「そう思う」が 11.5%、「全くそう思わない」が 1.9%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性で 45.3%、女性で 45.8%となっている。「そう思う」は男性が 14.1%と女性の 9.5%と比較し高い。

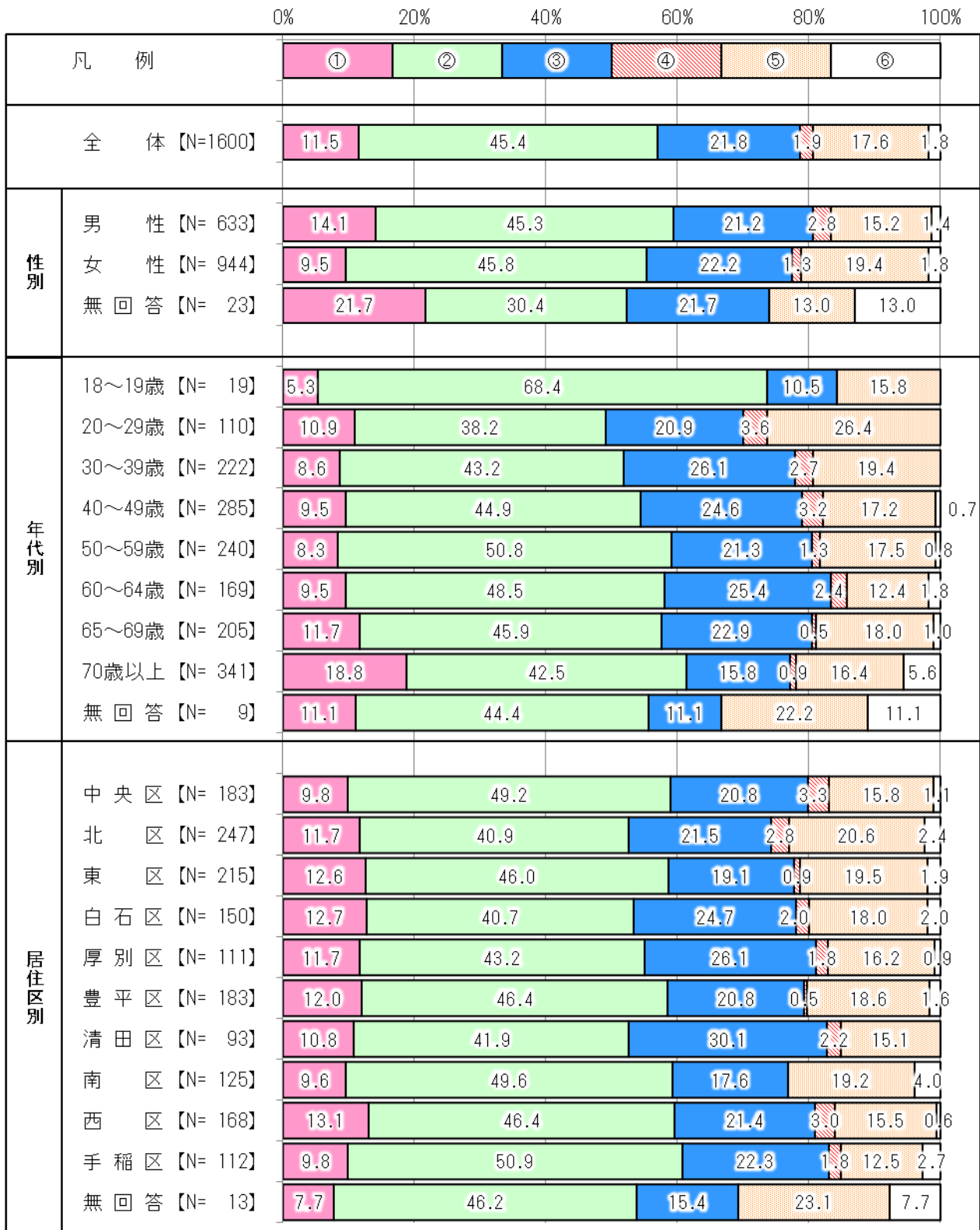
#### 【年代別】

全年代で「まあそう思う」が最も高く、18～19 歳では 68.4%、50 歳代では 50.8%となっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高くなっている。清田区は「あまりそう思わない」が 30.1%と他の居住区と比較し高い。

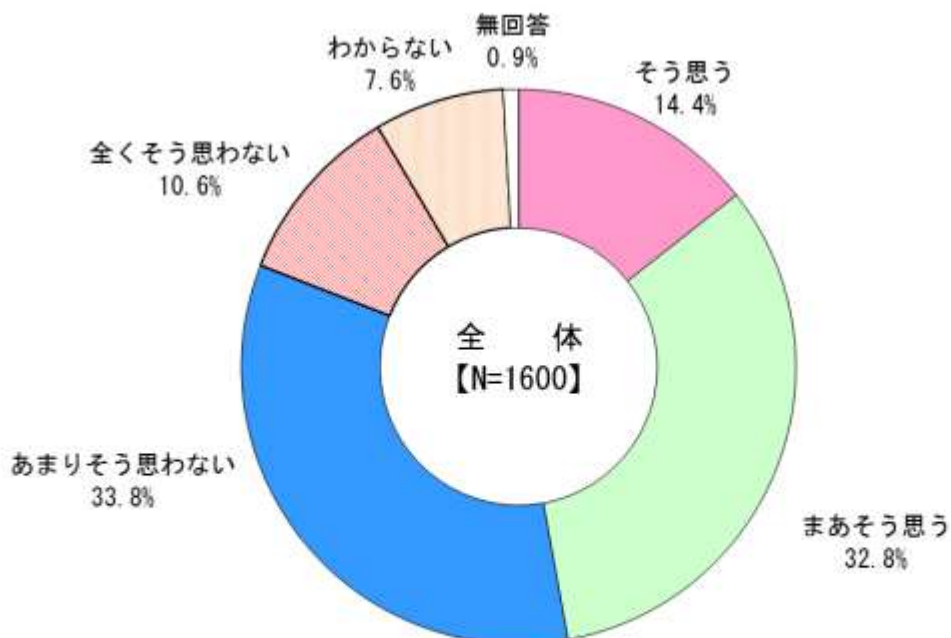
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 「さっぽろ雪まつり」の貢献度

【問 26】 あなたは、「さっぽろ雪まつり」が札幌市民の豊かで健康な暮らしにつながっていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

「さっぽろ雪まつり」の貢献度については、「あまりそう思わない」が 33.8%、「まあそう思う」が 32.8%となっている。



### 【対象者全体】

「さっぽろ雪まつり」の貢献度については、「あまりそう思わない」が 33.8%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 32.8%、「そう思う」が 14.4%、「全くそう思わない」が 10.6%、「わからない」が 7.6%となっている。

### 【性別】

男性は「あまりそう思わない」が 34.9%で最も高く、女性は「まあそう思う」が 35.2%で最も高い。

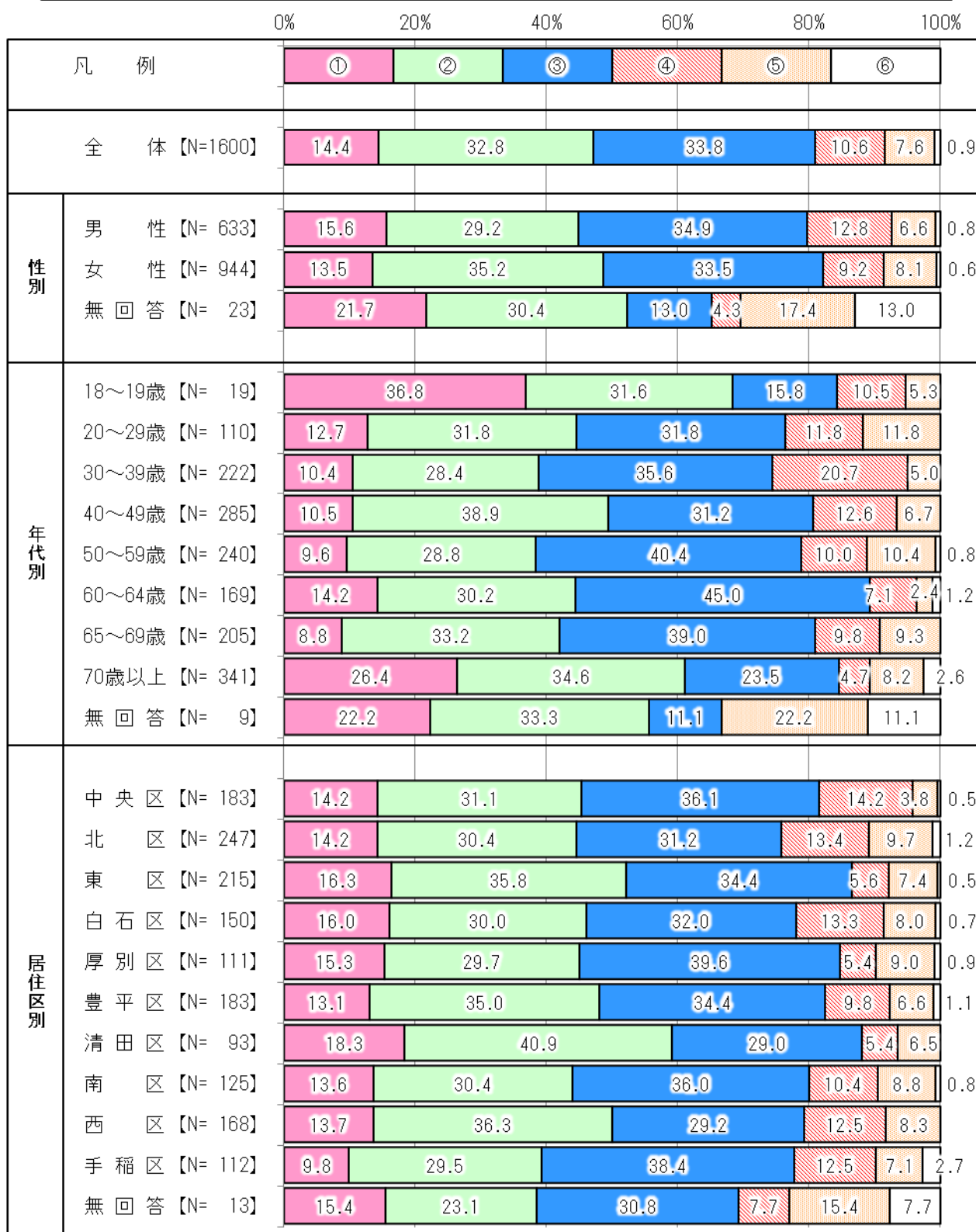
### 【年代別】

「あまりそう思わない」は 30 歳代、50 歳代、60 歳代で最も高くなっている。18～19 歳は「そう思う」が 36.8%と最も高く、他の年代と比較し高い。20 歳代は「まあそう思う」「あまりそう思わない」(31.8%)が同値で最も高い。

### 【居住区別】

東区、豊平区、清田区、西区では「まあそう思う」が最も高く、清田区は 40.9%となっている。その他の居住区では「あまりそう思わない」が最も高い。

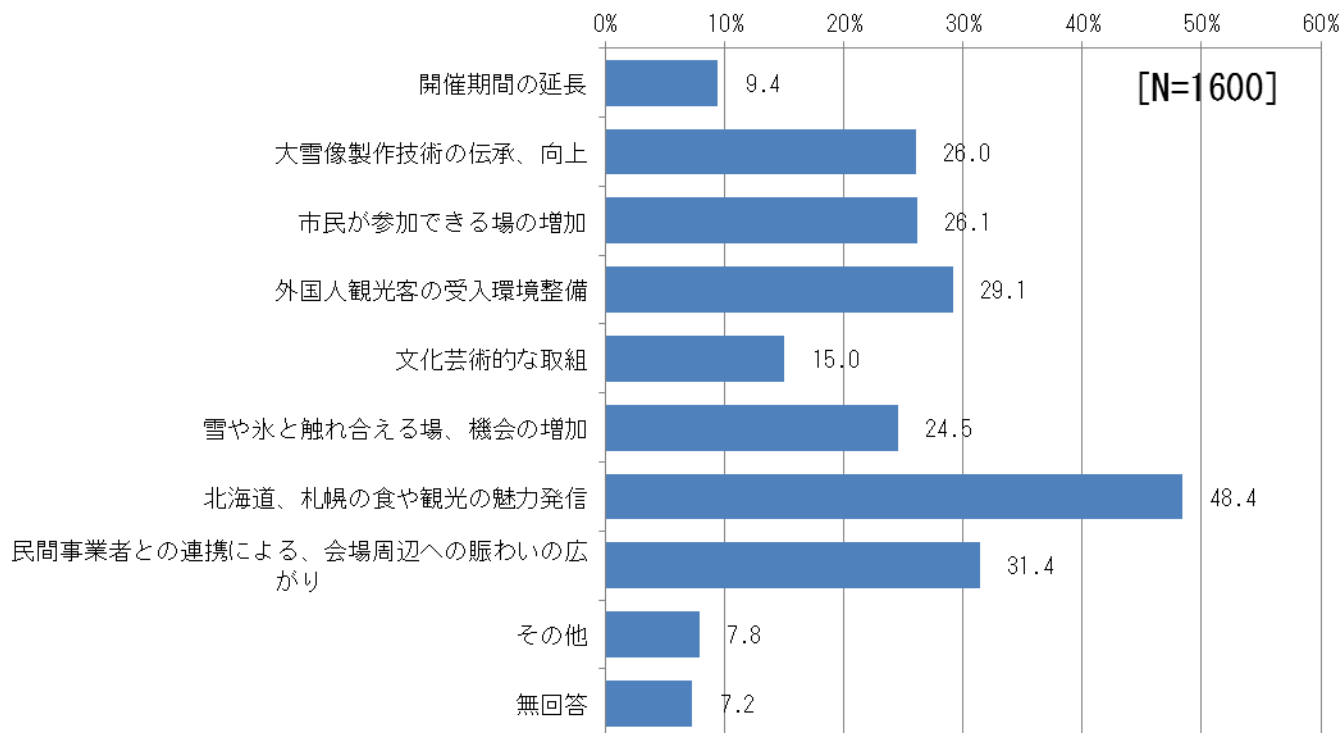
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 「さっぽろ雪まつり」が力を入れるべきこと

【問 27】 あなたは、「さっぽろ雪まつり」を札幌市民の豊かで健康な暮らしにつなげていくために、今後、一層力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

「さっぽろ雪まつり」が力を入れるべきことについては、「北海道、札幌の食や観光の魅力発信」が 48.4%、「民間事業者との連携による、会場周辺への賑わいの広がり」が 31.4%となっている。



### 【対象者全体】

「さっぽろ雪まつり」が力を入れるべきことについては、「北海道、札幌の食や観光の魅力発信」が 48.4%と最も高く、次いで「民間事業者との連携による、会場周辺への賑わいの広がり」が 31.4%、「外国人観光客の受入環境整備」が 29.1%となっている。

### 【性別】

男女ともに「北海道、札幌の食や観光の魅力発信」が最も高く、男性で 47.1%、女性で 49.5%となっている。

### 【年代別】

全年代で「北海道、札幌の食や観光の魅力発信」が最も高く、20 歳代では 53.6%、18～19 歳では 52.6%となっている。

### 【居住区別】

全居住区で「北海道、札幌の食や観光の魅力発信」が最も高く、特に厚別区では 58.6%と他の区と比較し高い。

(単位：%)

	回答者数	開催期間の延長	大雪像製作技術の伝承、向上	市民が参加できる場の増加	外国人観光客の受入環境整備	文化芸術的な取組	雪や氷と触れ合える場、機会の増加	北海道、札幌の食や観光の魅力発信	民間事業者との連携による、会場周辺への賑わいの広がり	その他	無回答	計	
全体	1,600	9.4	26.0	26.1	29.1	15.0	24.5	48.4	31.4	7.8	7.2	224.9	
性別	男性	633	10.4	26.4	26.4	29.7	14.5	23.7	47.1	31.0	8.8	7.0	225.0
	女性	944	8.3	25.6	25.8	28.6	15.5	25.0	49.5	31.8	7.0	7.3	224.4
	無回答	23	26.1	30.4	26.1	34.8	8.7	26.1	43.5	26.1	8.7	8.7	239.2
年代別	18～19歳	19	15.8	15.8	10.5	21.1	15.8	21.1	52.6	31.6	10.5	-	194.8
	20～29歳	110	10.9	19.1	27.3	22.7	9.1	25.5	53.6	27.3	5.5	2.7	203.7
	30～39歳	222	12.2	14.9	27.5	26.1	14.9	23.9	46.8	35.1	12.2	4.5	218.1
	40～49歳	285	11.2	26.0	25.3	29.8	15.8	30.5	49.5	34.7	7.7	2.1	232.6
	50～59歳	240	7.9	26.3	24.2	28.8	16.3	22.5	50.8	35.4	7.1	6.3	225.6
	60～64歳	169	6.5	26.6	28.4	30.8	16.6	24.9	43.8	31.4	7.7	8.3	225.0
	65～69歳	205	8.3	26.8	26.3	25.9	13.2	21.0	43.4	29.3	4.9	10.7	209.8
	70歳以上	341	8.5	35.2	26.1	34.3	15.8	22.9	51.0	26.4	7.6	12.3	240.1
	無回答	9	-	22.2	33.3	33.3	11.1	33.3	22.2	11.1	11.1	33.3	210.9
居住区別	中央区	183	9.8	32.2	23.5	38.3	15.3	25.7	42.1	32.8	11.5	5.5	236.7
	北区	247	8.5	23.5	25.9	27.1	12.6	24.7	49.8	32.0	7.3	7.7	219.1
	東区	215	6.5	27.9	20.5	28.8	16.3	25.6	52.6	32.6	7.0	7.4	225.2
	白石区	150	11.3	29.3	24.0	24.0	15.3	20.0	49.3	33.3	7.3	6.0	219.8
	厚別区	111	10.8	32.4	27.0	30.6	19.8	25.2	58.6	28.8	6.3	5.4	244.9
	豊平区	183	16.4	21.9	26.8	31.7	15.3	25.1	48.1	26.8	8.2	6.6	226.9
	清田区	93	10.8	17.2	28.0	32.3	12.9	24.7	46.2	34.4	6.5	10.8	223.8
	南区	125	6.4	22.4	28.8	28.0	12.8	21.6	45.6	31.2	6.4	10.4	213.6
	西区	168	7.7	27.4	29.2	23.8	13.7	22.6	47.0	33.3	7.7	7.1	219.5
	手稲区	112	6.3	23.2	32.1	27.7	18.8	29.5	48.2	28.6	7.1	4.5	226.0
	無回答	13	-	23.1	30.8	23.1	7.7	30.8	15.4	23.1	15.4	23.1	192.5

対象者全体の値と比較し10%以上高い

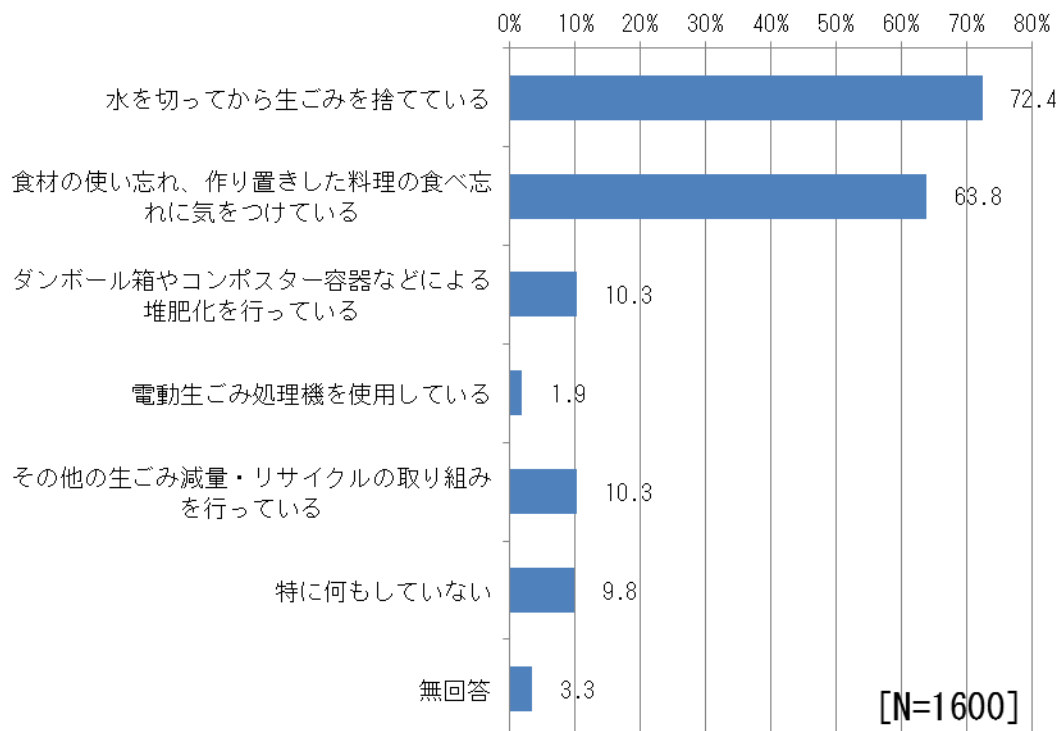
対象者全体の値と比較し10%以上低い

### (3) 「低炭素社会・エネルギー転換」について

#### 生ごみ減量・リサイクルの取り組み

【問 28】 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水を切ってから生ごみを捨てている」が 72.4%、「食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている」が 63.8%となっている。



#### 【対象者全体】

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水を切ってから生ごみを捨てている」が 72.4%と最も高く、次いで「食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている」が 63.8%、「ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている」「その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている」が 10.3%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「水を切ってから生ごみを捨てている」が最も高いが、男性の 64.1%と比較し、女性の 77.9%は高い。「食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている」が女性は 70.9%と、男性の 53.7%と比較し高くなっている。

#### 【年代別】

20 歳代を除く全ての年代で「水を切ってから生ごみを捨てている」が最も高く、特に 65～69 歳は 82.9%と他の年代と比較し高い。20 歳代は「食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている」が 54.5%で最も高くなっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「水を切ってから生ごみを捨てている」が最も高くなっている。

(単位：%)

		回答者数	水を切つてから生ごみを捨てている	食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気がついている	ダンボール箱やコンポスト容器などによる堆肥化を行っている	電動生ごみ処理機を使用している	その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている	特に何もしていない	無回答	計
全体		1,600	72.4	63.8	10.3	1.9	10.3	9.8	3.3	171.8
性別	男性	633	64.1	53.7	9.5	1.1	10.3	15.3	4.3	158.3
	女性	944	77.9	70.9	10.7	2.2	10.3	6.0	2.5	180.5
	無回答	23	78.3	52.2	17.4	8.7	13.0	8.7	8.7	187.0
年代別	18～19歳	19	57.9	36.8	10.5	-	-	31.6	-	136.8
	20～29歳	110	50.9	54.5	5.5	0.9	4.5	24.5	-	140.8
	30～39歳	222	59.0	57.2	7.2	2.3	3.2	16.7	1.4	147.0
	40～49歳	285	69.8	63.5	7.0	0.7	5.6	12.3	0.7	159.6
	50～59歳	240	76.7	65.4	8.8	1.7	12.1	8.8	1.7	175.2
	60～64歳	169	76.3	75.7	9.5	3.0	12.4	7.1	3.0	187.0
	65～69歳	205	82.9	66.3	15.6	2.0	9.3	2.4	5.9	184.4
	70歳以上	341	79.8	64.5	15.0	2.6	19.4	3.8	7.3	192.4
	無回答	9	77.8	55.6	11.1	-	22.2	-	22.2	188.9
居住区別	中央区	183	67.2	62.3	8.2	5.5	5.5	9.8	2.7	161.2
	北区	247	72.1	66.4	11.7	0.8	11.7	9.3	3.2	175.2
	東区	215	72.6	66.0	11.2	2.8	10.7	8.8	3.3	175.4
	白石区	150	69.3	64.0	6.7	0.7	10.0	12.0	2.7	165.4
	厚別区	111	71.2	58.6	11.7	1.8	9.0	10.8	4.5	167.6
	豊平区	183	72.7	65.6	8.2	2.2	9.8	9.8	3.8	172.1
	清田区	93	74.2	64.5	8.6	2.2	16.1	9.7	4.3	179.6
	南区	125	76.0	56.8	17.6	1.6	10.4	12.0	0.8	175.2
	西区	168	79.2	67.3	6.0	-	8.9	8.9	3.0	173.3
	手稲区	112	72.3	61.6	16.1	0.9	13.4	6.3	4.5	175.1
	無回答	13	61.5	53.8	7.7	-	15.4	15.4	15.4	169.2

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

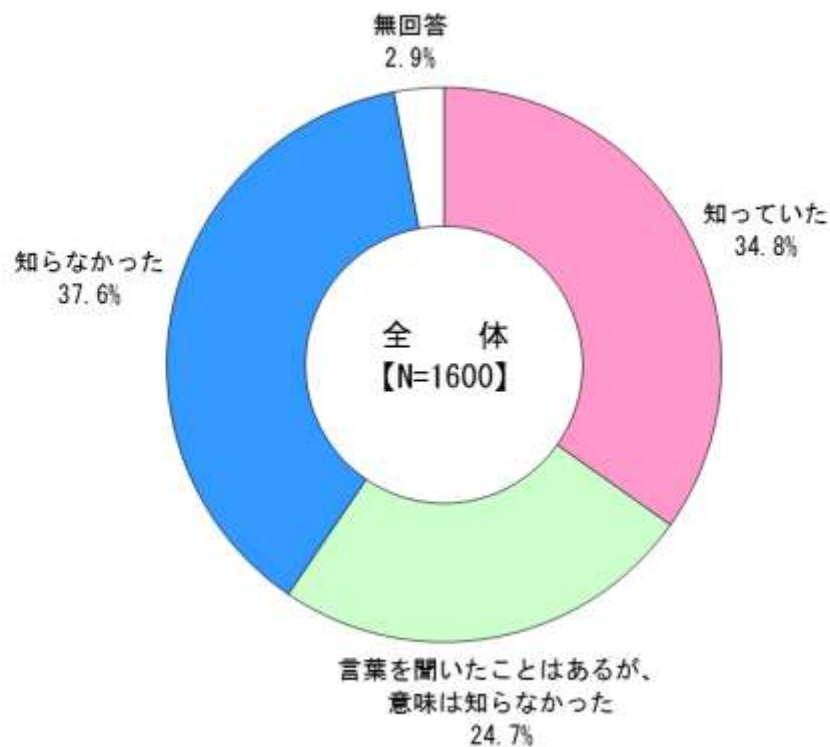


## 「生物多様性」の認知度

【問 29】 「生物多様性」とは、地球上には様々な生き物がいて、それらがバランスを保ちながら、つながり合って生きていることをいい、空気や水、衣・食・住など私たちの暮らしはこの生物多様性がもたらす様々な恵みにより支えられています。

あなたは、これまで「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

「生物多様性」の認知度については、「知らなかった」が 37.6%、「知っていた」が 34.8%となっている。



### 【対象者全体】

「生物多様性」の認知度については、「知らなかった」が 37.6%と最も高く、次いで「知っていた」が 34.8%、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が 24.7%となっている。

### 【性別】

男性は「知っていた」が 41.9%と最も高く、女性は「知らなかった」が 42.2%で最も高くなっている。

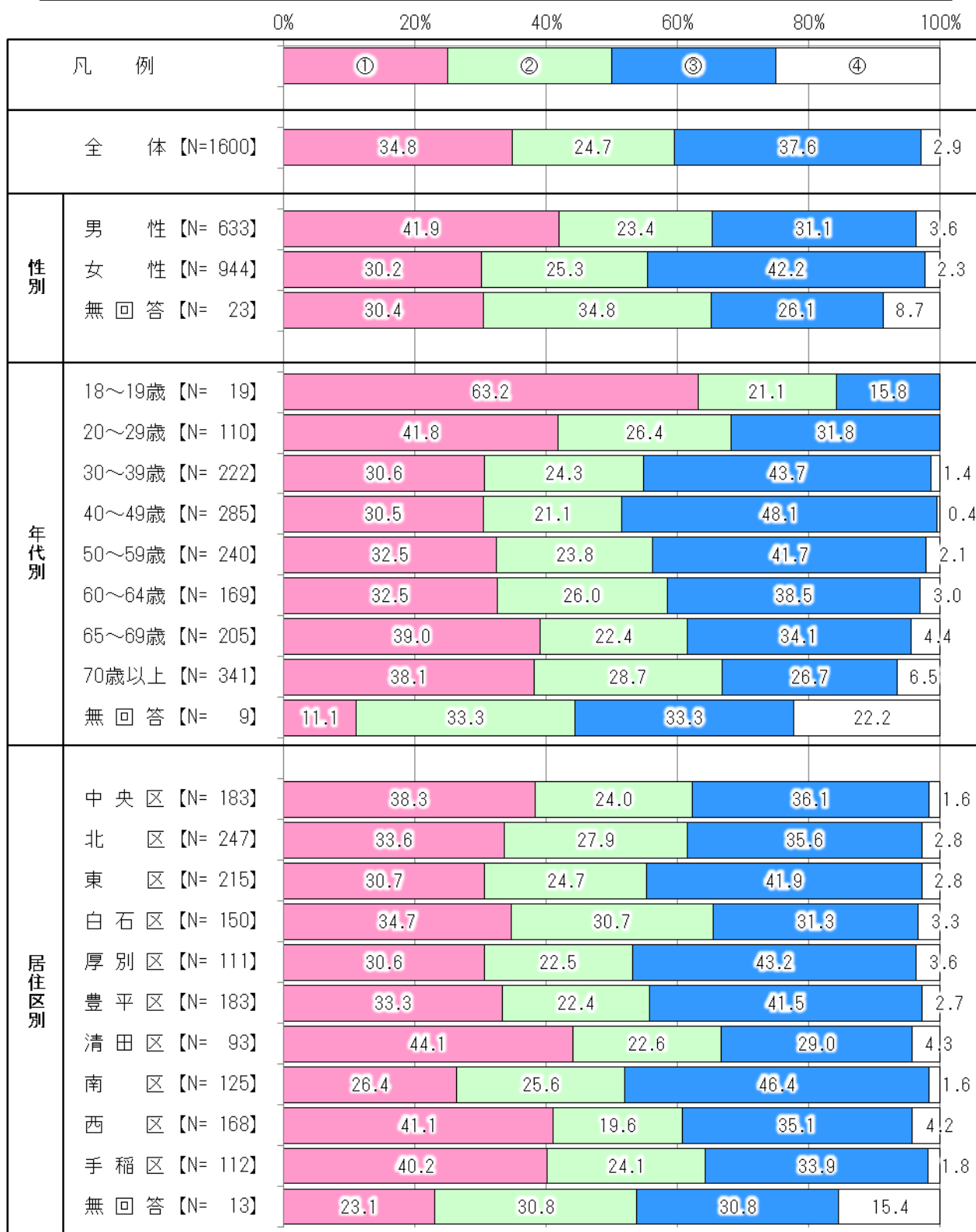
### 【年代別】

18～19 歳、20 歳代、65～69 歳、70 歳以上は「知っていた」が最も高く、特に 18～19 歳は 63.2%となっている。30 歳代、40 歳代、50 歳代、60～64 歳は「知らなかった」が最も高い。

### 【居住区別】

中央区、白石区、清田区、西区、手稲区では「知っていた」が最も高く、その他の居住区では「知らなかった」が最も高くなっている。

①知っていた ②言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった ③知らなかった ④無回答

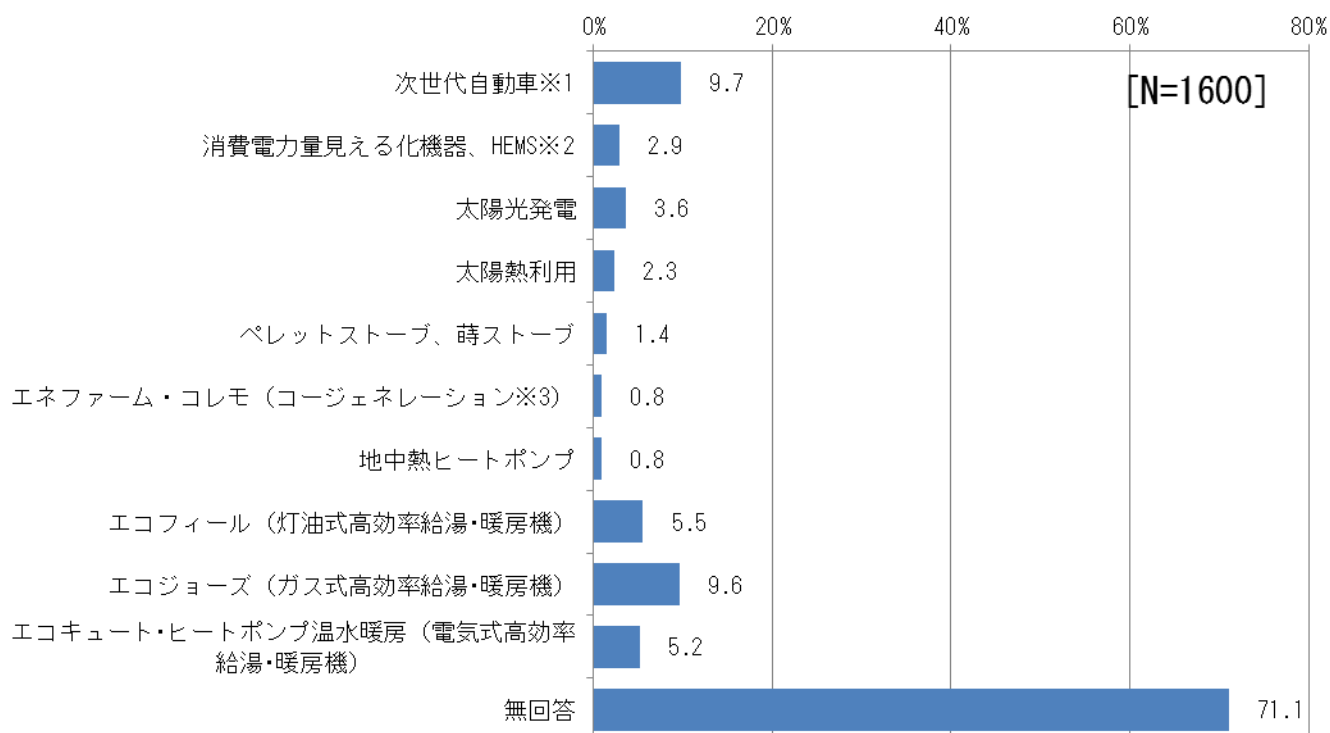


## 環境配慮活動について

【問 30】 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目にお答えください。

- (1) 再生可能エネルギー機器などの導入についてお聞きします。次の中に、あなたが導入している再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

再生可能エネルギー機器などの導入状況については、「次世代自動車」(9.7%)、「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が 9.6%となっている。



※<sup>1</sup> 次世代自動車: 具体的には、ハイブリット自動車、プラグインハイブリット自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※<sup>2</sup> HEMS: Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※<sup>3</sup> コージェネレーション: 燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

### 【対象者全体】

再生エネルギー機器などの導入状況については、「次世代自動車」が 9.7%と最も高く、次いで「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が 9.6%、「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」が 5.5%となっている。

### 【性別】

男性は「次世代自動車」が 12.8%で最も高く、女性は「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が 9.6%で最も高い。

### 【年代別】

「次世代自動車」は 50 歳代、60 歳代で最も高く、20 歳代、30 歳代、40 歳代では、「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が最も高い。18~19 歳は「次世代自動車」「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」(15.8%)が同値で最も高く、70 歳以上は「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」(8.2%)が同値で最も高くなっている。

【居住区別】

白石区、厚別区、南区、手稲区は「次世代自動車」が最も高く、その他の居住区では「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が最も高くなっている。

(単位：%)

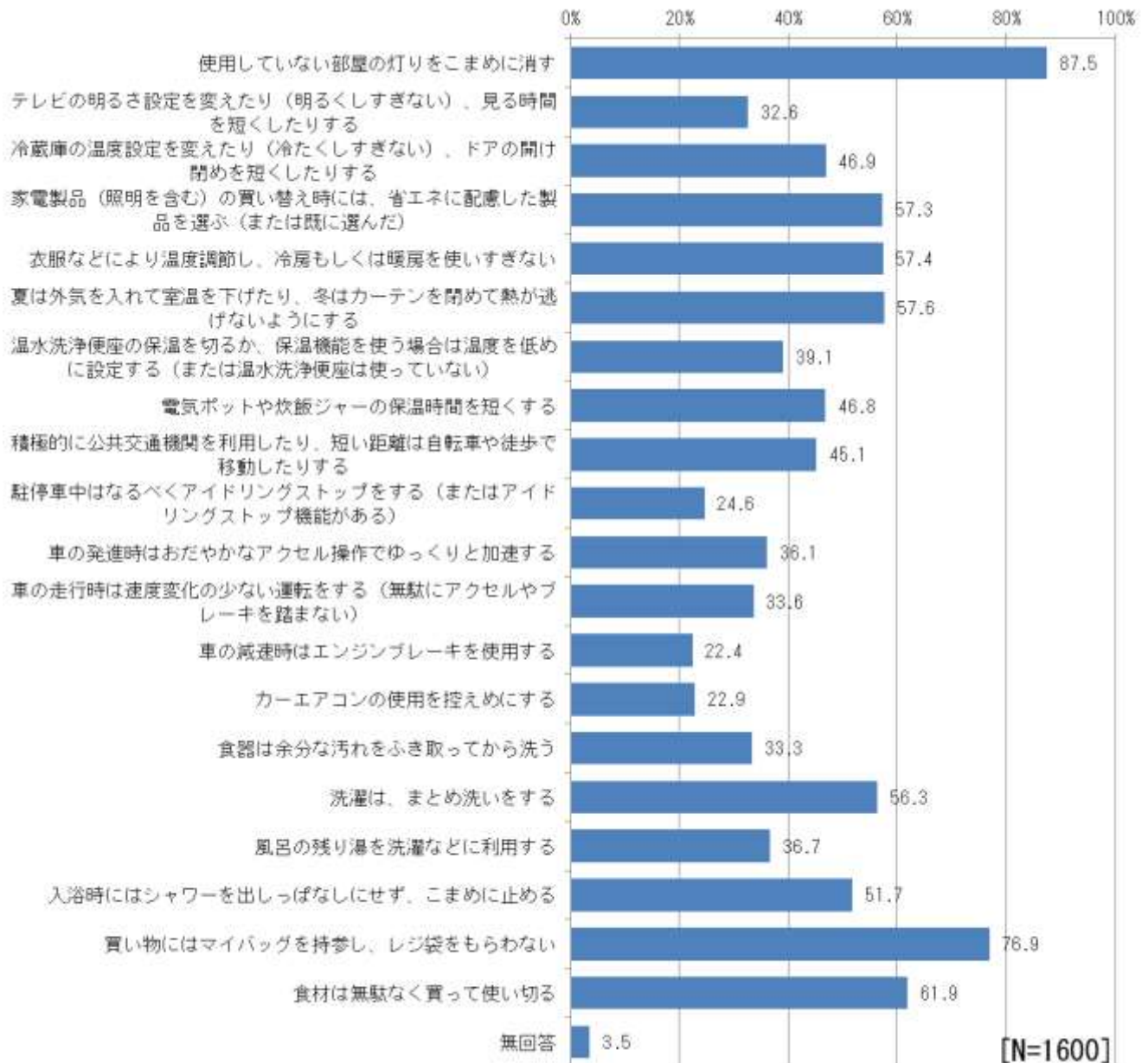
		回答者数	次世代自動車※1	H E M S※2 消費電力量見える化機器、	太陽光発電	太陽熱利用	ペレットストーブ、 薪ストーブ	エネファーム・コレモ(コー ジエネレーション※3)	地中熱ヒートポンプ	エコフィール(灯油式高効率給 湯・暖房機)	エコジョーズ(ガス式高効率給 湯・暖房機)	エコキュート・ヒートポンプ温 水暖房(電気式高効率給湯・暖 房機)	無回答	計
全体		1,600	9.7	2.9	3.6	2.3	1.4	0.8	0.8	5.5	9.6	5.2	71.1	112.9
性別	男性	633	12.8	3.5	5.1	3.0	1.7	0.8	1.3	4.4	9.5	5.4	69.4	116.9
	女性	944	7.6	2.6	2.6	1.9	1.3	0.7	0.5	6.1	9.6	5.1	72.2	110.2
	無回答	23	8.7	-	-	-	-	-	-	8.7	13.0	4.3	73.9	108.6
年代別	18～19歳	19	15.8	-	5.3	5.3	-	-	-	-	15.8	-	73.7	115.9
	20～29歳	110	4.5	1.8	2.7	0.9	-	0.9	1.8	2.7	5.5	4.5	80.9	106.2
	30～39歳	222	4.1	2.7	3.6	0.9	0.5	1.4	0.5	3.6	11.7	6.3	71.6	106.9
	40～49歳	285	9.1	2.5	2.8	1.1	1.4	0.4	0.4	2.8	13.3	7.0	68.8	109.6
	50～59歳	240	15.0	2.5	3.8	2.1	2.9	1.3	1.3	6.7	7.9	5.4	67.5	116.4
	60～64歳	169	12.4	4.7	4.7	4.1	1.8	0.6	1.2	5.9	7.7	6.5	69.2	118.8
	65～69歳	205	14.1	3.9	3.9	3.9	3.4	0.5	0.5	7.3	9.8	3.9	68.8	120.0
	70歳以上	341	7.6	2.9	3.5	2.9	0.3	0.6	0.9	8.2	8.2	3.5	73.9	112.5
	無回答	9	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	88.9	100.0
居住区別	中央区	183	9.8	3.3	3.8	2.2	1.1	2.7	1.1	3.8	13.1	6.0	67.2	114.1
	北区	247	6.9	2.8	5.3	3.6	2.0	0.8	1.6	5.7	8.5	6.5	72.9	116.6
	東区	215	6.5	1.4	4.2	1.4	0.5	0.5	0.5	7.0	7.4	6.0	74.0	109.4
	白石区	150	9.3	2.7	2.0	1.3	-	-	-	6.7	8.0	3.3	73.3	106.6
	厚別区	111	13.5	6.3	2.7	1.8	2.7	1.8	0.9	3.6	9.0	4.5	66.7	113.5
	豊平区	183	9.3	1.1	3.8	2.7	1.6	0.5	1.1	6.0	9.8	3.8	75.4	115.1
	清田区	93	14.0	5.4	5.4	5.4	3.2	-	-	4.3	16.1	5.4	64.5	123.7
	南区	125	8.0	1.6	-	0.8	0.8	-	-	4.8	5.6	4.0	78.4	104.0
	西区	168	11.9	5.4	4.2	2.4	1.8	0.6	1.2	5.4	13.7	7.1	64.3	118.0
	手稲区	112	15.2	1.8	2.7	1.8	1.8	-	0.9	7.1	4.5	3.6	69.6	109.0
	無回答	13	-	-	-	-	-	-	-	-	23.1	-	76.9	100.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2) エコライフの取り組みの実践状況についてお聞きします。次の中に、あなたが常に実践しているエコライフの取り組みはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

エコライフの取り組みの実践状況については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が87.5%と最も高く、約9割となっている。



【対象者全体】

エコライフの取り組みの実践状況については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が87.5%と最も高く、次いで「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」が76.9%、「食材は無駄なく買って使い切る」が61.9%となっている。

【性別】

男女ともに「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高く、男性で84.8%、女性で89.5%となっている。

**【年代別】**

全年代で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。65～69 歳は、「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」(86.3%)も同値で最も高い。

**【居住区別】**

全居住区で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高く、手稲区では 90.2%、厚別区では 90.1%と 9 割を超えている。

		回答者数	使用していない部屋の灯りをこまめに消す	テレビの明るさ設定を変えたり（明るくしすぎない）、見る時間を短くしたりする	冷蔵庫の温度設定を変えたり（冷たくしすぎない）、ドアの開け閉めを短くしたりする	家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既を選んで）	衣服などにより温度調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない	夏は外気を入れて室温を下げたり、冬はカーテンを閉めて熱が逃げないようにする	温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する（または温水洗浄便座は使っていない）	電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする	積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする	駐車中にはなるべくアイドリングストップをする（またはアイドリングストップ機能がある）	車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する
全体		1,600	87.5	32.6	46.9	57.3	57.4	57.6	39.1	46.8	45.1	24.6	36.1
性別	男性	633	84.8	27.0	36.5	52.6	50.1	54.7	32.5	33.6	42.0	29.5	44.1
	女性	944	89.5	36.0	53.8	60.4	62.1	59.4	43.2	55.5	47.2	21.4	30.8
	無回答	23	78.3	43.5	52.2	56.5	65.2	60.9	52.2	47.8	43.5	17.4	34.8
年代別	18～19歳	19	78.9	21.1	5.3	26.3	36.8	47.4	5.3	36.8	47.4	10.5	10.5
	20～29歳	110	84.5	31.8	23.6	23.6	42.7	52.7	27.3	29.1	44.5	9.1	26.4
	30～39歳	222	84.7	30.6	41.9	42.8	52.3	55.0	36.5	45.5	32.0	24.8	39.6
	40～49歳	285	88.8	34.7	43.9	56.1	56.8	54.7	41.4	49.5	35.1	23.5	40.0
	50～59歳	240	89.2	39.2	52.1	65.0	66.3	58.8	45.4	53.8	45.8	28.8	40.8
	60～64歳	169	89.9	24.3	50.9	64.5	58.0	60.4	36.7	48.5	48.5	27.8	42.0
	65～69歳	205	86.3	31.2	50.2	72.2	57.1	57.1	44.4	45.4	45.9	28.8	38.0
	70歳以上	341	88.9	33.1	54.8	63.3	60.7	61.9	38.4	46.6	58.9	24.6	28.7
	無回答	9	55.6	33.3	55.6	11.1	55.6	55.6	33.3	44.4	66.7	-	-
居住区別	中央区	183	89.6	31.7	48.6	63.4	56.8	57.9	37.7	47.0	51.9	21.9	35.0
	北区	247	87.0	27.9	46.2	56.7	57.1	55.1	40.9	44.1	42.9	20.6	36.0
	東区	215	85.1	38.1	46.5	56.3	59.5	62.3	38.6	49.8	47.4	22.8	35.3
	白石区	150	89.3	34.0	48.0	50.7	58.7	60.7	38.7	46.7	50.0	24.0	32.0
	厚別区	111	90.1	35.1	50.5	55.9	57.7	58.6	36.0	48.6	39.6	26.1	36.9
	豊平区	183	86.3	33.9	43.2	55.7	55.7	55.2	41.0	48.6	48.1	29.0	33.9
	清田区	93	87.1	38.7	50.5	52.7	52.7	49.5	26.9	39.8	30.1	25.8	37.6
	南区	125	88.0	32.0	46.4	61.6	58.4	53.6	36.8	41.6	43.2	24.0	33.6
	西区	168	86.3	27.4	45.2	60.1	61.9	63.7	42.3	46.4	50.0	21.4	37.5
	手稲区	112	90.2	30.4	48.2	62.5	53.6	55.4	46.4	53.6	34.8	39.3	50.9
	無回答	13	69.2	30.8	46.2	15.4	38.5	46.2	46.2	46.2	53.8	7.7	7.7

		車の走行時は速度変化の少ないブレーキを踏まない)	車の減速時はエンジンブレーキを使用する	カーエアコンの使用を控える	食器は余分な汚れをふき取ってから洗う	洗濯は、まとめ洗いをする	風呂の残り湯を洗濯などに利用する	入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める	買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない	食材は無駄なく買って使い切る	無回答	計
全体		33.6	22.4	22.9	33.3	56.3	36.7	51.7	76.9	61.9	3.5	894.1
性別	男性	43.1	31.3	27.5	25.1	48.8	32.7	48.3	69.8	53.1	4.7	827.7
	女性	27.2	16.1	19.8	38.8	61.8	38.9	53.8	81.5	68.1	2.5	937.0
	無回答	34.8	34.8	21.7	34.8	39.1	56.5	56.5	82.6	52.2	8.7	939.2
年代別	18～19歳	-	-	5.3	21.1	31.6	36.8	36.8	57.9	26.3	5.3	536.9
	20～29歳	20.9	20.0	9.1	14.5	50.9	24.5	30.0	60.0	43.6	2.7	645.1
	30～39歳	36.0	23.4	21.2	17.6	57.2	28.4	38.7	68.5	56.3	3.2	796.6
	40～49歳	38.2	24.6	24.6	29.1	49.8	37.9	50.5	75.1	59.6	0.7	874.6
	50～59歳	38.3	24.2	25.8	40.8	52.9	36.7	56.7	81.3	63.8	2.9	967.8
	60～64歳	40.2	29.0	25.4	37.3	59.2	38.5	52.1	79.9	71.0	3.6	945.7
	65～69歳	34.6	24.9	27.8	34.1	58.5	39.5	60.0	86.3	60.0	3.9	948.2
	70歳以上	27.9	16.4	22.3	46.0	63.6	42.2	61.0	80.1	70.7	5.9	967.3
無回答		-	-	-	33.3	66.7	44.4	22.2	77.8	66.7	22.2	744.5
居住区別	中央区	35.0	21.9	23.5	33.9	54.6	34.4	46.4	72.7	59.0	2.7	890.6
	北区	35.2	19.8	21.5	32.4	56.7	35.6	53.0	74.9	65.6	2.8	876.0
	東区	32.6	23.3	27.0	37.2	54.9	34.4	49.8	78.6	60.0	3.7	907.9
	白石区	31.3	22.7	25.3	29.3	66.0	34.7	51.3	76.0	60.0	2.7	900.1
	厚別区	29.7	19.8	18.9	33.3	62.2	45.0	56.8	78.4	57.7	2.7	902.7
	豊平区	34.4	21.9	21.9	34.4	56.3	31.7	48.1	73.8	66.1	2.7	888.0
	清田区	36.6	23.7	26.9	30.1	48.4	33.3	47.3	71.0	58.1	7.5	836.7
	南区	27.2	25.6	21.6	34.4	52.0	39.2	55.2	80.8	58.4	4.8	884.8
	西区	35.1	21.4	17.3	33.9	54.2	36.9	53.0	79.8	65.5	3.6	905.4
	手稲区	41.1	28.6	28.6	32.1	57.1	48.2	61.6	85.7	65.2	2.7	965.3
無回答		7.7	7.7	-	23.1	53.8	46.2	38.5	76.9	53.8	15.4	723.3

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い



#### (4) 将来を見据えた魅力ある都市の整備

##### 都市部の「にぎわい」について

【問 31】 あなたは、札幌の都心(右図の点線で囲まれた部分参照)に「にぎわい」があると感じますか。  
あてはまるもの一つに○をつけてください。



都市部の「にぎわい」については、「感じる」(33.3%)と「やや感じる」(41.8%)を合わせた割合(75.1%)が 7 割以上を占めている。



##### 【対象者全体】

都市部の「にぎわい」については、「やや感じる」が 41.8%と最も高く、次いで「感じる」が 33.3%、「あまり感じない」が 15.2%、「わからない」が 6.1%、「感じない」が 2.8%となっている。

##### 【性別】

男女ともに「やや感じる」が最も高く、男性で 40.6%、女性で 42.9%となっている。

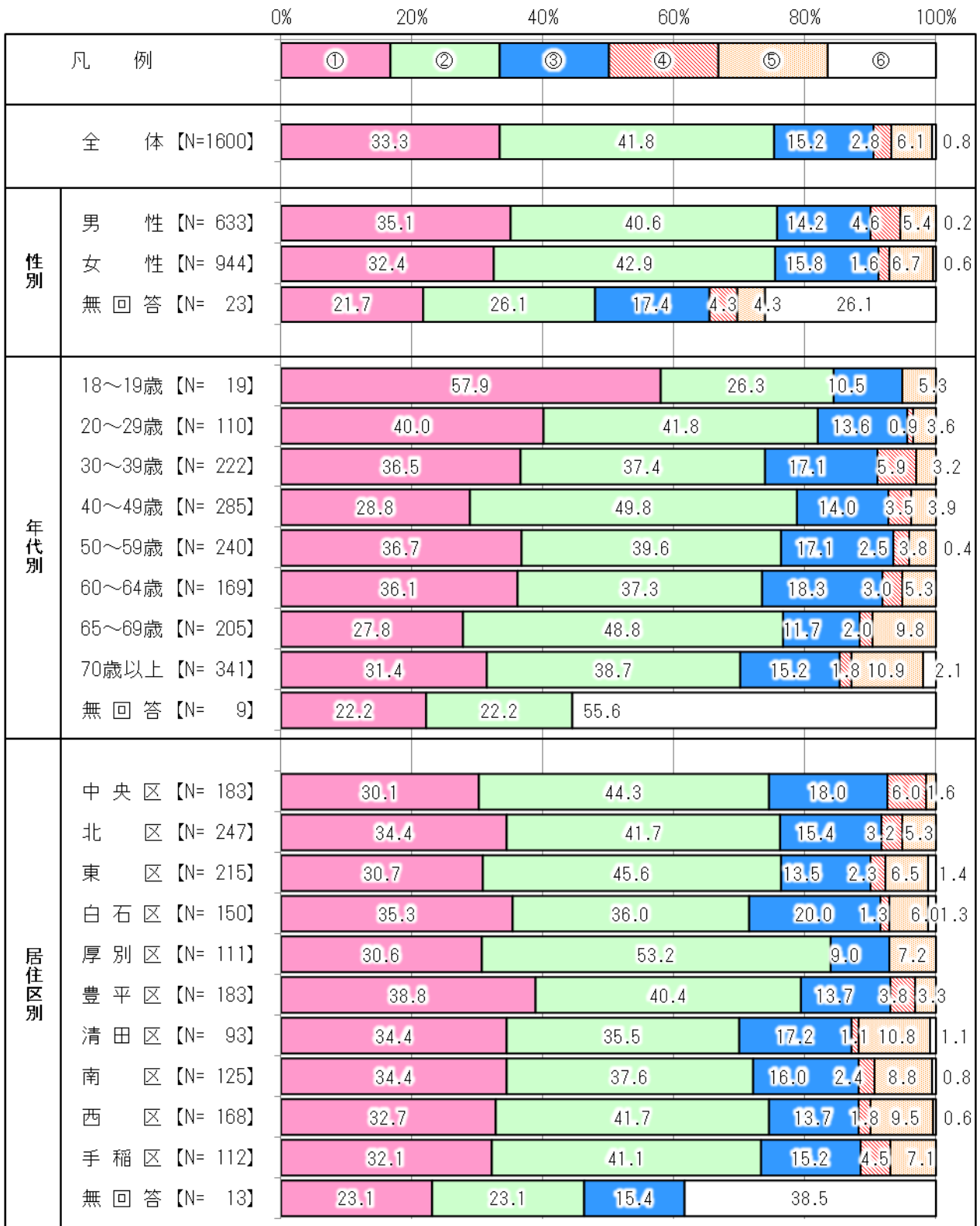
##### 【年代別】

18～19 歳を除いた全年代で「やや感じる」が最も高く、40 歳代では 49.8%、65～69 歳では 48.8%となっている。  
18～19 歳は「感じる」が 57.9%と他の年代と比較し高い。

##### 【居住区別】

全居住区で「やや感じる」が最も高く、厚別区では 53.2%と 5 割を超えている。

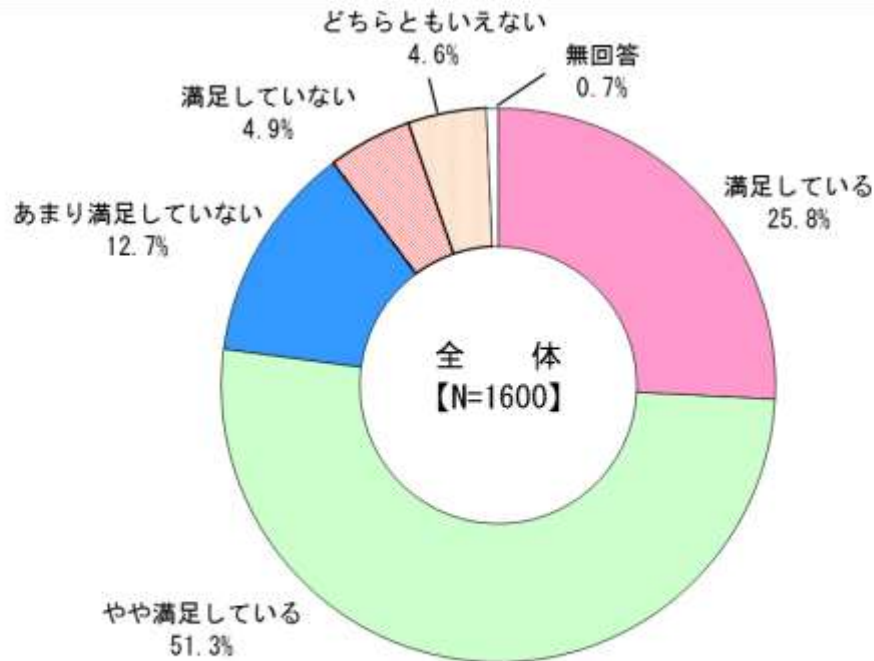
①感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④感じない ⑤わからない ⑥無回答



## 住環境の満足度

【問 32】 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

住環境の満足度については、「満足している」(25.8%)と「やや満足している」(51.3%)を合わせた割合(77.1%)が全体の約8割を占めている。



### 【対象者全体】

住環境の満足度については、「やや満足している」が 51.3%と最も高く、次いで「満足している」が 25.8%、「あまり満足していない」が 12.7%、「満足していない」が 4.9%、「どちらともいえない」が 4.6%となっている。

### 【性別】

男女ともに「やや満足している」が最も高く、男性で 46.8%、女性で 54.6%となっている。「満足している」は男性が 27.8%と、女性の 24.8%と比較し若干高い。

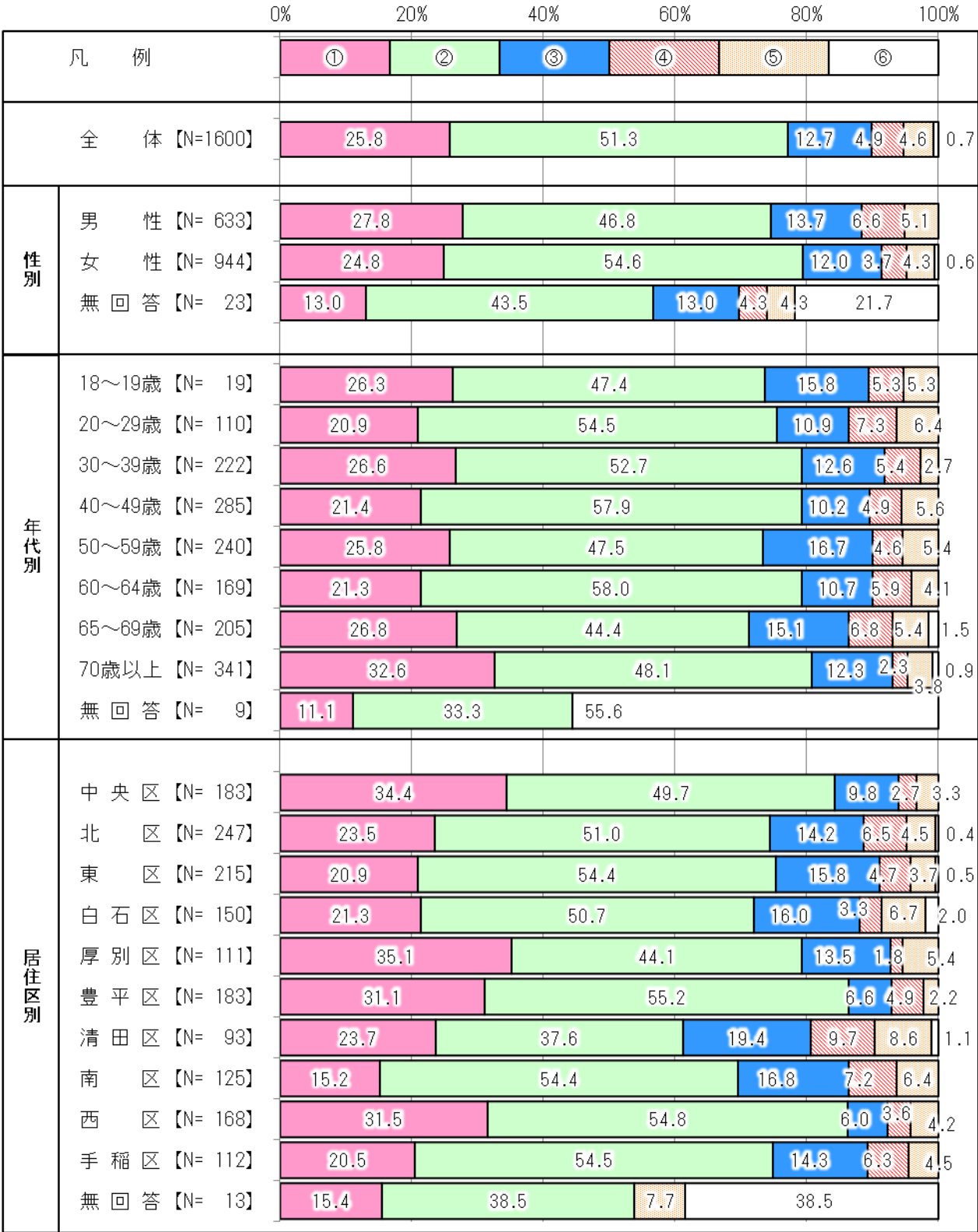
### 【年代別】

全年代で「やや満足している」が最も高く、60～64 歳では 58.0%、40 歳代では 57.9%となっている。

### 【居住区別】

全居住区で「やや満足している」が最も高く、豊平区で 55.2%、西区で 54.8%となっている。

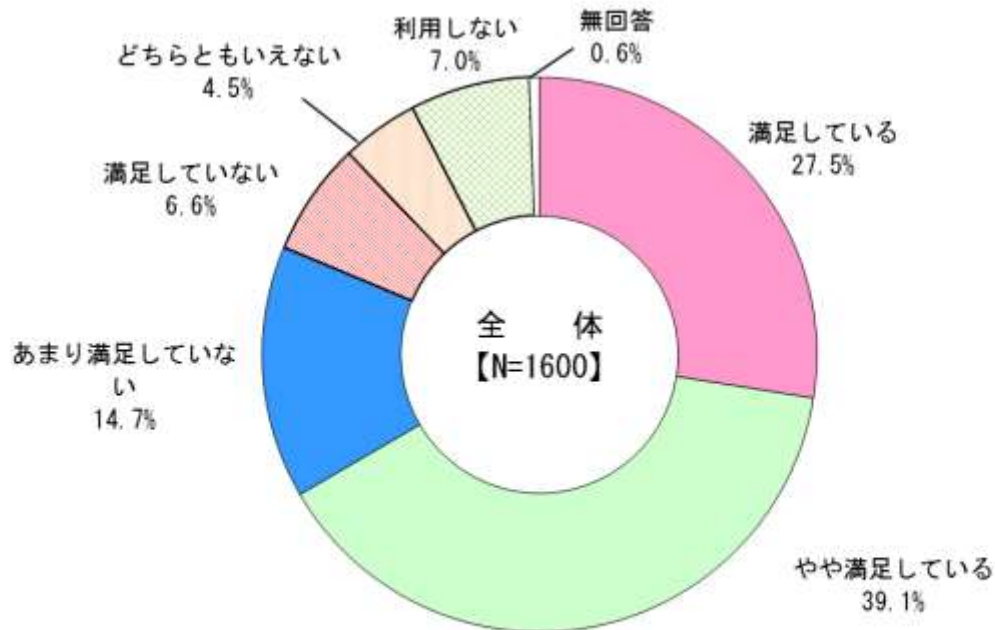
①満足している                      ②やや満足している                      ③あまり満足していない  
 ④満足していない                      ⑤どちらともいえない                      ⑥無回答



## 公共交通の満足度

【問 33】 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

公共交通の満足度については、「満足している」(27.5%)と「やや満足している」(39.1%)を合わせた割合(66.6%)が全体の約7割を占めている。



### 【対象者全体】

公共交通の満足度については、「やや満足している」が 39.1%と最も高く、次いで「満足している」が 27.5%、「あまり満足していない」が 14.7%、「利用しない」が 7.0%、「満足していない」が 6.6%、「どちらともいえない」が 4.5%となっている。

### 【性別】

男女ともに「やや満足している」が最も高く、男性で 40.0%、女性で 38.6%となっている。

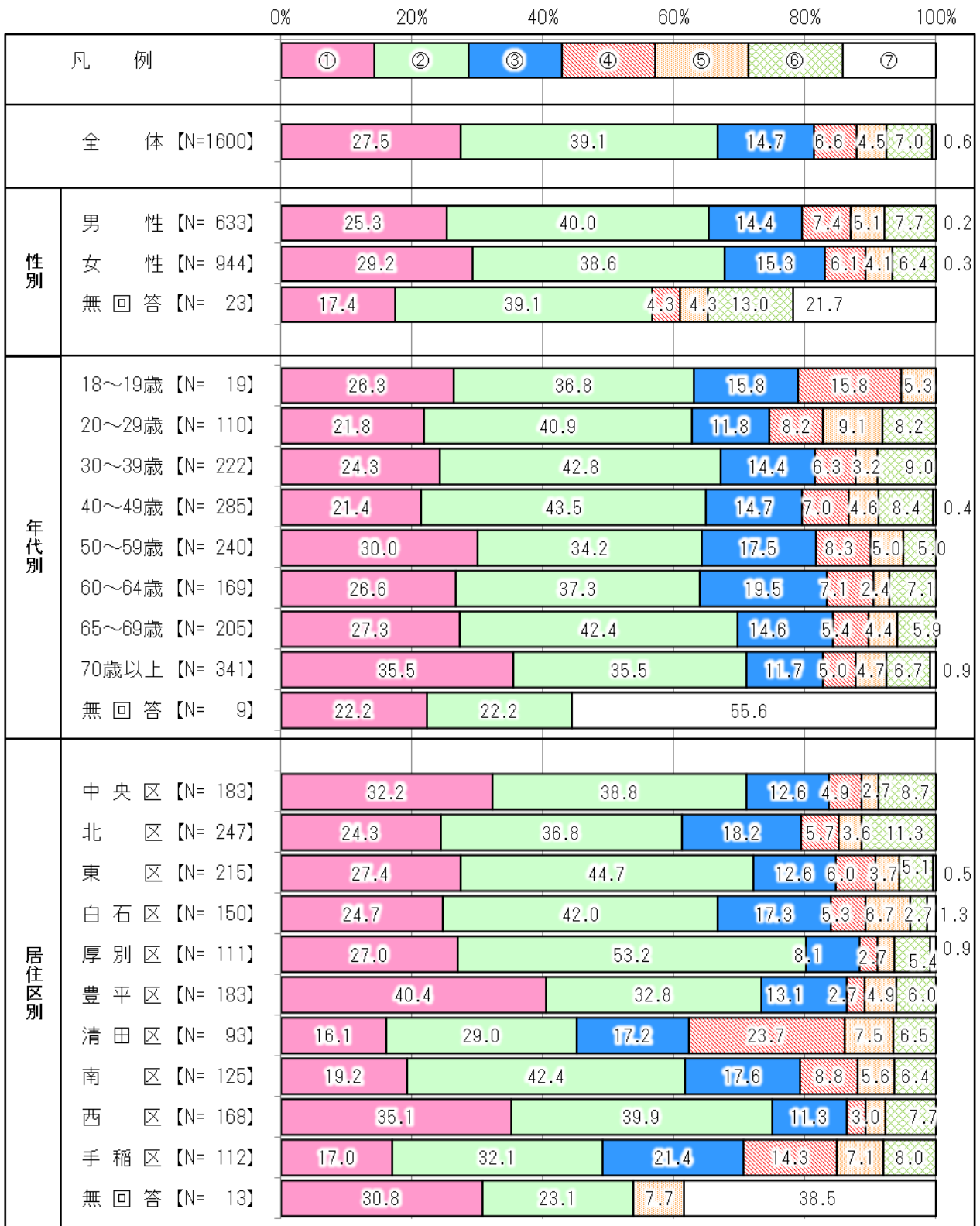
### 【年代別】

全年代で「やや満足している」が最も高く、40 歳代では 43.5%、30 歳代では 42.8%となっている。70 歳代は、「満足している」(35.5%)も同値で最も高い。

### 【居住区別】

豊平区を除く全居住区で「やや満足している」が最も高くなっている。豊平区は「満足している」が 40.4%と最も高く、他の居住と比較し高い。

①満足している      ②やや満足している      ③あまり満足していない      ④満足していない  
 ⑤どちらともいえない      ⑥利用しない      ⑦無回答



平成 28 年度 札幌市  
事業の効果に関する市民意識調査  
～アンケート調査へのご協力をお願い～

日ごろから、札幌市政にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

札幌市では、様々な事業を実施しておりますが、より良い事業推進のためには、その取り組みの効果や成果を的確に把握し、今後の改善や見直しにつなげていく必要があります。

効果や成果の把握としては、例えばイベントにおける入場者数など、札幌市が直接把握できるもののほか、事業を通じて提供されるサービスの利用者満足度など、市民の皆様にお聞きしなければ把握できないものもあることから、このたび、アンケートにより市民の皆様にお伺いさせていただくものです。

突然のお願いで恐縮ではありますが、趣旨をご理解いただき、可能な限りご回答くださいますようお願いいたします（なお、ご事情により回答できない場合には、ご回答いただかなくて構いません）。

●市民の皆様にご協力いただきたいこと

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返信してください。

●今回のアンケートの対象者の選び方

市民の皆様の中から 4,000 人を、くじびきのような方法（無作為抽出）で選ばせていただきました。

●今回お送りしたもの

事業の効果に関する市民意識調査（この冊子）、返信用封筒

●プライバシーの保護には十分配慮します

この調査は、皆様から無記名でご回答いただくものであり、その結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値や表としてまとめますので、個人のお名前を公表することはありません。また、調査をお願いした方の名簿を公表することはありません。

◆◆◆ご回答にあたって◆◆◆

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでもかまいません。

ご回答は、あてはまる所（番号）に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。記入が終わった調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成 29 年 2 月 24 日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。

本調査についてのご不明な点などがございましたら

札幌市総務局 改革推進室推進課 担当：岡田・井田 Tel011-211-2061 まで

平成28年度 札幌市  
事業の効果に関する市民意識調査 調査票

「暮らし・コミュニティ」について

問1 札幌市は、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問2 あなたは、「仕事」と「家事（育児）、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問3 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利\*が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問4 この設問は **18歳以下のお子さん**がいる方のみお聞きします。妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いる（ある）  ⇒問5へ 2. いない（ない）  3. 悩んだことはない

問5 問4で「1. いる（ある）」と答えた方にお聞きします。妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談等により不安や負担を軽くすることができますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いつもできている  2. だいたいできている   
3. あまりできていない  4. 全くできていない

問6 この設問は **小学校入学前のお子さん**がいる方のみお聞きします。この1年間に、あなたの希望に応じた保育サービスを利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 利用できた  2. 利用できなかった  3. 利用する必要がなかった



問7 この設問は **20 歳未満のお子さんがあるひとり親家庭の方**にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |            |                                     |       |          |                                     |       |
|------------|-------------------------------------|-------|----------|-------------------------------------|-------|
| 1. 感じる     | <input checked="" type="checkbox"/> | ⇒(2)へ | 2. やや感じる | <input checked="" type="checkbox"/> | ⇒(2)へ |
| 3. あまり感じない |                                     |       | 4. 感じない  |                                     |       |
| 5. わからない   |                                     |       |          |                                     |       |

(2) (1)で「1. 感じる」または「2. やや感じる」を回答した方のみにお聞きします。具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家計      2. 仕事      3. 子育て      4. 自分の健康      5. 家事      6. その他

<この設問からは皆さまにお聞きします。>

問8 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさに関してお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなた、または同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 本人      2. 配偶者      3. 子または子の配偶者      4. 子のうち18歳以下の子  
5. 親または配偶者の親      6. その他(祖父母・孫など)      7. いない

(2) 札幌市は、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う      2. まあそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない      5. わからない

問9 あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 区役所や保健センターなど市の窓口    | 2. 地域包括支援センター      |
| 3. 介護予防センター            | 4. 健康づくりセンター       |
| 5. 病院や診療所              | 6. ケアマネジャーやホームヘルパー |
| 7. 入所中の施設や入居中の住宅の相談員など | 8. 民生委員            |
| 9. 福祉のまち推進センター         | 10. 町内会            |
| 11. 家族・親戚・知人           | 12. 人権擁護委員         |
| 13. 老人福祉センター           | 14. その他(具体的に )     |
| 15. 特にない               | 16. わからない          |

問10 あなたは、孤立死\*について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも看取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か放置された状態で発見されることです。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 心配である     | 2. 少し心配である    |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり心配していない |
| 5. 心配していない   | 6. わからない      |

問11 札幌市は、「自転車のルールやマナー\*が守られている安全なまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「ルールやマナー」とは、「自転車は車道が原則」「歩道を走行する場合は、歩行者を優先し車道寄りに徐行」「二人乗り禁止」「夜間はライト点灯」「混んでいる歩道では自転車を押して歩く」などのことを指しています。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. そう思う            | 2. まあそう思う         |
| 3. あまりそう思わない ⇒問12へ | 4. 全くそう思わない ⇒問12へ |
| 5. わからない           |                   |

問12 問11で「3. あまりそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。あなたは、自転車のルールやマナーについての意識がこの1年で高まりましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |         |           |              |             |          |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 5. わからない |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|

問13 あなたは、地域の雪は地域で処理する取り組みに関して、地域の雪置き場として公園\*などの利用又はその後の雪割りや清掃などに参加したことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 町内会と札幌市がルールなどの覚書を交わした場合に限り、公園の一部を雪置き場として利用できます。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 利用又は参加したことがある | 2. 利用、参加したことはない |
|------------------|-----------------|

問 14 次にあげるまちづくり活動\*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動とは、地域における安全、安心を推進し、暮らしやすいまちを実現するために、一人ひとりがごみの分別や除雪ルールに気をつけたり、同じまちに住む人々（町内会や老人クラブ、PTA、商店街など）がお互いに協力し合って、ごみステーションの管理、近所の清掃活動、街路樹への花植え等の活動を行ったりすることです。

1. ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守
2. 近隣のごみ拾い・清掃
3. 地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加
4. 雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき
5. 自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援
6. 高齢者等の家事援助や福祉施設での手伝い
7. 寄附や募金
8. 通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加
9. 街路樹への花植えなど地域の緑化活動への参加
10. 高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認
11. 健康づくり活動への参加や指導
12. 子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加
13. 音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承
14. 防災訓練への参加
15. 防火・防犯パトロールへの参加
16. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
17. 参加・活動していることはない

問 15 札幌市では、市の事業や施策（市政）を進めていくにあたり、できるだけ多くの市民の皆さまに参加していただけるように努めているところです。

札幌市が設けている次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- |   |
|---|
| (1) 説明会・意見交換会（特定のテーマについて市民の皆さまに集まっていただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの）<br>1. 参加したことがある    2. 知っているが参加したことはない    3. 知らない                         |
| (2) パブリックコメント（条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆さまから意見をいただくもの）<br>1. 意見を提出したことがある    2. 知っているが意見を提出したことはない    3. 知らない |
| (3) シンポジウム・フォーラム（特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会）<br>1. 参加したことがある    2. 知っているが参加したことはない    3. 知らない  |
| (4) ワークショップ（特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの）<br>1. 参加したことがある    2. 知っているが参加したことはない    3. 知らない                                    |
| (5) 審議会など（学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や検討を行うもの）における市民委員の公募<br>1. 応募したことがある    2. 知っているが応募したことはない    3. 知らない               |

問 16 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 関心があり、参加したい<br>2. 関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい<br>3. これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい<br>4. これからも参加したいとは思わない<br>5. わからない |
|---|

問 17 今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される<br>2. 市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する<br>3. 意見交換会の開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく、簡単に入手できる<br>4. 意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする<br>5. 必要ない<br>6. わからない |
|---|

問 18 あなたは、姉妹・友好都市<sup>※1</sup>をはじめとした海外諸都市との交流や外国人の方との交流<sup>※2</sup>に関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2 「海外諸都市との交流や外国人の方との交流」とは、文化芸術（芸術作品の創作・鑑賞等）、スポーツ（青少年スポーツ交流等）、観光（外国人観光客のおもてなし、海外での見聞を広める等）、教育（語学、留学等）、経済（企業の進出・誘致、流通の拡大等）など様々な分野における交流を指します。

1. 特に関心がある	2. 関心がある	3. あまり関心がない	4. 関心が無い
------------	----------	-------------	----------

問 19 あなたが、この1年間に、趣味などで行った文化芸術活動（実践及び鑑賞）はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 音楽	2. 美術
3. 演劇	4. 洋舞（ダンス・バレエなど）
5. 写真	6. 日本の古典芸能（能・歌舞伎・邦楽・邦舞など）
7. 大衆芸能（落語・漫才など）	8. 文化施設利用（音楽ホール・文化財施設・博物館など）
9. その他（具体的に：	） 10. 活動を行っていない

問 20 あなたは、この1年間に（テレビなどではなく）直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、直接には何も観戦しなかった方は「13」だけに○をつけてください。

1. プロ野球	2. プロサッカー	3. プロバスケットボール
4. フットサル（Fリーグ）	5. マラソン	6. アマチュアの野球（児童、学生を含む）
7. ゴルフ	8. 相撲、格闘技	9. アマチュアのサッカー（児童、学生を含む）
10. ウィンタースポーツ	11. その他のアマチュアスポーツ（具体的に：	）
12. その他のプロスポーツ（具体的に：	）	13. 直接には何も観戦しなかった

問21 あなたは、この1年間にスポーツ（運動）を行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

なお、スポーツ（運動）には、健康のための散歩やジョギングなど、軽い運動も含まれます。また、職業として行ったものや、学校の体育の授業は除きます（部活動は含まれます）。スポーツを行わなかった場合は、「33」または「34」のいずれかに○をつけてください。

※ 障がいに応じた用具やルールの変更などがある競技はもとの競技に含まれます

例：車いすマラソン → 2. ランニング（ジョギング、マラソン）

ブラインドサッカー → 20. サッカー、フットサル

1. ウォーキング、散歩	2. ランニング（ジョギング、マラソン）
3. サイクリング	4. トレーニング（室内運動器具を使ってする運動を含む）
5. 体操（エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む）	6. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む）
7. 登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	8. スキー
9. スノーボード	10. スケート
11. カーリング	12. その他のウィンタースポーツ （具体的に： )
13. 釣り	14. キャンプ、海水浴
15. 水泳（水中ウォーキング、アクアエクササイズを含む）	16. 卓球
17. バドミントン	18. テニス、ソフトテニス
19. 野球（キャッチボールを含む）	20. サッカー、フットサル
21. バレーボール	22. バスケットボール
23. ソフトボール	24. ドッジボール
25. ラグビー	26. ボウリング
27. パークゴルフ	28. ゴルフ（練習場含む）
29. ゲートボール	30. 武道（柔道、剣道、空手など）
31. 弓道、アーチェリー	32. その他（具体的に： )
33. スポーツを行えなかった	34. スポーツをする気がなかった

<この設問は、問21で「1」から「32」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。>

問22 あなたが、問21で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 年151日以上（週3回以上）	2. 年51～150日（週1～2回程度）
3. 年12～50日（月1～3回程度）	4. 年12日未満（月1回未満）

問 23 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。また、「3. やや不満」「4. 不満」に○を付けた方は、具体的な理由をお書きください。

(1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること (事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く)				
1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
[具体的な理由: ← ]				
(2) 安全で良質な水道水をお届けすること				
1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
[具体的な理由: ← ]				
(3) お客さまサービス (問い合わせ対応・広報)				
1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
[具体的な理由: ← ]				

問 24 あなたは札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. お客さま対応の向上
2. 健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化
3. 将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承
4. これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化
5. 水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新
6. 災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備
7. 環境に優しい事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用
8. 安全でおいしい水をお届けするために、施設・水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて、市民にお知らせすること

**「産業・活力」について**

問 25 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う	2. まあそう思う	3. あまりそう思わない	4. 全くそう思わない	5. わからない
---------	-----------	--------------	-------------	----------

問 26 あなたは、「さっぽろ雪まつり」が札幌市民の豊かで健康な暮らしにつながっていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う	2. まあそう思う	3. あまりそう思わない	4. 全くそう思わない	5. わからない
---------	-----------	--------------	-------------	----------

問 27 あなたは、「さっぽろ雪まつり」を札幌市民の豊かで健康な暮らしにつなげていくために、今後、一層力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

1. 開催期間の延長
2. 大雪像制作技術の伝承、向上
3. 市民が参加できる場の増加
4. 外国人観光客の受入環境整備
5. 文化芸術的な取組
6. 雪や氷と触れ合える場、機会の増加
7. 北海道、札幌の食や観光の魅力発信
8. 民間事業者との連携による、会場周辺への賑わいの広がり
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

### 「低炭素社会・エネルギー転換」について

問 28 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 水を切ってから生ごみを捨てている
2. 食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている
3. ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている
4. 電動生ごみ処理機を使用している
5. その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている  
(具体的に： \_\_\_\_\_ )
6. 特に何もしていない

問 29 「生物多様性」とは、地球上には様々な生き物がいて、それらがバランスを保ちながら、つながり合って生きていることをいい、空気や水、衣・食・住など私たちの暮らしはこの生物多様性がもたらす様々な恵みにより支えられています。

あなたは、これまで「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 知っていた
2. 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった
3. 知らなかった



問 30 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目にお答えください。

(1) 再生可能エネルギー機器などの導入状況についてお聞きします。次の中に、あなたが導入している再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| 1. 次世代自動車※1                 | 2. 消費電力量見える化機器、HEMS※2                   |
| 3. 太陽光発電                    | 4. 太陽熱利用                                |
| 5. ペレットストーブ、薪ストーブ           | 6. エネファーム・コレモ (コージェネレーション※3)            |
| 7. 地中熱ヒートポンプ                | 8. エコフィール (灯油式高効率給湯・暖房機)                |
| 9. エコジョーズ<br>(ガス式高効率給湯・暖房機) | 10. エコキュート・ヒートポンプ温水暖房<br>(電気式高効率給湯・暖房機) |

※1 次世代自動車：具体的には、ハイブリット自動車、プラグインハイブリット自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※2 HEMS：Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※3 コージェネレーション：燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

(2) エコライフの取り組みの実践状況についてお聞きします。次の中に、あなたが常々実践しているエコライフの取り組みはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 使用していない部屋の灯りをこまめに消す
2. テレビの明るさ設定を変えたり (明るくしすぎない)、見る時間を短くしたりする
3. 冷蔵庫の温度設定を変えたり (冷たくしすぎない)、ドアの開け閉めを短くしたりする
4. 家電製品 (照明を含む) の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ (または既に選んだ)
5. 衣服などにより温度調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない
6. 夏は外気を入れて室温を下げたり、冬はカーテンを閉めて熱が逃げないようにする
7. 温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する (または温水洗浄便座は使っていない)
8. 電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする
9. 積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする
10. 駐停車中はなるべくアイドリングストップをする (またはアイドリングストップ機能がある)
11. 車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する
12. 車の走行時は速度変化の少ない運転をする (無駄にアクセルやブレーキを踏まない)
13. 車の減速時はエンジンプレーキを使用する
14. カーエアコンの使用を控えめにする
15. 食器は余分な汚れをふき取ってから洗う
16. 洗濯は、まとめ洗いをする
17. 風呂の残り湯を洗濯などに利用する
18. 入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める
19. 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない
20. 食材は無駄なく買って使い切る

## 「戦略を支える都市空間」

問31 あなたは、札幌の都心（下図の点線で囲まれた部分参照）に「にぎわい」があると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない



問32 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |            |              |               |
|------------|--------------|---------------|
| 1. 満足している  | 2. やや満足している  | 3. あまり満足していない |
| 4. 満足していない | 5. どちらともいえない |               |

問33 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |            |              |               |
|------------|--------------|---------------|
| 1. 満足している  | 2. やや満足している  | 3. あまり満足していない |
| 4. 満足していない | 5. どちらともいえない | 6. 利用しない      |

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢は（平成 29 年 2 月 1 日現在）

- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 2. 20～29 歳 | 3. 30～39 歳 | 4. 40～49 歳 |
| 5. 50～59 歳 | 6. 60～64 歳 | 7. 65～69 歳 | 8. 70 歳以上  |

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- |        |        |       |        |         |
|--------|--------|-------|--------|---------|
| 1. 中央区 | 2. 北区  | 3. 東区 | 4. 白石区 | 5. 厚別区  |
| 6. 豊平区 | 7. 清田区 | 8. 南区 | 9. 西区  | 10. 手稲区 |

ご協力ありがとうございました。同封の封筒に入れて、2月24日（金）までに投函してください。